

地方独立行政法人加古川市民病院機構  
平成23年度の業務実績に関する評価結果書

平成24年8月

地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会



## 目次

はじめに	・・・1
第1項 全体評価	・・・2
第2項 項目別評価	・・・5
(1) 大項目評価	
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する 目標を達成するためとるべき措置	・・・5
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	・・・8
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	・・・10
第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	・・・12
(2) 小項目評価	
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する 目標を達成するためとるべき措置	
1 医療体制の維持及び拡大	・・・19
2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療	・・・26
3 地域医療機関との連携	・・・45
4 適正な医療機関の利用促進	・・・47
5 医療安全対策の徹底	・・・48
6 患者サービスの向上	・・・50
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 職員の業務遂行力の向上	・・・57
2 業務運営基盤の整備	・・・66
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 経営基盤の強化	・・・73
2 収益の確保及び費用の節減	・・・75
第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置 新統合病院の整備に向けた取組	・・・80

### <参考資料>

- 平成23年度年度評価における小項目評価の評価項目及びウエイト付け一覧表
- 地方独立行政法人加古川市民病院機構の業務実績に関する評価の基本方針
- 地方独立行政法人加古川市民病院機構 年度評価実施要領



## はじめに

地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会は、地方独立行政法人法第 28 条の規定に基づき、地方独立行政法人加古川市民病院機構の平成 23 年度における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

評価に際しては、本評価委員会において、平成 23 年 12 月 27 日に決定した「地方独立行政法人加古川市民病院機構の業務実績に関する評価の基本方針」及び「地方独立行政法人加古川市民病院機構 年度評価実施要領」に基づき評価を行った。

### 地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会 委員名簿

	氏 名	職 名
委 員 長	森脇 正	弁護士
副委員長	今村 諒道	医師
委 員	鈴木 邦明	公認会計士
	平井 尊士	武庫川女子大学文学部准教授
	道廣 睦子	兵庫大学健康科学部看護学科長

## 第1項 全体評価

### 評価結果及び判断理由

#### <評価結果>

#### 全体として年度計画及び中期計画のとおり進捗している

平成23年度の業務実績に関する評価については、5ページ以降に示すように、

- ・「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上」…評価A（順調に進んでいる）
- ・「業務運営の改善及び効率化」…評価A（順調に進んでいる）
- ・「財務内容の改善」…評価A（順調に進んでいる）
- ・「その他業務運営に関する重要事項」…評価A（順調に進んでいる）

と判断した。

以上の大項目評価等の結果に加え、加古川西市民病院と加古川東市民病院の従前の得意分野を受け継ぎながら、両病院が診療協力や相互補完により医療を提供するとともに、地方独立行政法人制度の特徴である効果的かつ効率的な運営が最大限に活かされるよう機構運営の基盤が整備されており、平成23年度の業務実績は、「全体として年度計画及び中期計画のとおり進捗している」とした。

#### <判断理由>

機構設立初年度である平成23年度は、統合・再編により、これまで異なった職場風土で運営してきた両病院の融和と連携を図ることを重点課題として取り組み、職員の交流や業務の連携を進めたほか、両病院がこれまで蓄積してきたノウハウを活かした業務の標準化の検討、課題・情報の共有を進めるなど機構としての一体感が高まる様々な取組が進められた。また、組織のマネジメントを円滑に推進するため、機構における最高意思決定機関である理事会、経営事項の審議・調整機関である機構運営会議及び経営企画会議を数多く開催し、理事会及び理事長の方針を円滑に推進するための機構運営体制が整備された。

また、診療体制を充実するため、病院運営の根幹をなす医療従事者の確保に積極的に取り組み、医師、看護師の着実な確保を実施するとともに、柔軟な病床利用の促進、地域の医療機関との機能分担・連携強化、医療機器の効率的な運用などに取り組み、両病院で収益性と効率性を高めた結果、機構全体で単年度の経常利益は、733百万円の大幅な黒字となった。

さらに、地域医療ニーズに合わせそれぞれの病院において診療科の増設や各診療科の更なる充実を図り、レベルの高い総合医療が提供できる医療体制を整備するとともに、重点医療については診療センターを設置することにより、院内の連携を強化しチーム医療を推進するなど、医療機能の質的向上が図られた。

なお、機構には引き続き医療従事者の確保に努めるとともに、2病院が経営統合したメリットを活かした効率的な病院運営と専門性の高い医療の提供など、市民の生命と健康を守る医療提供体制の一層の充実を求める。

## 大項目評価及び小項目評価の結果

項 目	評価項目数	ウェイトを考慮した項目数	小項目評価数					大項目評価
			5	4	3	2	1	
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上	18	27		13	14			A 順調に進んでいる
第3 業務運営の改善及び効率化	8	12			12			A 順調に進んでいる
第4 財務内容の改善	2	3		2	1			A 順調に進んでいる
第5 その他業務運営に関する重要事項	1	2		2				A 順調に進んでいる
合 計	29	44		17	27			

### 【ウェイト】

※ 評価項目の中で、「市民病院としての役割を果たすため中期目標期間にわたり重要と考える項目」及び「当該年度計画期間において特に達成する必要があるため重要と考える項目」についてウェイトを付し、ウェイトを付された項目を2項目としてカウントしている。

### 【評価基準】

#### ※ 小項目評価

- 5：年度計画を大幅に上回って実施している。
- 4：年度計画を上回って実施している。
- 3：年度計画を順調に実施している。
- 2：年度計画を十分に実施できていない。
- 1：年度計画を大幅に下回っている。

#### ※ 大項目評価

- S：中期目標・中期計画の達成に向けて、計画を大幅に上回り、特に評価すべき進捗状況にある。（評価委員会が特に認める場合）
- A：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。（全ての項目が3～5）
- B：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。（3～5の割合が9割以上）
- C：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。（3～5の割合が9割未満）
- D：中期目標・中期計画の達成のためには大幅に遅れている又は重大な改善すべき事項がある。（評価委員会が特に認める場合）

## 全体評価にあたって考慮した内容

### ＜主な取組や特色ある取組＞

平成23年度は、主な取組や特色ある取組が下記のとおり行われた。

住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上については、加古川西市民病院では地域医療支援病院の承認、県指定がん診療連携拠点病院の指定、地域周産期母子医療センターとしてハイリスク分娩への対応や圏域で唯一のNICUの運営、糖尿病に関する専門的治療や総合的なチーム医療の強化が行われ、加古川東市民病院では24時間365日体制で地域の循環器疾患の治療センターとして医療を提供するなど、地域の公的基幹病院としての役割を果たした。また、法人化のメリットとして柔軟な職員の採用活動を実施するとともに、学校訪問や説明会を積極的に行うなど看護師確保策を講じた。

業務運営の改善及び効率化については、外来予約の促進などによる外来平均待ち時間の短縮、研修費用等の助成制度の充実による認定看護師の資格取得の促進、新統合病院への移設を見据えた計画的な高度医療機器の購入・更新などに取り組んだ。また、職員のモチベーション向上と組

織の活性化を図るため、両病院で統一した人事評価制度の調査検討を進めた。

財務内容の改善については、柔軟なベッドコントロールを行うことによる病床利用率の向上、患者サービスの向上、医療安全や病棟業務の負担軽減等のための術前検査センターの充実を図った。

#### ＜特筆すべき取組＞

小項目評価において「年度計画を上回って実施」となった地域医療支援病院の承認や県指定がん診療連携拠点病院の指定を受け、医療提供体制の充実を図った『地域医療への貢献』、診療科の増設とともに、診療センターを設置し、医療機能の向上を図った『安定的かつ継続的な医療の確保』、機構のビジョンを全職員で共有に努めるとともに、人事交流や共同研究等を進めた『職員の融和及び連携の強化』、医師、看護師の確保が難しい中でそれぞれ増員できた『医療従事者の確保』、2病院で関連する診療科が相互に補完連携するチーム医療を推進した『重点的医療への取組』、各診療センターで高度専門医療の提供に努めた『高度専門医療の提供』、救急患者の受入れを増加させた『救急医療への対応』、黒字を計上し、経営と財務体質の基盤固めを図った『経営基盤の強化』、新統合病院の整備に向けて着実に事業推進を図った『新統合病院の整備に向けた取組』の9項目において、目標を上回る成果を上げたことは大いに評価できる。

#### 評価にあたっての意見、指摘等

業務実績全体としては成果を上げていると判断するが、目標を下回った指標のうち、加古川西市民病院の救急患者受入数について、また加古川東市民病院の紹介率、逆紹介率について、現状の体制下での努力は認めるところであるが、今後ともそれぞれ目標達成に向けて取り組まれることを求めたい。

機構設立初年度として733百万円の黒字を達成し、地方独立行政法人化による一定の効果が現れたものと評価できる。引き続き、教育、研修の充実を図るなど、医師、看護師をはじめ医療従事者にとって魅力ある病院づくりを進め、医療機能の向上及び医療提供体制の充実を図る上で不可欠となる人材の確保と育成に努められたい。

なお、機構が行った自己評価の各項目において、実施した対策と結果、また残された課題等について、その関連性を明確に示すことで評価結果の納得性が高まるとともに、評価対象年度の業務実績の中で目標を達成できなかった項目を次年度計画に反映することで、何をすべきかが明確になり、評価委員会として業務実績を評価しやすくなるため、次年度以降の取組を求める。



## 第2項 項目別評価

### (1) 大項目評価

#### 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 A (順調に進んでいる)

#### 評価結果及び判断理由

「1 医療体制の維持及び拡大」に含まれる5つの項目のうち、地域医療への貢献、安定的かつ継続的な医療の確保、職員の融和及び連携の強化、医療従事者の確保の4項目、「2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療」に含まれる5つの項目のうち、重点的医療への取組、高度専門医療の提供、救急医療への対応の3項目、計7項目で年度計画を上回って実施している。また、「3 地域医療機関との連携」以降の8項目についても年度計画を順調に実施している。機構が運営する加古川西市民病院、加古川東市民病院では、医師、看護師をはじめとした、医療従事者の確保など医療体制の構築を図りながら、重点的医療や高度専門医療、救急医療などにおいて、質の高い医療の提供が行われている。

評価結果	S 特に評価すべき進捗状況	A 順調に進んでいる	B おおむね順調に進んでいる	C やや遅れている	D 大幅に遅れている
------	------------------	---------------	-------------------	--------------	---------------

※評価A=すべての小項目において評価が3～5

#### 小項目評価の集計結果 (評価した項目数)

項目	評価項目数	ウェイトを考慮した項目数	小項目評価				
			5	4	3	2	1
1 医療体制の維持及び拡大	5	9		8	1		
2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療	5	7		5	2		
3 地域医療機関との連携	1	2			2		
4 適正な医療機関の利用促進	1	1			1		
5 医療安全対策の徹底	1	2			2		
6 患者サービスの向上	5	6			6		
合計	18	27		13	14		

#### ・ 特筆すべき小項目評価

1 - (1) 地域医療への貢献

【評価：4、ウェイト：1】

・ 東播磨地域の中核病院として、加古川西市民病院の地域医療支援病院の承認、県指定がん診療連携拠点病院の指定、地域周産期母子医療センターとしての機能充実、また加古川東市民病院の循環器疾患の受入体制は、市民にとって安心できる医療体制の整備が進んでいると評価できる。

1－(2) 安定的かつ継続的な医療の確保 【評価：4、ウエイト：1】

・新たな3診療科や診療センターの設置により、病院としての総合力の向上や医療の高度化を図ったこと、また新たな研修施設の認定を受け、医療従事者にとって魅力ある病院づくりに取り組んでいることは評価できる。

1－(3) 職員の融和及び連携の強化 【評価：4、ウエイト：2】

・様々な職種が働く病院で、職員の融和・連携を図ることは困難な課題だと思うが、機構のビジョンの共有、人事交流、共同研究等により職員に一体感を醸成しようとする姿勢が見られる。

1－(4) 医療従事者の確保 【評価：4、ウエイト：2】

・全国的に医師や看護師の確保が難しい中で、それぞれ増員できたのは大きな成果だと評価できる。

2－(1) 重点的医療への取組 【評価：4、ウエイト：1】

・加古川西市民病院は、地域周産期母子医療センターとしてハイリスク分娩への対応や圏域で唯一のNICUの運営、糖尿病に関する専門的診療や総合的なチーム医療の強化、また、加古川東市民病院は、24時間365日体制で地域の循環器疾患の治療センターとして医療を提供するなど、心筋梗塞、糖尿病、周産期・小児医療に関する医療体制は、高く評価できる。

2－(2) 高度専門医療の提供 【評価：4、ウエイト：なし】

・消化器領域のカプセル内視鏡や循環器領域の開心術、大動脈ステントグラフト治療などの高度専門医療の提供が図られており、高く評価できる。

・高齢化が進み慢性期のケアのニーズが増すことから、認定看護師を育成し、ストマケア外来、糖尿病外来、フットケア外来などが行われていることは評価できる。

・加古川東市民病院の放射線治療が必要な患者について、加古川西市民病院に転院させるなど両病院の相互補完により治療をされていることは評価できる。

2－(3) 救急医療への対応 【評価：4、ウエイト：1】

・加古川西市民病院の救急患者受入数は、目標値に達していないものの、前年度を上回っており、現在の医師数を考慮すると評価できる。

・加古川東市民病院については、数値目標を大幅に上回っており、また、加古川地域のCPA患者の5割を受け入れていることは、高く評価できる。

・勉強会の開催など救命救急を支える人材の育成にも寄与しており、評価できる。

・ **その他考慮すべき事項**

1－(5) 情報発信の推進 【評価：3、ウエイト：なし】

・広報誌等発行数と公開講座等開催数で目標を達成しなかったものの、理事長自ら地域の勉強会に出席したことのほか、各病院で地域に開かれたイベントを開催するなど、指標には現れないところでの努力も見られる。

3 地域医療機関との連携 【評価：3、ウエイト：1】

・脳卒中、大腿骨・頸部骨折の地域連携クリニカルパスへの参加、また両病院の地域連携に参加する医療機関の増加は評価できる。

5 医療安全対策の徹底 【評価：3、ウエイト：1】

・インシデントレポートの提出状況、医療安全委員会の開催や重大なインシデントの共有体制は、重大な医療事故防止につながり、評価できる。

6－(1) 患者中心の医療の提供 【評価：3、ウエイト：なし】

・患者満足度アンケートの結果は、加古川東市民病院が目標に達していないが、両病院とも80%を超える患者満足度を得ており評価できる。

6－(2) 患者満足度の向上 【評価：3、ウエイト：1】

・両病院とも外来平均待ち時間が短縮できており、評価できる。

## 評価にあたっての意見、指摘等

- ・がん、脳卒中、救急医療に関して不十分な点も見受けられるので、引き続き医師、看護師等医療従事者の確保に取り組み、診療機能の更なる充実、高度化が図られることを期待する。
- ・更に認定看護師の育成を進め、慢性心不全など診療ニーズへの対応を期待する。
- ・加古川西市民病院については、人間ドックの再開に先んじて、脳ドックやPET検診など高度医療機器を利用した特殊検診の拡充が必要である。
- ・神戸市以西の地域では、一般市民が受けられる人間ドック実施施設が少ない状況であり、加古川西市民病院における人間ドックの再開が必要である。
- ・予防医療の提供は、臨床以外における病院と市民の接点となることが期待できる。また、両病院の医師が生活習慣病について講演するなど、多くの市民が機構を身近に感じる機会を設け、市民に安心感を与える姿勢が大事ではないかと考える。
- ・災害発生時は、地域の災害拠点病院である県立加古川医療センターの支援を適切に行い、また小児、周産母子医療においては、加古川西市民病院が担うなど、県との連携を深め市民が安心できる医療の提供を期待する。
- ・加古川東市民病院は、紹介率、逆紹介率ともに目標値を達成できなかったが、大変努力しており、24年度は目標値の達成を期待する。
- ・地域医療機関との連携に関し、紹介率と逆紹介率のバランスにも注力し取組が進められることを期待する。
- ・紹介状の無い初診患者に、初診時特定療養費を求めることは適当だと考える。
- ・紹介状を求めることにより風邪などの軽い症状で市民病院を受診する患者は減ってきていると思う。しかし、過去に受診歴のある患者に対しても、同様に扱うことについては、検討が必要と考える。
- ・インシデントレポートの提出については、医師からの提出が増えることを期待する。
- ・医療事故が発生した際の対応についての入念な準備と、他院の医療安全対策を学ぶなどの取組を期待する。
- ・加古川東市民病院は、予約の無い初診患者の診療も行っており、待ち時間が長くなっていることも理解できる。
- ・患者の満足度の中身は多種多様であるが、患者への接遇、待ち時間の改善（特に会計や薬の待ち時間）など重点項目を中心に、引き続き満足度の向上に取り組まれることを期待する。
- ・「ふれあいポスト」、「ご意見箱」で寄せられた意見や要望にはできるだけ対応し、改善に取り組まれることを期待する。
- ・現2病院のハード面に対して大きな投資は難しいと思うが、採光や照明等の工夫により明るい環境づくりに取り組むなど、予算等制約の範囲内で快適性の向上に対する改善を期待する。
- ・患者はもとより、医師等にとっても働きやすい環境づくりや満足度の向上に取り組むことが重要と考える。
- ・クレジットカードの導入については、手数料等のコストも踏まえた慎重な検討が必要である。
- ・どういう法律を守らないといけないのか、誰が責任を持って対応するのか、またどういう対策を取るべきか、体系的なコントロール体制の整備を期待する。
- ・患者サービスの向上という点において、看護職員の意見を重視して、患者の目線で考える細やかな心配りを計画の中に活かしていただきたい。

### 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

#### 評価結果 A (順調に進んでいる)

#### 評価結果及び判断理由

「1 職員の業務遂行力の向上」及び「2 業務運営基盤の整備」について、年度計画を順調に実施している。

認定看護師の育成をはじめ高度専門医療を担う職員への教育、キャリアアップ支援に注力するとともに、2病院のノウハウの共有や機器等の統一化に向けて取り組んだほか、働きやすい職場環境づくりが行われている。

評価結果	S 特に評価すべき進捗状況	A 順調に進んでいる	B おおむね順調に進んでいる	C やや遅れている	D 大幅に遅れている
------	------------------	---------------	-------------------	--------------	---------------

※評価A＝小項目においてすべての項目が評価3～5

#### 小項目評価の集計結果 (評価した項目数)

項目	評価項目数	ウェイトを考慮した項目数	小項目評価				
			5	4	3	2	1
1 職員の業務遂行力の向上	2	4			4		
2 業務運営基盤の整備	6	8			8		
合計	8	12			12		

#### ・その他考慮すべき事項

1－(1) 医療従事者の役割分担及び連携 【評価：3、ウェイト：1】

・医療クランク数、看護補助者数ともに目標値を達成し、年度計画を順調に実施していると評価できる。

2－(1) ガバナンスの確立 【評価：3、ウェイト：2】

・理事長が2つの病院をまとめ、機構運営会議、経営企画会議を数多く開催し、方針の推進が図られており、年度計画を順調に実施していると評価できる。

2－(2) 両病院のノウハウの共有 【評価：3、ウェイト：なし】

・両病院の長所を共有する取組が行われており評価できる。

2－(4) 医療機器などの計画的な更新 【評価：3、ウェイト：なし】

・CTなど高額な医療機器は新統合病院でも継続して使用することを見据え、計画的に購入・更新する姿勢が評価できる。

2－(5) 働きやすい職場環境の整備 【評価：3、ウェイト：1】

・保育所延利用者数は両病院とも目標値を超え、有効に活用されており評価できる。

## 評価にあたっての意見、指摘等

- ・加古川東市民病院で実践する「7S活動（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ、指導、節約）」のうち、特に「指導」と「節約」は、病院運営において非常に有意義である。
- ・病院の規模が大きくなると、様々な職種による連携が必要であり、職種別に孤立することなく相互連携を深めることが大事である。
- ・医師の臨床研修については、初期研修において各診療科の役職者が指導すれば、後期研修の参加にもつながり、結果として医師の増員につながると思うので、今後も指導体制の充実を期待する。
- ・質の高い看護を目指すには研究によるエビデンスが必要であり、常にケアの分析・評価が必要である。そのため、組織的に研究ができる体制づくりに引き続き取り組むことを期待する。
- ・医師、薬剤師等の研究成果や知的財産は、個人や機構といった帰属先をよく判断したうえで、地方独立行政法人化のメリットを生かし、対外的な権利関係を処理することを期待する。
- ・患者にとっては職員が新人かベテランかは関係ない。患者から一定レベルの評価を受けるためには、職員に臨床経験と医学研究をバランスよく積ませることが必要で、特に新人職員に対しては患者に満足を与えるために教育が重要になることを強調し、職員教育に取り組まれない。
- ・一般企業の内部統制を研究すること。また、リスクマネジメントを徹底し、内部統制上業務にブラックボックスを作らないこと。
- ・診療材料費はその購入規模が大きいので、機構としてのスケールメリットを生かして共同購入を進めていただきたい。
- ・歴史的な背景が異なる2つの病院の制度や文化等について、どちらか一方に合わせるのではなく、新しいやり方を作り出す方が融合は早く進むと考える。
- ・業務委託に関して、委託事業者の選定は、それぞれの病院がこれまで取り組んできた経験から最も優れた選定基準を採用していただきたい。
- ・看護ケアに必要な備品・消耗品等は、ぜひ看護部の要望に沿った形で整備されることを期待する。
- ・働きやすい職場環境の整備は、離職者の減少に寄与し、良質な医療の提供につながるので、今後とも積極的に取り組むことを期待する。
- ・一生懸命に働いたことが評価されることが大事であり、職員のモチベーションアップにつながるよう、収益に貢献する実績に対し、個人ではボーナスに差をつけ、診療科では人員増や機器購入といったインセンティブを与えることも検討いただきたい。
- ・皆が納得できる評価項目を設け、公正な評価を保障し、また、評価項目と教育・研修項目とを結びつけて、研修がパフォーマンスの向上に生かされる人事評価制度となることを期待する。
- ・大学病院に近い医療が提供できる病院として、また地域の拠点病院として格式のある人事評価制度を導入することを期待する。

## 第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

評価結果 **A** (順調に進んでいる)

### 評価結果及び判断理由

「1 経営基盤の強化」については、年度計画を上回って実施しており、また、「2 収益の確保及び費用の節減」については、年度計画を順調に実施している。

公的病院としての使命を果たしつつ、機構全体として初年度から黒字を計上するなど、業務改善等の経営努力が見られる。

評価結果	<b>S</b> 特に評価すべき進捗状況	<b>A</b> 順調に進んでいる	<b>B</b> おおむね順調に進んでいる	<b>C</b> やや遅れている	<b>D</b> 大幅に遅れている
------	-------------------------	----------------------	--------------------------	---------------------	----------------------

※評価A = 小項目においてすべての項目が評価3～5

### 小項目評価の集計結果 (評価した項目数)

項目	評価項目数	ウェイトを考慮した項目数	小項目評価				
			5	4	3	2	1
1 経営基盤の強化	1	2		2			
2 収益の確保及び費用の節減	1	1			1		
合計	2	3		2	1		

#### ・ 特筆すべき小項目評価

##### 1 経営基盤の強化

【評価：4、ウェイト：1】

・ 収支計画では71百万円の赤字が見込まれていたが、733百万円の黒字を計上し、機構の発足初年度としては目標値を大幅に上回っており、経営基盤の強化について評価できる。

#### ・ その他考慮すべき事項

##### 2 収益の確保及び費用の節減

【評価：3、ウェイト：なし】

・ 収益の確保については、医業収益に関連する患者数や診療単価などの各種指標が概ね目標を達成できており評価できる。また、医薬品費比率などで概ね目標を達成しており、費用の節減が図られたことについても評価できる。

## 評価にあたっての意見、指摘等

- ・本年度黒字となった要因を分析・把握し、来年度以降も、黒字が継続できる収益体制の構築に期待する。
- ・より一層の収益確保と費用節減の余地はあると考える。特に、統合・再編のメリットを生かし、医薬品費、診療材料費、人件費などについて、費用節減の対策を講じることを期待する。
- ・運営費負担金は、公営企業繰出基準に従い、市から繰り入れされていることは理解するが、運営費負担金は市民の税金であり、将来的には運営費負担金が縮小しても運営できる経営基盤の構築に期待する。
- ・加古川東市民病院の稼働病床利用率は、目標値の 91%を達成していないが、実績値は 90%に近い数値となっており、経営的には非常に高い数値である。これ以上向上させることは難しいと思う。
- ・収益の確保又は費用の節減一辺倒になるのではなく、バランス良く無理の無い運営をした上で、目標を達成することを期待する。
- ・年度目標を達成するため、理事においては月次予算とその実績との差異分析（業績数値及び定性目的）を行い、その改善策を講じることが重要である。そのうえで、次年度の業務実績報告においては、理事会で検討した具体的な取組事項とその結果を結び付けて評価委員会へ報告されることを求める。

## 第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

評価結果 A (順調に進んでいる)

### 評価結果及び判断理由

新統合病院の整備に向けた取組は、年度計画を上回って順調に実施している。  
 新統合病院が担う医療機能の検討、用地取得に向けた準備、整備手法及び事業者選定方法の検討など、着実に事業の推進が図られている。

評価結果	S 特に評価すべき進捗状況	A 順調に進んでいる	B おおむね順調に進んでいる	C やや遅れている	D 大幅に遅れている
------	------------------	---------------	-------------------	--------------	---------------

※評価A = 小項目においてすべての項目が評価3～5

### 小項目評価の集計結果 (評価した項目数)

項目	評価項目数	ウエイトを考慮した項目数	小項目評価				
			5	4	3	2	1
新統合病院の整備に向けた取組	1	2		2			
合計	1	2		2			

#### ・ 特筆すべき小項目評価

新統合病院の整備に向けた取組

【評価：4、ウエイト：1】

・ 加古川市と連携し、広く有識者や住民代表等の意見を取り入れた検討が進められており、評価できる。

### 評価にあたっての意見、指摘等

- ・ 新統合病院を見据え、両病院の医師の交流や機器の統一化を進めることは、大事だと考える。
- ・ 新統合病院の開院後も、機構による人間ドックの継続的な提供を期待する。
- ・ 新統合病院においては、災害時に情報の寸断が起きないように整備を進めることを期待する。
- ・ 新統合病院には、患者やその家族がくつろげるよう、緑の空間の創設を提案する。



## (2) 小項目評価

加古川市民病院機構の概要

1. 現況（平成24年3月31日現在）

① 名称

地方独立行政法人加古川市民病院機構

② 事務所の所在地

〒675-8611 兵庫県加古川市米田町平津 384 番地の 1

③ 役員の状況

役員	氏名	備考
理事長	宇高 功	
副理事長	石川 雄一	加古川西市民病院院長
理事	大西 祥男	加古川東市民病院院長
理事	久野 克也	加古川西市民病院副院長
理事	三舛 信一郎	加古川東市民病院副院長
監事	平松 省五	
監事	二本木 功	

④ 設置・運営する病院の概要

病院名	所在地	病床数
加古川西市民病院	兵庫県加古川市米田町平津 384 番地の 1	一般病床 405 床
加古川東市民病院	兵庫県加古川市平岡町一色 797 番地の 295	一般病床 198 床

⑤ 職員数

（平成24年4月1日現在）

	医師	看護師	医療技術職員	事務職員	合計
加古川西市民病院	83 人	311 人	70 人	26 人	490 人
加古川東市民病院	46 人	204 人	76 人	16 人	342 人
合 計	129 人	515 人	146 人	42 人	832 人

※ 医師は、専攻医及び研修医を含む。

2. 加古川市民病院機構の基本的な目標等

地方独立行政法人加古川市民病院機構（以下「機構」と表記）は、地域医療の崩壊が進む中、地域住民の生命と健康を守り、安心した生活が送れるよう「常に安全かつ良質で高度な医療」を提供するため、従前の加古川市民病院の周産期・小児医療及び神鋼加古川病院の循環器分野など、両病院の持つ特徴ある医療を十分生かし、発展させ、加古川市をはじめ東播磨地域の中核病院として、加古川市及び地域の医療機関との連携の下、地域医療の発展に貢献します。

また機構は、地域の公的基幹病院として、住民の生命と健康を守るため、患者中心の安全で質の高い医療や高度専門医療の提供を常に使命として共有し、設立団体である加古川市が目指す「いつまでも住み続けたい ウェルネス都市 加古川」の実現の一翼を担うため全力を尽くします。

このため機構は、以下に示す「基本理念」、「基本方針」に則り、加古川市長から指示された中期目標を達成し、市民の期待に応える病院運営に努めます。

【基本理念・基本方針】

○ 基本理念

加古川市をはじめ東播磨医療圏域の基幹病院として、地域住民の生命と健康を守るため、優れた医療人の育成に注力し、患者中心の安全で質の高い医療を提供します

○ 基本方針

- ・ 質の高い急性期医療に努めます
- ・ 基幹病院としての機能を果たすため、高度専門医療に取り組みます
- ・ 情報開示を徹底し、十分な説明に基づき信頼される医療を提供します
- ・ 患者中心の医療連携に努めます
- ・ 医療水準の向上を目指し、職員の研修・教育・研究の充実を図ります
- ・ 病院を維持、継続できる安定した経営基盤を確立します

## 全体的な状況

### 1 機構の総括と課題

平成 23 年 4 月 1 日に旧加古川市民病院と旧神鋼加古川病院を統合し、地方独立行政法人加古川市民病院機構が運営主体となっており、それぞれ加古川西市民病院（以下「西市民病院」と表記）、加古川東市民病院（以下「東市民病院」と表記）として従前の得意分野を受け継ぎながら、診療協力や相互補充による医療の提供を開始しました。

機構設立初年度である平成 23 年度は、特に、地方独立行政法人制度の特徴である効果的かつ効率的な運営が最大限に活かされるよう両病院及び機構事務部の組織・体制の強化と新統合病院の円滑な建設整備に向けた課題の整理・検討など機構運営の基盤づくりに注力しました。

機構における最高意思決定機関である理事会を理事長以下 5 人の理事及び監事 2 人で構成し、理事会及び理事長の方針が円滑に推進されるよう機構運営会議、経営企画会議等の審議・調整機関を設置することにより、機構のガバナンスの整備を図りました。併せて、理事長をトップとする 2 病院体制のもとで理事長から両病院長への適切な権限委譲を行い、機構と病院が緊密に連携しながら、病院運営において院長のリーダーシップが発揮されやすい執行体制を確立しました。なお、平成 23 年度においては、理事会を 6 回、機構運営会議を 46 回、経営企画会議を 13 回開催し、意思決定の迅速化と機構運営の円滑化に努めました。

また、機構運営の活性化及び新統合病院の円滑な整備を図るに当たっては、医療関係者をはじめとより地域住民の幅広い意見を聴取するため、加古川市と連携して地方独立行政法人加古川市民病院機構活性化協議会及び活性化委員会を設置しました。

業務の運営にあたっては、両病院の部門ごとの連携、協力を通じて再編・統合効果を上げ、職場の活性化を図るための施策を実施しました。病院運営の根幹である医師、看護師及び医療技術職員の確保状況については、医師 10 人、看護師 31 人、医療技術職員 10 人の増加を図ることができ、その結果として、両病院の入院延患者（在院延数）162,607 人（前年度比 8.64% 増）、外来延患者 320,859 人（前年度比 0.94% 減）となり、高度医療への取組結果としての診療単価も高いレベルを維持できたことと併せて、機構全体の医療利益については 246 百万円（医療収支比率 101.6%）、経常利益においては 733 百万円（経常収支比率 104.4%）となりました。

地域医療への貢献については、西市民病院は既に地域医療支援病院の承認を受けています。また、東市民病院においては、平成 23 年度の実績が地域医療支援病院の承認要件には及びませんが、高いレベルを維持しています。また、西市民病院においては、平成 24 年 3 月 29 日に兵庫県知事から兵庫県指定がん診療連携拠点病院の指定を受け、地域医療の役割を担うための体制整備を進めました。

新統合病院の整備事業については、平成 29 年の開院を目指し、建設用地の取得に当たり地権者との交渉を進めるとともに、機構活性化協議会及び活性化委員会における協議を踏まえ新統合病院基本構想の取りまとめを行いました。並行して、建築関係の有識者等で構成する

新統合病院建設委員会を設置し、建設整備に向けて整備手法や業者選定についても検討を開始しました。

このように、平成 23 年度は機構がこれまでの両病院の経営ノウハウを活かしながら、組織体制の刷新や人員確保をはじめ様々な経営課題に向かって第一歩を踏み出したところであり、理事長をはじめ医師、看護師、医療技術職員、事務職員など全ての職員が取り組んだ成果により一定の実績を得ることができましたが、中期目標や機構が自ら掲げた中期計画等を達成していくためには未だ多くの課題を抱えています。

一つは、医療スタッフの確保です。現状の医師、看護師の人員では、救急医療をはじめ地域の多様な医療ニーズに対応していくにはまだまだ不十分です。そのためには、教育支援センターの機能をさらに充実させるなど、医療従事者にとってより魅力のある病院づくりが不可欠です。

次に、医療機能のより一層の充実です。2 病院が経営統合したメリットを活かして診療機能を連携させ、より効率的で専門性の高い医療を提供していくとともに、救急医療体制を充実させていく必要があります。

そして、新統合病院の建設整備です。地域医療の基幹病院としての医療機能を備え、地域住民に安定的かつ良質な高度医療を提供することを目指す新統合病院を、計画どおり着実に整備していく必要があります。

### 2 大項目ごとの特記事項

#### 第 2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとするべき措置

##### 『医療体制の維持及び拡大』

西市民病院においては、平成 23 年 3 月に地域医療支援病院の承認を受け、平成 24 年 3 月に県指定がん診療連携拠点病院の指定を得るなど、名実ともにきめ細やかな地域医療サービスを提供できる体制の充実を図り、紹介率、逆紹介率など連携強化の指標を向上させました。

東市民病院においても、地域の医療機関との連携、医療提供体制の維持・整備に努めましたが、平成 23 年度においては地域医療支援病院の承認基準には達しませんでした。

さらに、統合・再編に基づく両病院の融和と連携を加速させる中で、地域医療ニーズに合わせてそれぞれの病院において診療科の増設や各診療科の更なる充実を図り、レベルの高い総合医療を提供できる医療体制を整備するとともに、重点医療については診療センターの設置により、医療機能の質的な向上を図りました。

また、病院運営の根幹をなす医療従事者の確保に取り組み、医師では平成 23 年 4 月の 119 人から平成 24 年 4 月には 129 人となり着実な増加を達成し、看護師においては学校訪

問や説明会を積極的に行うとともに柔軟な採用方法を導入することにより、平成23年4月の484人から平成24年4月には515人に増加しており、安定的かつ継続的な医療の供給体制の整備を行っています。

#### 『地域医療の中核病院として提供すべき総合医療』

重点的医療及び高度専門医療に関する取組として、西市民病院では、急増するがん疾患に對して病理部門や画像診断部門と各臓器のがん専門医による集学的なチーム医療を展開するため、平成24年1月にがん集学的治療センターを設置しました。

また、脳卒中についてはリハビリテーション科を設置し、院内の診療体制の強化を図るとともに地域連携クリニックルパスを運用し、転院など後方病院との連携の円滑化を進めています。

糖尿病では、K-DiBET チームによる糖尿病療養指導や栄養サポートチームによる入院患者への助言など、チーム医療を主体とした総合的な治療を実施し、病診連携を中心とした患者の受入れに努めました。

さらに、周産期・小児医療では周産母子センター及びびこどもセンターを設置しハイリスク妊娠の管理、分娩及び重篤な新生児の高度集中治療を中心としながら、新生児救急車（カンガルー号）の運行による救急搬送体制や小児科・小児外科など関連診療科の連携による高度な治療体制を確立し、東播磨地域はもとより県下の拠点病院としてその役割と重要性を高めています。

次に、東市民病院における主な取組として、心臓血管センターでは、24時間365日循環器疾患患者の受入体制を整え、圏域における急性心筋梗塞や不安定狭心症などの循環器疾患の7割に相当する患者に對応するとともに、被曝線量が少なく短時間検査が可能な最新のCTの導入や新たに開設した形成外科との連携により下肢重症虚血疾患に對するフットケアチームを発足させるなど、増加する医療ニーズを的確にとらえ、地域の循環器疾患医療の中核的役割を担いました。

また、消化器領域では消化器内視鏡センターの医師増員、検査施設の拡充や内視鏡等の最新機器の導入によって食道・胃癌の早期発見に注力し、高度な診断治療体制を実現しています。

救急医療では、両病院ともに2次救急輸送病院に参加し、消防本部との間に救急搬送、特定行為指導に関するホットラインを設けるなど連携体制を整え、西市民病院では小児・周産期分野、東市民病院においては循環器分野を中心とした内科領域において、休日・夜間を含めた救急患者の受入れを増加させました。

このように両病院は地域の公的基幹病院として各診療科の充実を図る中で、それぞれが有する高度専門医療をより効果的に発揮できるよう関連する診療科相互が補完連携するチーム医療を推進し、レベルの高い総合医療を安定的に提供できる体制を確立しています。

#### 『地域医療機関との連携』

両病院においては地域連携室を連携の要と位置づけ、地域連携会議や症例検討会など地域の医療機関との分担と連携を強化するとともに、患者がより適切で安心した療養生活を送ることができるよう地域連携クリニックルパスの活用や各種連絡会への参画を通して、院内の医師、看護師、理学療法士、管理栄養士など全ての医療従事者が、地域の病院・診療所をはじめ訪問看護ステーションや介護保険事業所など、保健、医療及び福祉機関とのスムーズな紹介や相談、調整機能の向上に努めました。

#### 『適正な医療機関の利用促進』

地域の医療機関が一体となって患者に応じた医療を提供していく体制づくりを進めるうえで、両病院は急性期医療機関としての機能を明確化させ、診療所等における主治医の受診と連携した「かかりつけ医」の普及と定着を推進するため、初診時における紹介状持参を推進しました。

#### 『医療安全対策の徹底』

両病院では医療事故等の発生を未然に防ぐため、院内で生じた問題点の報告（インシデント・レポート）をルーラル化し、情報の収集分析と再発防止のための対策について委員会や部会の活動を通して全職員に周知・啓発するとともに、情報を共有することによって安全風土の醸成に努めました。また、院内感染対策委員会及び感染制御チームを設置し組織横断的に予防・監視体制を強化するなど医療の安全面を評価し、患者の信頼向上に取り組みました。

#### 『患者サービスの向上』

患者の意見や要望を広く収集するため、「ふれあいポスト」や「ご意見箱」を両病院に設置するとともに、患者満足度調査を実施し、寄せられた内容や結果を業務改善やサービスの向上に活かす取組を実施しました。また、院内ラウンドなどの定期的な活動を通して院内の療養環境の向上を図り、患者の利便性や快適性に対する配慮に努めました。

なお、外来診療の待ち時間については予約診療の推進などの取組を行い、両病院において待ち時間の短縮を図りました。

#### 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

##### 『職員の業務遂行力の向上』

医療従事者がやりがいを持って職につくりを実現するため、専門資格の取得支援制度の充実を図るとともに、機構総会において7S活動などの業務改善や研究発表等に取り組みだ職員の表彰を行うなどモチベーション向上のための施策を積極的に取り入れました。

また、医局秘書、医療クラーク、ケアアシスタント等の業務補助者を増員し、医師及び看護師の負担軽減を図り診療に専念できる体制を強化しました。

職員教育体制については、機構に設置した教育支援センター機能の活性化を図る中で、両病院の特徴を活かした臨床研修医体制や学会参加等の研修研究支援制度の整備、認定看護師など高度な看護師育成のための研修制度の充実を図りました。さらに、診療情報管理士や専門的な知識と豊富な経験を有する職員の再雇用制度の活用など事務職員等の計画的な採用手法の検討を進め、将来を担う人材の確保・育成に努めました。

#### 『業務運営基盤の整備』

業務運営においては、平成23年4月の機構設立後、理事長をトップとした2病院体制を確立させ、意思決定機関として理事会、経営事項の審議・調整機関として機構運営会議及び経営企画会議を設置することにより理事会及び理事長の方針を迅速かつ円滑に推進するための機構運営体制を整備しました。

なお、組織・体制の整備にあたっては、両病院がこれまで蓄積してきたノウハウを活かして機構の一体感がより高まるよう様々な業務間の統一や課題・情報の共有を重点的に進め、中でも両病院共通の電子カルテの稼働に向けたシステム整備に注力しました。

また、両病院の就労環境の整備として、ワーク・ライフバランスの推進に取り組み、院内保育所の運営など医療従事者の保育ニーズに24時間365日体制で対応するとともに、短時間労働制の導入など多様な勤務形態の採用による働きやすい職場づくりを進め、医師や看護師をはじめとした職員の定着化を図りました。

#### 第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためのとるべき措置

##### 『経営基盤の強化』

経営に対する取組としては、機構本部に経営戦略室を置き、毎月、経営企画会議を開催し、理事長及び理事会に付議される重要案件を協議するとともに、患者数や収益動向など月次の運営・経理情報の分析や経営目標の進捗管理などを行い、機構の経営状況を随時把握できる体制を構築し、病院経営に対する取組体制の強化を図りました。

また、救急医療、周産期医療、小児医療など公的病院として求められる診療機能を充実させ、病院運営に係る財務体質の健全化に取り組みましたが、733百万円の大幅な黒字となったほか、23年度計画の目標値では△71百万円としましたが、入院収益、医業収益、外來収益等の経営指標についてもいずれも目標値を上回る結果となりました。

##### 『収益の確保及び費用の節減』

診療体制を充実させるため医師、看護師の確保を積極的に行うとともに、DPCを踏まえ

た柔軟な病床利用の促進、地域の医療機関との機能分担・連携強化、医療機器の効率的な運用などに取り組んだ結果、入院患者数の増加、稼働病床利用率の向上、高度検査機器の利用件数の増加などに反映され、両病院で収益性と効率性を高めました。

#### 第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためのとるべき措置

##### 『新統合病院の整備に向けた取組』

新統合病院のあり方や目指すべき姿の検討については、機構設置にあたり策定した「統合・再編に関する基本方針」を踏まえ、各部門でのヒアリングを経て、新統合病院における医療機能の集約作業を行いました。

さらに、取りまとめた医療機能をもとに地域医療の基幹病院としてのあり方について、活性化協議会及び活性化委員会における有識者や市民代表等による審議を経て、加古川市と連携して検討を重ねてきました。平成24年度においては、新統合病院の整備指針として加古川市が策定する基本構想に基づき基本計画の策定等に取り組みでいきます。

また、建築関係の有識者や地域住民の代表者、地元経済団体の代表者などによって構成する新統合病院建設委員会を設置し、安価で機能的な新統合病院の建設予定地が発表されたことを事業者選定作業の検討を開始するとともに、新統合病院の建設予定地が発表されたことを受けて地権者との交渉など用地取得に向けた準備を着実に進めました。

#### <主な目標値の達成状況>

項目	加古川市民病院機構	
	平成23年度目標値	平成23年度実績値
経常収支比率(経常収益/経常費用)(%)	99.9	104.4
医業収支比率(医業収益/医業費用)(%)	97.7	101.6
医業収益(百万円)	15,855	16,122
入院収益(百万円)	10,257	10,270
外來収益(百万円)	5,293	5,421
委託費比率(委託費/営業費用)(%)	8.9	8.3
一般管理費比率(一般管理費/営業費用)(%)	2.7	2.1
医薬品費比率(医薬品費/医業収益)(%)	18.1	17.3
診療材料費比率(診療材料費/医業収益)(%)	12.9	13.2

項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院	
	平成23年度 目標値	平成23年度 実績値	平成23年度 目標値	平成23年度 実績値
医師数(人)	57	63	32	39
初期臨床研修医数(人)	7	8	3	3
後期臨床研修医数(人)	9	12	4	4
看護師数(人)	297	311	183	204
医療クランク数(人)	14	32	35	35
看護補助者数(人)	16	30	39	36
診療科数(科)	16	18	12	13
認定研修施設数(件)	25	26	15	18
入院延患者数(人)	95,442	98,070	65,766	64,537
入院診療単価(円)	55,585	57,313	75,295	72,040
稼働病床利用率(%)	79.5	81.7	91.0	89.1
平均在院日数(日)	13.7	11.7	9.0	8.6
外来延患者数(人)	203,795	193,486	140,843	127,373
外来診療単価(円)	15,570	17,902	15,061	15,363
検査機器利用件数(CT)(件)	12,000	11,753	13,500	13,183
検査機器利用件数(MRI)(件)	6,000	6,689	4,800	4,440
検査機器利用件数(RI)(件)	-	-	3,300	2,876
検査機器利用件数(PET-CT)(件)	1,700	1,720	-	-
救急患者受入数(人)	2,200	1,913	1,900	2,400
人間ドック受診者数(人)	0	0	1,200	1,154
紹介率(%)	65	71	62	51
逆紹介率(%)	40	56	63	55
開放病床登録医数(人)	20	25	25	130
初診患者に占める紹介状持参割合(%)	65	58	35	45
患者満足度アンケート(%)	70	86	85	80
外来平均待ち時間(分)	40	35	80	53
認定看護師数(人)	4	4	1	2
保育所延利用者数(人)	4,152	5,627	1,200	1,552
広報誌等発刊数(部)	20	12	10	15
公開講座等開催数(回)	64	61	50	77

項目別の状況	
(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (中項目) 1 医療体制の維持及び拡大 (小項目) (1) 地域医療への貢献	(中期目標の内容) (1) 地域医療への貢献 加古川市をはじめ東播磨地域の中心核病院として、地域住民の生命と健康を守るため、患者中心の安全で質の高い医療や高度専門医療の提供（以下「目指すべき新病院の姿」という。）を図ること。

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
(1) 地域医療への貢献 地域住民の生命と健康を守り、安全で安心な生活づくりのため、地域医療に貢献します。また、地域の医療機関などとの役割分担の下、加古川市をはじめ東播磨地域での地域完結型医療を担う中核病院として、患者中心の安全で質の高い医療や高度専門医療を提供します。	(1) 地域医療への貢献 ・地域住民の生命と健康を守り、安全で安心な生活づくりのため、地域医療に貢献します。 ・患者中心の安全で質の高い医療や高度専門医療を提供します。 ・総合的かつ専門的な急性期医療を提供できる体制を強化します。 ・地域の医療機関などとの連携分担の下、加古川市をはじめ東播磨地域での地域完結型医療を担う中核病院としての役割を果たします。	評価の判断理由（実施状況等） (1) 地域医療への貢献 ・加古川西市民病院においては平成23年3月に兵庫県知事より地域医療支援病院の承認を受け、地域連携会議や症例検討会などの開催を通して地域の医療機関との意見交換や情報共有を促進するとともに、紹介率や逆紹介率を向上させました。 ・加古川東市民病院においては、平成24年度の地域医療支援病院の承認を目指し、紹介率、逆紹介率の向上に努めました。また、高い水準にはあるものの承認基準を満たすには至りませんでした。 ・平成24年3月29日付にて加古川西市民病院は、兵庫県指定がん診療連携拠点病院の指定を受け、病理・画像診断部門と各臓器のがん専門医による集学的治療や緩和ケアの提供体制のもとに、地域の診療所や病院と連携し、患者中心の安全で質の高いがん医療体制を整備しました。 ・加古川西市民病院の小児医療、地域周産期母子医療センター機能、加古川東市民病院における循環器疾患の24時間365日受入体制などを強化することにより、東播磨地域の中心核病院として地域医療に貢献しました。 ・両病院において、標榜診療科を増設することともに、病院間の連携を強化することにより総合的な医療を提供できる体制の強化を図りました。	①	①	4	①	4
		評価の判断理由・委員会の意見など ・東播磨地域の中心核病院として、加古川西市民病院の地域医療支援病院の承認、県指定がん診療連携拠点病院の指定、地域周産期母子医療センターとしての機能充実、また加古川東市民病院の循環器疾患の受入体制は、市民にとって安心できると評価できる。 ・加古川東市民病院においては、地域医療支援病院の承認基準を満たせるよう紹介率、逆紹介率の向上に向けて今後の取組に期待する。					

項目別の状況

(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	(中項目) 1 医療体制の維持及び拡大  (小項目) (2) 安定的かつ継続的な医療の確保	(中項目の内容) (2) 安定的かつ継続的な医療の確保 統合・再編に伴って地域住民への医療の質の低下を招くこと無く、両病院の特長を生かし、既存の診療科の機能をより充実させること。また、両病院は、新たな診療科の設置も考慮しながら、病院間での診療支援など相互の連携・補充関係を強化することで、統合・再編の相乗効果を追求し、安定的かつ継続的な医療を確保すること。
--	---	--

中期計画	年度計画	市民病院機構の自己評価	評価	対外	評価	評価委員会の評価	
(2) 安定的かつ継続的な医療の確保 統合・再編に伴って医療の質の低下を招くことのないよう努めます。 ・統合・再編による相乗効果が医療の質の向上に反映されるよう、法人一体となった病院運営に努めるとともに、両病院の連携の下、内科、外科の診療を相互に支援し、補充する体制を構築します。 ・既存の診療科のより一層の充実を図るとともに、とりわけ周産期・小児医療、循環器分野などの特徴ある診療科の更なる高度化に努めます。	(2) 安定的かつ継続的な医療の確保 統合・再編に伴って医療の質の低下を招くことのないよう努めます。 ・統合・再編による相乗効果が医療の質の向上に反映されるよう、法人一体となった病院運営に努めるとともに、両病院の連携の下、内科、外科の診療を相互に支援し、補充する体制を構築します。 ・既存の診療科のより一層の充実を図るとともに、とりわけ周産期・小児医療、循環器分野などの特徴ある診療科の更なる高度化に努めます。	市民病院機構の自己評価 評価の判断理由(実施状況等) (2) 安定的かつ継続的な医療の確保 ・統合・再編によって医療の質の低下を招かないよう、診療機能の維持に努めるとともに、質の向上が図れるよう両病院の連携強化に努めました。 ・両病院の一体的運営を促進し、相互診療支援機能を強化するため平成24年度から稼働予定の両院共通の電子カルテの導入に向けた準備を進めました。 ・加古川西市民病院の糖尿病患者を加古川東市民病院のフットケアチームが受け入れているほか、加古川東市民病院の歯科口腔外科が加古川西市民病院の周術期患者に対応するなどの一連診療を検討しています。 ・加古川東市民病院では平成23年11月より「形成外科」の診療を開始し、加古川西市民病院では平成24年1月より「病理診断科」及び「リハビリテーション科」を増設し病院機能の総合的な向上を図りました。しかしながら、医師、看護師不足の状態は続いており、加古川西市民病院における休床も解消していきいます。 ・継続してまいります。 ・既存の診療科のうち中核となるものを診療センターとして充実させ、医療の高度化を図りました。	①	①	3	①	評価委員会の評価 ・新たな3診療科や診療センターの設置により、病院としての総合力の向上や医療の高度化を図ったこと、また新たな研修施設の認定を受け、医療従事者にとつて魅力ある病院づくりに取り組んでいることは評価できる。 ・医師及び看護師の確保について、初年度は達成できているが、更なる診療機能の充実に向け引き続き取り組むことが必要である。
診療科 加古川西市民病院 (16科) 内科 精神・神経科 消化器科 循環器科 小児科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 放射線科 皮膚科 泌尿器科 放射線科 形成外科 産婦人科 放射線科	診療科 加古川東市民病院 (12科) 内科 消化器内科 循環器内科 小児科 外科 心臓血管外科 整形外科 リハビリテーション科 産婦人科 放射線科 歯科口腔外科 放射線科	診療科 加古川西市民病院 (18科) 内科 消化器内科 循環器内科 小児科 精神・神経科 外科 整形外科 泌尿器科 産婦人科 小児科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 放射線科 皮膚科 泌尿器科 放射線科 形成外科 産婦人科 放射線科 歯科口腔外科 放射線科	診療科 加古川東市民病院 (13科) 内科 消化器内科 循環器内科 小児科 外科 心臓血管外科 整形外科 形成外科 産婦人科 産科口腔外科 放射線科 放射線科 リハビリテーション科				



項目別の状況

<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 1 医療体制の維持及び拡大</p> <p>(小項目) (2) 安定的かつ継続的な医療の確保 (続)</p>	<p>(中期目標の内容) (2) 安定的かつ継続的な医療の確保 (再掲) 統合・再編に伴って地域住民への医療の質の低下を招くこと無く、両病院の特長を生かし、既存の診療科の機能をより充実させること。また、両病院は、新たな診療科の設置も考慮しながら、病院間での診療支援など相互の連携・補充関係を強化することで、統合・再編の相乗効果を追求し、安定的かつ継続的な医療を確保すること。</p>
---	---

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価														
評価の判断理由	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価													
<p>医療の質の向上と統合・再編による病院運営の相乗効果の追求に努めます。とりわけ周産期・小児医療、循環器及び消化器分野などの特徴ある診療科の更なる高度化に努めるとともに、両病院の連携協力により、内科、外科の充実をはじめ、病院の核となる診療センターの設置や、新たな診療科の設置を検討する中で、医療機能の強化を図ります。</p>	<p>医師、看護師の確保に努め、安定的かつ継続的な医療を提供します。 ・職員の仕事と生活の調和を図るため、ワークライフバランスプログラムを開設します。 ・新統合病院における「診療センター」の設置に向け、段階的な準備活動及び充実を検討します。</p>	<p>平成24年4月1日現在の医師数は、加古川西市民病院で83人、加古川東市民病院で46人(前年比10人増)となり、看護師は両病院合わせて515人(前年比31人増)となりました。 ・認定看護師等の資格取得を奨励・支援するための助成を制度化するなど職員のモチベーションのアップと定着率の向上を図りました。 ・労働組合と協働しながら、時間外勤務の削減と有給休暇の計画的取得に取り組み、職員のワーク・ライフバランスの実現に努めました。 ・院内保育園の運営をはじめとする就労環境の整備に取り組みました。 ・新統合病院における診療センターのさきがけとして、両病院に診療センターを設置しました。</p>	<p>平成24年度 加古川西市民病院 加古川東市民病院</p> <table border="1"> <tr> <td>平成23年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成23年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>実績値</td> <td>目標値</td> <td>実績値</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>23</td> <td>26</td> <td>15</td> </tr> </table> <p>診療科数(科) 13 認定研修施設数(件) 15</p>	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	目標値	実績値	目標値	実績値	16	16	18	12	23	23	26	15	<p>新たに開設した診療科は、加古川西市民病院ではリハビリテーション科、病理診断科、加古川東市民病院では形成外科の合計3診療科です。 ・平成24年4月に向け、加古川西市民病院で救急科の開設の準備を進めました。 ・加古川西市民病院では、新たに3つ、加古川東市民病院でも新たに3つの認定研修施設の認定を受け、指導医のもとで高度な知識や技術を学べる教育環境を整え、医療従事者にとって魅力ある病院づくりを行いました。</p>
平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度																	
目標値	実績値	目標値	実績値																	
16	16	18	12																	
23	23	26	15																	

項目別の状況	
(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためのとるべき措置	(中期目標の内容) (3) 職員の融和及び連携の強化 両病院の職員は、公的病院としての使命を果たすため、法人が掲げる理念を理解し、「目指すべき新病院の姿」の実現に向けて、病院間の距離を超えて一致協力し、質の高い医療の提供に努めること。
(中項目) 1 医療体制の維持及び拡大	
(小項目) (3) 職員の融和及び連携の強化	

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
(3) 職員の融和及び連携の強化 両病院の職員が交流、連携する機会を十分に設け、法人が掲げる理念を理解し、職員の融和を図るとともに、職員の相互理解の下、職員が交流、連携する機会を十分に設け、法人が掲げる理念を理解し、「目指すべき新病院の姿」の実現に向けて、病院間の距離を超えて一致協力し、職員一丸となって高度で質の高い医療を提供します。	(3) 職員の融和及び連携の強化 ・法人が掲げる理念を理解し、「目指すべき新病院の姿」の実現に向けて、病院間の距離を超えて一致協力し、職員一丸となって高度で質の高い医療を提供します。 ・両病院の職員が交流、連携する機会を十分に設けます。 ・職員の相互理解の下、職員の融和を図るため、両病院の職員交流プログラムの作成します。 ・職員交流プログラムの実施については、平成23年度は研修医より開始し、次年度以降、順次、対象範囲を拡大していきます。	評価の判断理由(実施状況等) (3) 職員の融和及び連携の強化 ・基本理念を示したカードを全職員に配布、携行させるとともに、年度初めや年頭に当たっては、理事長、院長からの訓示を行うとともに、院内広報誌を活用して、機構のビジョン等を目標とするなど、全職員が一致協力して目標達成を図るよう意識の醸成に努めました。 ・機構の機関紙(なごみ)による採用職員の紹介、機構総会の開催、職員表彰や職員互助会の統一など機構一体となった取組を行い職員の融和を図りました。 ・研修医や看護師について両病院間の人事交流を行いました。平成24年度以降は、医療技術職員や事務職員にも範囲を広げていくよう検討しています。 ・医療技術部門、看護部門では、両病院の連携に向け、互いの業務視察を行うなど部門単位での交流を進めました。 ・福利厚生団体である職員互助会によるレクリエーション活動を通じて職員の交流と親睦を図りました。 ・機構総会を開催し、研究発表、功勞表彰などとともに、職員の交流を図りました。	②	③	②	④	評価の判断理由・委員会の意見など ・様々な職種が働く病院で、職員の融和・連携を図ることは困難な課題だと思いますが、機構のビジョンの共有、人事交流、共同研究等により職員に一体感を醸成しようとする姿勢が見られる。

項目別の状況	
(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	(中期目標の内容) 医療従事者の確保 大学医学部などの医育機関との連携強化により、臨床研修体制などを充実させ、医師及び初期・後期臨床研修医の確保に努めること。さらに、看護系大学などの教育施設との連携により、看護師及び医療技術者の確保に努めること。
(中項目) 1 医療体制の維持及び拡大	
(小項目) (4) 医療従事者の確保	

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
(4) 医療従事者の確保 大学医学部など医育機関との連携強化により臨床研修体制などの充実を図るため、「教育支援センター」を設け、教育・研修機能の強化を図ります。共同での臨床研修プログラムの作成及び研修指導体制を構築します。 看護系大学などとの就学、教育支援、実習受け入れを強化するとともに、十分な情報提供に努め、看護師及び医療従事者に選ばれ病院づくりに取り組んでいきます。 また、看護系大学との協議の下、看護学生のニーズを踏まえた奨学支援制度を創設し、看護師など医療従事者の確保に努めます。	(4) 医療従事者の確保 大学医学部など医育機関との連携強化により臨床研修体制などの充実を図るため、「教育支援センター」を設け、教育・研修機能の強化を図ります。両病院共同での臨床研修プログラムの作成及び研修指導体制を構築します。 医師及び初期・後期臨床研修医の確保に努めます。とりわけ、加古川西市民病院においては内科医師の確保に努めるとともに、加古川東市民病院においては外科医師の確保に努めます。 看護系大学などとの就学、教育支援、実習受け入れを強化するとともに、十分な情報提供に努め、看護師及び医療従事者の確保に努めます。 看護系大学との協議の下、学生のニーズを踏まえた奨学金制度などを創設します。	評価の判断理由(実施状況等) (4) 医療従事者の確保 ・機構に教育支援センターを設置し、研究研修費の増額、スキルラボの充実、資格取得支援、交流研修の実施など教育・研修機能の強化を図りました。 ・医師の臨床研修について、両病院間での相互連携プログラムを作成し、研修医が双方の病院の得意分野で充実した臨床研修が実施できることとしました。 【医師】 ・2制度となったについて両病院の医師の給与制度を抜本的に見直し、統一化しました。(平成24年4月から適用) ・医師事務負担軽減補助者を増員し、医療職の事務負担軽減を図り、勤務環境の整備に努めました。 ・協力関係にある大学医学部の医局からの採用を基本としながら、紹介機関や人的ネットワークを活用し、平成24年4月には医師数が前年度より10人増員することができました。 ・加古川西市民病院の内科医師は、平成22年度末との比較では倍増となり、加古川東市民病院の外科医師は2人増となり、診療体制の整備を図ることができました。 ・平成24年度に向けた初期研修医の採用に注力した結果、両病院とも定数を確保することができ(加古川東市民病院は国家試験の関係で1人欠員)、後期研修医も増員を図ることができました。	評価委員会の評価 評価の判断理由・委員会の意見など ・全国的に医師や看護師の確保が難しい中で、それぞれ増員できたのは大きな成果だと評価できる。 ・良い医療を提供するためには、医療従事者の確保において、量だけでなく質にも留意することが必要である。				
		②	③	②	④		

項目別の状況

<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 1 医療体制の維持及び拡大</p> <p>(小項目) (4) 医療従事者の確保 (続)</p>	<p>(中期目標の内容) (4) 医療従事者の確保 (再掲) 大学医学部などの医学機関との連携強化により、臨床研修体制などを充実させ、医師及び初期・後期臨床研修医の確保に努めること。さらに、看護系大学などの教育施設との連携により、看護師及び医療技術者の確保に努めること。</p>
---	---

中期計画	年度計画	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価																																																										
		評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など																																																										
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成21年度 実績値</th> <th>平成27年度 目標値</th> <th>平成21年度 実績値</th> <th>平成27年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師数 (人)</td> <td>47</td> <td>57</td> <td>31</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>初期臨床研修医数 (人)</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>後期臨床研修医数 (人)</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>看護師数 (人)</td> <td>297</td> <td>332</td> <td>168</td> <td>193</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成21年度 実績値	平成27年度 目標値	平成21年度 実績値	平成27年度 目標値	医師数 (人)	47	57	31	35	初期臨床研修医数 (人)	4	4	5	5	後期臨床研修医数 (人)	13	10	4	6	看護師数 (人)	297	332	168	193	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成21年度 実績値</th> <th>平成23年度 目標値</th> <th>平成21年度 実績値</th> <th>平成23年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師数 (人)</td> <td>47</td> <td>57</td> <td>31</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>初期臨床研修医数 (人)</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>後期臨床研修医数 (人)</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>看護師数 (人)</td> <td>297</td> <td>297</td> <td>168</td> <td>183</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成21年度 実績値	平成23年度 目標値	平成21年度 実績値	平成23年度 目標値	医師数 (人)	47	57	31	32	初期臨床研修医数 (人)	4	7	5	3	後期臨床研修医数 (人)	13	9	4	4	看護師数 (人)	297	297	168	183	<p>【看護師及び医療技術職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師の確保については、法人化により柔軟な採用計画がとれる体制となり、学生向けの説明会(3回)や学校訪問(21校)を実施するとともに、採用試験を6回実施することにより、平成23年度において100人の募集に対して、83人を確保することができ、平成24年4月に向け機構全体として31人の増員を図ることができました。</li> <li>・新たに奨学金制度を設け、平成23年度に12人(うち5人は鹿児島県)に適用し、将来に向けた看護師確保策を講じました。</li> <li>・加古川西市民病院で延289人、加古川東市民病院で延172人の看護実習生を受け入れるなど看護大学等との連携強化を図りました。</li> <li>・医療技術職員は全体で10人の増員を図り、医療の専門性を高めました。</li> <li>・医療技術職員については加古川西市民病院で延23人、加古川東市民病院で延57人の実習生を受け入れるなど、各種養成学校との連携を十分に保ちながら、医療従事者の確保に努めました。</li> </ul>	
項目		加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																									
	平成21年度 実績値	平成27年度 目標値	平成21年度 実績値	平成27年度 目標値																																																									
医師数 (人)	47	57	31	35																																																									
初期臨床研修医数 (人)	4	4	5	5																																																									
後期臨床研修医数 (人)	13	10	4	6																																																									
看護師数 (人)	297	332	168	193																																																									
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																										
	平成21年度 実績値	平成23年度 目標値	平成21年度 実績値	平成23年度 目標値																																																									
医師数 (人)	47	57	31	32																																																									
初期臨床研修医数 (人)	4	7	5	3																																																									
後期臨床研修医数 (人)	13	9	4	4																																																									
看護師数 (人)	297	297	168	183																																																									
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成23年度 実績値</th> <th>平成23年度 目標値</th> <th>平成23年度 実績値</th> <th>平成23年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師数 (人)</td> <td>57</td> <td>63</td> <td>32</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>初期臨床研修医数 (人)</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>後期臨床研修医数 (人)</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>看護師数 (人)</td> <td>297</td> <td>311</td> <td>183</td> <td>204</td> </tr> </tbody> </table> <p>※常勤職員のみの上 ・医師数は合計10人、看護師数は合計31人の増員を図ることができ、いずれも目標値を超えることができました。</p>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成23年度 実績値	平成23年度 目標値	平成23年度 実績値	平成23年度 目標値	医師数 (人)	57	63	32	39	初期臨床研修医数 (人)	7	8	3	3	後期臨床研修医数 (人)	9	12	4	4	看護師数 (人)	297	311	183	204																															
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																										
	平成23年度 実績値	平成23年度 目標値	平成23年度 実績値	平成23年度 目標値																																																									
医師数 (人)	57	63	32	39																																																									
初期臨床研修医数 (人)	7	8	3	3																																																									
後期臨床研修医数 (人)	9	12	4	4																																																									
看護師数 (人)	297	311	183	204																																																									

項目別の状況

(大項目)

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

(中項目)

1 医療体制の維持及び拡大

(小項目)

(5) 情報発信の推進

(中期目標の内容)

(5) 情報発信の推進

病院運営に関して、地域住民の理解が得られるよう積極的な情報発信を行い、地域住民や患者に愛され、支えられ、そして選ばれる病院づくりに努めること。

中期計画

(5) 情報発信の推進  
 ホームページによる広報機能の強化に努める一方、シンポジウムやセミナー、市民公開講座の開催や、広報紙などの発行を通して、病院運営に関して地域住民の理解が得られるよう積極的な情報発信を行い、地域住民や患者に愛され、支えられ、そして選ばれる病院づくりに努めます。

項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院	
	平成21年度	平成27年度	平成21年度	平成27年度
広報誌発行数(部)	20	24	7	10
公開講座参加者数(回)	62	66	40	50

年度計画

(5) 情報発信の推進  
 ・病院運営に関して地域住民の理解が得られるよう積極的な情報発信を行い、地域住民や患者に愛され、支えられ、そして選ばれる病院づくりに努めます。  
 ・ホームページや広報紙を通じた的確な情報発信及び広報機能の強化を行います。そのため、両病院合同による広報委員会を設置します。  
 ・地域住民に両病院を身近に知ってもらうため、また、地域医療の現状に関する理解を得るため、市民公開講座や市民シンポジウムを開催します。

項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院	
	平成21年度	平成22年度	平成21年度	平成22年度
広報誌発行数(発行回数)	20	20	7	10
公開講座参加者数(回)	62	64	40	50

市民病院機構の自己評価

評価の判断理由(実施状況等)

(5) 情報発信の推進  
 ・機構の経営戦略室が中心となつて、両病院の広報委員会が連携し、広報戦略を立て診療案内を発行するなど、情報発信に努めました。  
 ・ホームページの開設・更新、両病院の広報紙、掲示板などを活用し、積極的な情報発信を行いました。  
 ・統合・再編並びに新統合病院の整備に向けた取組については、理事長自ら地域の集会や勉強会に出席して、多くの住民に理解を求めました。  
 ・両病院で重点的に実施している医療について、地域医療フォーラムや公開講座を通じて地域住民への情報発信を行いました。  
 ・地域連携広報誌「Face to Face」「ひだまり」「病院ナウ!」「燦さん」「しんゆう」を発行し、医療関係機関及び地域住民に対して積極的に情報発信を行いました。

項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院	
	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度
広報誌発行数(部)	20	12	10	15
公開講座参加者数(回)	64	61	50	71

・各種の公開講座を積極的に開催するとともに、加古川西市民病院における「看護の日」や加古川東市民病院における「クリスマスマスタ」などのイベントを通じ、両病院を身近に感じてもらえる取組を進めました。  
 ・医師会との連携により、地域連携講座や地域医療フォーラムなどに積極的に取り組むことにより、地域医療の現状の理解に努めました。  
 ・看護協会の実施する「まちの保健室」へ看護師、助産師が参加し、地域住民の保健・医療・福祉意識の向上に努めました。

評価委員会の評価

評価の判断理由・委員会の意見など

・広報誌等発刊数と公開講座等開催数で目標を達成しなかつたものの、理事長自ら地域の勉強会に出席したことのほか、各病院で地域に開かれたイベントを開催するなど、指標には現れないところでの努力も見られる。  
 ・今後、より多くの市民が病院に関する情報に接する機会を設け、病院運営に対する市民の理解につなげる努力が必要である。

3

3

項目別の状況	
<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療</p> <p>(小項目) (1) 重点的医療への取組</p>	<p>(中期目標の内容) (1) 重点的医療への取組 医療ニーズとして重点課題となっている「がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、救急医療及び周産期・小児医療」を特に強化、充実すること。</p>

中期計画	年度計画	市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価			
		ウエイト	評価	ウエイト	評価		
<p>(1) 重点的医療への取組 地域の中核病院として、両病院間での相互補完を強め連携協力しながら、4 疾病 3 事業を中心とした基幹的診療科の充実を図ります。特に、両病院の特長である心臓血管センター、地域周産期母子医療センターは、更なるレベルアップを図ってまいります。</p>	<p>(1) 重点的医療への取組 ・内科（特に消化器内科）、外科について、両病院を一体運用する考えの下、両病院間の相互補完を更に実施し、両病院の診療機能の維持拡大に努めます。 ・両病院の特長である加古川西市民病院の地域周産期母子医療センター及び加古川東市民病院の心臓血管センターの更なるレベルアップを図ります。</p>	<p>市民病院機構の自己評価 評価の判断理由（実施状況等） (1) 重点的医療への取組 ・内科、外科について両病院の診療科が一体的に運用する取組を進め、相互連携体制の強化を図りました。 ・内科においては、加古川西市民病院の糖尿病の患者を加古川東市民病院のフットケアチームが受け入れを行っており、平成24年度に向けては、冠動脈C T 読影支援や歯科口腔外科の周術期治療などについて、両病院間の相互支援を検討しており、今後さらに診療機能の補完体制を充実してまいります。</p>	<p>ウエイト ①</p>	<p>評価 4</p>	<p>ウエイト ①</p>	<p>評価 4</p>	
<p>(1) 重点的医療への取組 地域の中核病院として、両病院間での相互補完を強め連携協力しながら、4 疾病 3 事業を中心とした基幹的診療科の充実を図ります。特に、両病院の特長である心臓血管センター、地域周産期母子医療センターは、更なるレベルアップを図ってまいります。</p>	<p>(1) 重点的医療への取組 ・内科、外科について両病院の診療科が一体的に運用する取組を進め、相互連携体制の強化を図りました。 ・内科においては、加古川西市民病院の糖尿病の患者を加古川東市民病院のフットケアチームが受け入れを行っており、平成24年度に向けては、冠動脈C T 読影支援や歯科口腔外科の周術期治療などについて、両病院間の相互支援を検討しており、今後さらに診療機能の補完体制を充実してまいります。</p>	<p>市民病院機構の自己評価 評価の判断理由（実施状況等） (1) 重点的医療への取組 ・内科、外科について両病院の診療科が一体的に運用する取組を進め、相互連携体制の強化を図りました。 ・内科においては、加古川西市民病院の糖尿病の患者を加古川東市民病院のフットケアチームが受け入れを行っており、平成24年度に向けては、冠動脈C T 読影支援や歯科口腔外科の周術期治療などについて、両病院間の相互支援を検討しており、今後さらに診療機能の補完体制を充実してまいります。</p>	<p>ウエイト ①</p>	<p>評価 4</p>	<p>ウエイト ①</p>	<p>評価 4</p>	
		<p>【加古川西市民病院】 ・地域周産期母子医療センターの機能を充実させました。 ・産婦人科は診療機能の充実を図り、分娩858件、母体搬送103件などに対応しました。 ・新生児医療の分野では、圏域で唯一のNICUを運営しており、小児科医師の充実と合わせ診療機能のレベルアップを図りました。</p>				<p>【加古川東市民病院】 ・心臓血管センターでは、心臓外科手術214件、PCI 485件、ABL175件、PMI34件を実施し、地域の心疾患医療の中核を担いました。</p>	
		<p>評価委員会の意見など ・加古川西市民病院は、地域周産期母子医療センターとしてハイリスク分娩への対応や圏域で唯一のNICUの運営、糖尿病に関する専門的診療や総合的なチーム医療の強化、また、加古川東市民病院は、24時間365日体制で地域の循環器疾患の治療センターとして医療を提供するなど、心筋梗塞、糖尿病、がん、脳卒中、救急医療に関して、高く評価できる。 ・がんと、脳卒中、救急医療に関しては、不十分な点も見受けられることから、医師、看護師の確保等を進め、一層の充実を期待する。</p>					

項目別の状況	
<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療</p> <p>(小項目) (1) 重点的医療への取組 (続)</p>	<p>(中期目標の内容) (1) 重点的医療への取組 (再掲) 医療ニーズとして重点課題となっている「がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、救急医療及び周産期・小児医療」を特に強化、充実すること。</p>

市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
評価の判断理由 (実施状況等)	ウエト	ウエト	評価
<p>① がん 【加古川西市民病院】 ・平成24年度に地域がん診療連携拠点の指定を得るため、がん診療センターボードやがん診療プロトコール検討委員会の設置及び開催などを通じ、がん診療体制を強化します。</p>	<p>① がん 【加古川西市民病院】 ・がん診療センターボードや診療パスの整備を進め、診断から放射線治療や化学療法を含む治療、緩和ケアまで一貫したがんの集学的診療体制を強化しました。 放射線治療件数 4,856件 外来化学療法 702人 ・平成23年9月から内科に特殊外来として緩和ケア外来を設けました。 ・がん診療に対する専門性を高めるために、がん化学療法や緩和ケアの認定看護師の資格取得を進めました。 ・平成24年3月29日に兵庫県指定がん診療連携拠点病院の指定を受けました。</p>	<p>① がん 【加古川東市民病院】 ・がん診療体制を構築し強化します。</p>	<p>① がん 【加古川東市民病院】 ・がん診療体制の強化のため、加古川西市民病院と合同でがん診療センターボードやがん診療プロトコール検討委員会を開催しました。 ・がん診療体制の強化のために、消化器内科、消化器外科の医師の増員を図りました。 外来化学療法 836人</p>

項目別の状況	
(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	(中期目標の内容) 医療ニーズとして重点課題となっている「がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、救急医療及び周産期・小児医療」を特に強化、充実すること。
(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療	
(小項目) (1) 重点的医療への取組 (続)	

中期計画	年度計画	市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
		ウエイ	評価	ウエイ	評価
<p>② 脳卒中 神経内科、脳神経外科、救急部、リハビリ部門を中心とした治療体制に専念する。急性期医療に専念し、急性期を脱した患者の受入先を確保します。</p>	<p>② 脳卒中 【加古川西市民病院】 ・精神・神経科、脳神経外科、リハビリテーション部門を中心とした、脳卒中診療体制及び脳卒中リハビリ体制を構築、強化します。 ・急性期医療に専念するために、地域の医療機関との連携を強化し、急性期を脱した患者の受入先を確保します。 ・地域連携リハビリテーションの充実を図るため、地域連携クリニックパスの整備を充実します。 ・当院からの転院等がスムーズに引き継がれるよう、各様式の整備や窓口の統一など、近隣医療機関、介護施設などとの利用しやすい極め細やかな連携実務体制を強化します。 ・近隣医療機関や介護施設などと定期的に、共同のリハビリテーションを実施します。</p>	<p>② 脳卒中 【加古川西市民病院】 ・加古川西市民病院にリハビリテーション科を設置し、診療体制の強化を図りました。 ・精神・神経科、脳神経外科、リハビリテーション部門の診療科横断カンファレンスを毎週開催し、患者の状態に配慮した上で入院当日からのリハビリ処方を実施しました。 ・カンファレンスにおいて、患者の適応やクリニックパスの内容等について検討し、改善を行いました。 ・地域連携室のスタッフ数を増やし、地域連携スタッフによる近隣医療機関の訪問を継続し、地域の医療機関との連携強化に努めました。 ・地域連携関係の諸様式の見直しを行い、連携窓口を地域連携室に一本化するにより、スムーズな連携体制の整備を行いました。 ・脳卒中にかかる地域連携クリニックパスに参加し運用しています。 ・後方病院のスタッフとの間で実務者担当会議を設置し、転院実務に関する連携を強化しました。 ・近隣施設の医師、看護師、リハビリスタッフとの連携会議を実施し、スキルの向上を図りました。</p>			



項目別の状況	
(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	(中期目標の内容) (1) 重点的医療への取組(再掲) 医療ニーズとして重点課題となっている「がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、救急医療及び周産期・小児医療」を特に強化、充実すること。
(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療	
(小項目) (1) 重点的医療への取組(続)	

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
内容	状況	内容	状況	評価	コメント	評価	コメント
③ 心筋梗塞 冠動脈疾患の治療センターとして地域での中心的役割を担います。救命救急センターとの連携の下、心筋梗塞、狭心症などの疾患に対して、24時間365日体制で対応します。	③ 心筋梗塞 【加古川東市民病院】 ・冠動脈疾患の治療センターとして地域での中心的役割を担います。 ・救命救急センターとの連携の下、心臓疾患の治療体制を強化し、心筋梗塞、狭心症などの疾患に対して、24時間365日体制で対応します。	③ 心筋梗塞 【加古川東市民病院】 ・循環器疾患の治療センターとして地域での中心的役割を担い、圏域の約7割に相当する患者に対応しました。 ・救命救急センターとの連携の下、心筋梗塞、狭心症などの疾患に対して、24時間365日体制で対応しました。 ・循環器系疾患を中心とした救急受入件数が約2割上昇しました。 ・被曝線量が少なく短時間検査が可能な最新のCTを導入することにより、重症救急搬送患者、不整脈患者への対応が可能になるなど、診療機能の向上を図りました。 ・Q I (QualityIndicator) を設定して患者来院時からP C Iまでの時間が90分以内の症例を増やす努力をしました。					

項目別の状況	
(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療 (小項目) (1) 重点的医療への取組 (統)	(中期目標の内容) ① 重点的医療への取組 (再掲) 医療ニーズとして重点課題となっている「がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、救急医療及び周産期・小児医療」を特に強化、充実すること。

中期計画	年度計画	市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価		
		評価の判断理由(実施状況等)	ウエイト	評価	ウエイト	評価
④ 糖尿病 小児科との連携の下、成人後の1型糖尿病の医療提供体制や、地域周産期母子医療センターとの連携の下、周産期の血糖管理が行える体制を構築し、高度で専門的な糖尿病診療を提供します。	④ 糖尿病 小児科との連携の下、成人後の1型糖尿病の医療提供体制や、地域周産期母子医療センターとの連携の下、周産期の血糖管理が行える体制を構築します。 ・高度で専門的な糖尿病診療を提供します。	④ 糖尿病 【加古川西市民病院】 ・小児科及び地域周産期母子医療センターとの連携により、成人後の1型糖尿病の医療提供体制や、周産期の血糖管理を実施しました。 1型糖尿病患者 52人 妊娠糖尿病患者 20人 ・糖尿病指導医を中心とした専門的な糖尿病診療を行い、延198人の入院患者、延673人の外来患者の診療にあたりました。 ・検査やリハビリなどの医療技術部門との連携により、延80人の糖尿病教育入院患者を受け入れました。 ・医師、薬剤師、栄養士、リハビリ士などによるK-DIETチームを結成し、糖尿病の総合的なチーム医療の強化を図りました。 ・血管併症のある糖尿病患者は、加古川東市民病院のフットケアチームとの連携による治療を実施しました。				

項目別の状況	
(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療 (小項目) (1) 重点的医療への取組 (続)	(中期目標の内容) (1) 重点的医療への取組 (再掲) 医療ニーズとして重点課題となっている「がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、救急医療及び周産期・小児医療」を特に強化、充実すること。

中期計画	年度計画	市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由 (実施状況等)	評価	評価	評価の判断理由・委員会の意見など
<p>⑤ 救急医療 両病院の2次救急患者の受け入れ体制を充実させます。また、両病院が連携し、それぞれの病院の強みである疾患に関しては特に重点的な受け入れに努めます。</p> <p>【加古川西市民病院】 ・医師の確保をはじめ、2次救急患者受け入れ体制の強化に向けた取り組みを進めます。</p> <p>【加古川東市民病院】 ・心臓疾患をはじめとする当院の強みである各疾患において特に重点的な受け入れを実施します。</p>	<p>⑤ 救急医療 両病院の2次救急患者の受け入れ体制を充実させます。また、両病院が連携し、それぞれの病院の強みである疾患に関しては特に重点的な受け入れに努めます。</p> <p>【加古川西市民病院】 ・2次救急患者の受け入れを進めました。特に、加古川西市民病院では、小児・周産期分野、加古川東市民病院においては循環器分野を中心とした内科領域において、休日・夜間を含めた救急患者の受け入れを増加させました。</p> <p>【加古川西市民病院】 ・2次救急患者体制に参加し、前年比33%増となる1,913件の救急車を受け入れるとともに、小児、周産期の分野では医療圏域を越える広域の救急患者の受け入れを行いました。</p> <p>・救急医療への体制を確立するため、救急専門医の招聘に努め、平成24年4月から救急科を設置する準備を進めました。</p>				
		<p>⑤ 救急医療 両病院の2次救急患者の受け入れ体制を充実させます。また、両病院が連携し、それぞれの病院の強みである疾患に関しては特に重点的な受け入れに努めます。</p> <p>【加古川東市民病院】 ・当院の強みである循環器疾患において、24時間365日の救急受入体制を維持し、救急患者は7,542人でした。救急車受入件数は前年度比15%増の2,400件となり、加古川地域の内科系疾患救急搬送件数の約30%、C P A患者の約50%を受け入れました。</p> <p>・小児救急の輪番に参加し、救急患者に対応しました。</p>			

項目別の状況	
(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	(中期目標の内容) (1) 重点的医療への取組(再掲) 医療ニーズとして重点課題となっている「がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、救急医療及び周産期・小児医療」を特に強化、充実すること。
(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療	
(小項目) (1) 重点的医療への取組(続)	

中期計画	年度計画	市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
		ウエイト	評価	ウエイト	評価
<p>⑥ 周産期・小児医療 現在の小児医療体制を維持するとともに、産科部門と新生児部門の連携により、地域周産期母子医療センターとして、周辺地域の中心的役割を担います。また、総合周産期母子医療センターの指定を旨とし、更なる充実を図ります。</p>	<p>⑥ 周産期・小児医療 ・両病院併せての診療機能を維持・充実させつつ、地域での小児医療体制の充実を図っていきます。 【加古川西市民病院】 ・地域周産期母子医療センターとして周産期医療の更なる充実を図ります。</p>	<p>市民病院機構の自己評価</p> <p>評価の判断理由(実施状況等)</p> <p>⑥ 周産期・小児医療 ・両病院の周産期、小児医療体制の充実を図りました。 【加古川西市民病院】 ・小児科医18人、産婦人科医9人による診療体制により、地域周産期母子医療センターとして、高度専門医療を提供しました。 ・産婦人科では、多胎分娩49件、低体重児263件、帝王切開370件など、地域周産期母子医療センターの機能を発揮し、ハイリスク分娩を中心とした周産期医療への取組を進めました。 ・新生児医療では、圏域唯一のNICUを運営し、地域の新生児医療の中核病院としての医療を提供しました。 ・小児科外来では、数多くの特殊専門外来を設け、幅広い医療ニーズに対応しました。 産婦人科入院患者数 15,076人 産婦人科外来患者数 20,078人 小児科入院患者数 30,982人 (うちベビーセンター 15,364人) 小児科外来患者数 41,273人 (小児科には小児外科を含む。) ・加古川西市民病院が保有する新生児救急車(カンガル一号)は消防本部との連携により、年間219件出動し救急症例に対応しました。 ・助産外来を設置し、医師と助産師の連携により83人の妊婦に対応しました。 ・母乳育児の推進や子育てサークルへの支援など「赤ちゃんにやさしい病院」の機能維持に努めました。</p>			

項目別の状況	
(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療 (小項目) (1) 重点的医療への取組 (続)	(中期目標の内容) (1) 重点的医療への取組 (再掲) 医療ニーズとして重点課題となっている「がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、救急医療及び周産期・小児医療」を特に強化、充実すること。

中期計画	年度計画	市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価		
		評価の判断理由 (実施状況等)	ウエト	評価	ウエト	評価
	<p>【加古川東市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の出産診療体制を維持します。</li> </ul>	<p>【加古川東市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通常分娩を中心とし、361件の分娩(うち帝王切開85件)を実施しました。リスクの高い患者については加古川西市民病院との連携により、安心度の高い出産診療を行いました。</li> <li>小児医療では、アレルギーやぜんそく、夜尿症など、特色のある医療を提供しました。(小児救急搬送367件)</li> </ul> <p>産婦人科入院患者数 4,916人 産婦人科外来患者数 9,092人 小児科入院患者数 6,615人 小児科外来患者数 17,962人</p>				

項目別の状況

(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	(中期目標の内容) (2) 高度専門医療の提供 両病院で特に中心的役割を担う診療科については、さらに診療内容のレベルアップを図り、高度専門医療を提供できる体制を構築すること。 加えて、高度専門医療を担う医師、看護師及び医療技術者による調査、研究、治療や従事者の研修体制を整備し、新しい医療を積極的に取り入れること。また、医師、看護師及び医療技術者がそれぞれの専門性を高めつつ連携することで、新しいチーム医療を確立していくこと。
(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療	
(小項目) (2) 高度専門医療の提供	

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
中期計画	年度計画	評価の判断理由(実施状況等)	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・委員会の意見など
(2) 高度専門医療の提供 両病院で特に中心的役割を担う診療科については、更に診療内容のレベルアップを行うため、各診療科の連携及び集約によるセンター化に向けた検討を進めます。 また、新しい医療を積極的に取り入れます。 新しいチーム医療の確立に努めます。	(2) 高度専門医療の提供 ・両病院で特に中心的役割を担う診療科については、更に診療内容のレベルアップを行うため、各診療科の連携及び集約によるセンター化に向けた検討を進めます。 ・新しい医療を積極的に取り入れます。 ・新しいチーム医療の確立に努めます。 ・そのため、両病院合同のチームケアアレンスなどをはじめとした連携体制の構築はもとより、臨床研究の成果や治療実績等についての各種発表会等の開催など、医師の交流を積極的に進めます。	(2) 高度専門医療の提供 ・加古川市民病院では、内視鏡センターと心臓血管センターを設置し、高度専門的な医療を提供しています。大動脈ステントグラフト及び末梢動脈血管治療を行い、形成外科との連携により、下肢重症虚血疾患に対するフットケアチームをスタートさせました。 ・加古川市民病院では、消化器内視鏡センター、こどもセンター、周産母子センター及びがん集学的治療センターを新たに設置し、診療内容のレベルアップを図りました。 ・加古川市民病院においては病理診断科とリハビリテーション科を、加古川市民病院においては形成外科を新設し、それぞれ関連する診療科との連携による医療を推進しました。 ・両病院合同のチームカンファレンスを積極的に推進し、新しいチーム医療の確立に努めました。 ・テレビ会議機能を活用し、両病院の部門会議を実施したほか、両病院において開催した研究発表会をもう一方の病院へWEB中継するなど、病院間の医療職の交流を深めました。 ・平成24年3月9日には機構総表を開催し、両病院の優秀な研究発表を実施しました。		4		4	・消化器領域のカプセル内視鏡や循環器領域の開心術、大動脈ステントグラフト治療などの高度専門医療の提供が図られており、高く評価できる。 ・高齢化が進み慢性期のケアのニーズが増すことから、認定看護師を育成し、ストマケア外来、糖尿病外来、フットケア外来などが行われていることは評価できる。更に認定看護師の育成を進め、慢性心不全など診療ニーズへの対応を期待する。 ・加古川市民病院の放射線治療が必要な患者について、加古川市民病院に転院させるなど両病院の相互補完により治療をされていることは評価できる。 ・両病院の得意分野において、高度専門医療を提供する努力がなされている。今後の更なる高度化を期待する。

項目別の状況	
(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	(中期目標の内容) (2) 高度専門医療の提供(再掲) 両病院で特に中心的役割を担う診療科については、さらに診療内容のレベルアップを図り、高度専門医療を提供できる体制を構築すること。 加えて、高度専門医療を担う医師、看護師及び医療技術者による調査、研究、治験や従事者の研修体制を整備し、新しい医療を積極的に取り入れること。また、医師、看護師及び医療技術者がそれぞれの専門性を高めつつ連携することで、新しいチーム医療を確立していくこと。
(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療	
(小項目) (2) 高度専門医療の提供(続)	

中期計画	年度計画	市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由(実施状況等)	ウェット	評価	ウェット
<p>① 消化器領域</p> <p>加古川西市民病院においては、平成22年4月より消化器内視鏡学の着任にあわせて消化器内視鏡センターを開設し、最新の内視鏡機器を揃え、全消化器に対する高度な内視鏡による診断と治療の体制の充実を図っています。</p> <p>また、消化器外科は、消化器内科と連携し、消化器全般の外科的診療を行っています。主に担当する手術は、消化器の良性及び悪性疾患に対する手術、肝臓、胆嚢炎、虫垂炎、腹膜炎の緊急手術や鏡視下手術などです。がんに対する治療が中心となっていることから、がん化学療法や放射線療法なども含め、関連診療科と連携しながら集学的治療体制をとっています。</p> <p>加古川東市民病院においては、消化器内視鏡による診断と治療に特に注力し、平成21年6月より内視鏡センターを設置して、診療の充実を図っています。胆道系の特長内視鏡などによる診断と治療などを含め、症例数は着実に増加しています。</p> <p>新統合病院に向けて、両病院の消化器内科、消化器外科、放射線科、病理科等関連診療科の充実を深め、医療内容のレベルアップを図ります。今後は、新統合病院の「消化器センター」に向けて、両病院お互いに連携を取って診療内容の充実を図ります。</p>	<p>① 消化器領域</p> <p>・2次救急医療の遂行の観点から、両病院ともに、消化器診療機能の維持、充実を図ります。</p> <p>・消化器内科、消化器外科とも一体運用の考え方で職員との交流を行いつつ、レベルアップを図ります。</p> <p>・新統合病院における「消化器センター」の設置に向けた検討を進めます。</p>	<p>① 消化器領域</p> <p>・新統合病院における消化器センターの設置を見据え、加古川西市民病院に消化器内視鏡センターを、加古川東市民病院に内視鏡センターを設置し、両病院ともに消化器診療の専門性を高め、診療機能の充実を図りました。</p> <p>・加古川西市民病院の消化器内視鏡センターには、カブセル内視鏡、バルーン内視鏡や超音波内視鏡などの最新の医療機器を導入しており、ESDやERCPなどの検査も実施するなど、一層の診療機能の充実を図りました。</p> <p>上部内視鏡 2,562件 下部内視鏡 1,749件</p> <p>・加古川東市民病院では、消化器内科医師2人を増員するとともに、内視鏡室を1室増設しました。また、ESD、EUS、ERCPなどの特殊内視鏡検査、治療の充実を図りました。</p> <p>上部内視鏡 3,675件 下部内視鏡 1,795件</p> <p>・両病院とも、がん予防のためのピロリ菌外来を開設しています。</p> <p>・消化器内科による検査・診断を経て、消化器外科における手術や化学療法などの治療、放射線治療や緩和ケアを含め、がん治療への総合的な取組を進めています。</p> <p>・消化器外科の手術件数 加古川西市民病院 642件 加古川東市民病院 331件</p>			

項目別の状況	
(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	(中期目標の内容) (2) 高度専門医療の提供(再掲) 両病院で特に中心的役割を担う診療科については、さらに診療内容のレベルアップを図り、高度専門医療を提供できる体制を構築すること。 加えて、高度専門医療を担う医師、看護師及び医療技術者による調査、研究、治験や従事者の研修体制を整備し、新しい医療を積極的に取り入れること。また、医師、看護師及び医療技術者がそれぞれの専門性を高めつつ連携することで、新しいチーム医療を確立していくこと。
(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療	
(小項目) (2) 高度専門医療の提供(続)	

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
評価の判断理由(実施状況等)	ウエイト	評価	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・委員会の意見など
<p>② 循環器領域</p> <p>加古川東市民病院においては、急性循環器疾患の24時間365日の救急受け入れ体制をとってきましたが、平成21年4月からは心臓血管センターとして院内協力体制を強化しています。心臓血管センターでは、循環器内科、心臓血管外科、麻酔科を核として、血管造影室、第2血管造影室の新設、不整脈治療(心筋焼灼術)用カテーターシステムの導入、ICU(12床)の開設、心臓血管外科専用手術室の運用開始、中央放射線部門(MDCT、心臓MRI、最新のRRI診断装置)、臨床工学技士部門(PCPS、IABP、体外循環、透析)、生理検査部門(心臓エコー、心電図、ABIなど)、心臓リハビリテーション体制の確立など、各種の診断機能を備え、あらゆる心臓疾患に素早く対応できるようになっています。</p> <p>今後は、更に、新しい診断診療技術を取り入れ、レベルアップを図ります。</p>	<p>② 循環器領域</p> <p>・新統合病院における「心臓血管センター」の設置に向けた検討を進めます。 【加古川東市民病院】</p> <p>・現在の心臓血管センターの更なる充実を図るとともに、新しい不整脈、大動脈ステントグラフト治療等に取り組んでいきます。</p>	<p>② 循環器領域</p> <p>・加古川東市民病院における重点医療分野である循環器領域を一層強化するため設置している心臓血管センターの機能の充実を図り、カテーター治療においてはOCTの導入により、さらなる高度専門医療の提供に努めました。</p> <p>・心臓血管センタースタッフの充実を図り、循環器内科においては、心カテーター検査1,489件、PCI 485件、ABL175件、PMI34件などを実施し、心臓血管外科においては、開心術87件、大動脈ステントグラフト治療29件など214件の心臓外科手術を実施し、虚血、不整脈、超音波領域におけるより専門的・高度医療提供に努めました。</p>					



項目別の状況	
(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	(中期目標の内容) (2) 高度専門医療の提供(再掲) 両病院で特に中心的役割を担う診療科については、さらに診療内容のレベルアップを図り、高度専門医療を提供できる体制を構築すること。 加えて、高度専門医療を担う医師、看護師及び医療技術者による調査、研究、治験や従事者の研修体制を整備し、新しい医療を積極的に取り入れること。また、医師、看護師及び医療技術者がそれぞれの専門性を高めつつ連携することで、新しいチーム医療を確立していくこと。
(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療	
(小項目) (2) 高度専門医療の提供(続)	

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
評価の判断理由(実施状況等)	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価の判断理由・委員会の意見など
<p>③ 小児科領域</p> <p>加古川西市民病院においては、一般小児科、小児外科が核となっており、眼科、耳鼻いんこう科、脳神経外科、皮膚科、精神・神経科、整形外科など他科との連携の下に子どもを包括的な医療の提供に努めます。また、東播磨地域及びその周辺地域をカバーする小児医療(未熟児、乳児候診、脳神経部門/腎臓部門/内分泌部門/代謝部門/在宅医療支援/循環器/心エコー/ポトック治療/予防接種/発達心理学/アレルギー/夜尿症や新生児手術/呼吸器手術(自然気胸など)、胸郭形成術/鼠径(そけい)ヘルニア、臍(へそ)ヘルニア、停留精巣手術/頸部や耳介の瘻孔(ろうこう)に対する形成術/外傷、熱傷、異物誤嚥(ごえん)などの救急処置への対応)の基幹施設としての役割を担うとともに、引き続き各種学会の施設認定を維持し、高度な知識と技術を併せ持った小児医療のスペシャリストの養成を図ります。</p> <p>【加古川西市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東播磨地域及びその周辺地域をカバーする小児医療の基幹施設としての役割を担うとともに、引き続き各種学会の施設認定を維持し、高度な知識と技術を併せ持った小児医療のスペシャリストの養成を図ります。</li> <li>・東播磨地域及びその周辺地域をカバーする小児医療の基幹施設としての役割を担うとともに、引き続き各種学会の施設認定を維持し、高度な知識と技術を併せ持った小児医療のスペシャリストの養成を図ります。</li> <li>・新生児、小児外科部門を含め年間入院患者30,982人、外来41,273人の患者を受け入れました。</li> <li>・小児科外来では、神経発達やボトックス治療、在宅医療などの特殊専門外来を数多く設け、専門性の高い医療を提供しました。</li> <li>・脳外科、眼科、耳鼻科などとの連携のもと、合併症に対する治療体制のさらなる強化を図りました。</li> </ul>	<p>③ 小児科領域</p> <p>・新統合病院における「こどもセンター」の設置に向けた検討を進めます。</p> <p>【加古川西市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東播磨地域及びその周辺地域をカバーする小児医療の基幹施設としての役割を担うとともに、引き続き各種学会の施設認定を維持し、高度な知識と技術を併せ持った小児医療のスペシャリストの養成を図ります。</li> <li>・東播磨地域及びその周辺地域をカバーする小児医療の基幹施設としての役割を担うとともに、引き続き各種学会の施設認定を維持し、高度な知識と技術を併せ持った小児医療のスペシャリストの養成を図ります。</li> <li>・新生児、小児外科部門を含め年間入院患者30,982人、外来41,273人の患者を受け入れました。</li> <li>・小児科外来では、神経発達やボトックス治療、在宅医療などの特殊専門外来を数多く設け、専門性の高い医療を提供しました。</li> <li>・脳外科、眼科、耳鼻科などとの連携のもと、合併症に対する治療体制のさらなる強化を図りました。</li> </ul>	<p>③ 小児科領域</p> <p>・新統合病院におけるこどもセンターの設置を見据え、加古川西市民病院にこどもセンターを設置しました。</p> <p>・両病院の特長を活かした診療連携の強化を図りました。</p> <p>【加古川西市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・18人の小児科医と3人の小児外科医による高度医療の提供を行い、東播磨地域及びその周辺地域からも患者を受け入れるなど、小児医療の基幹病院としての診療機能の強化に努めました。</li> <li>・小児領域の施設認定を維持し、専攻医の受入れを積極的に行い、教育施設として優れた医療人の育成に努めました。</li> <li>・新生児、小児外科部門を含め年間入院患者30,982人、外来41,273人の患者を受け入れました。</li> <li>・小児科外来では、神経発達やボトックス治療、在宅医療などの特殊専門外来を数多く設け、専門性の高い医療を提供しました。</li> <li>・脳外科、眼科、耳鼻科などとの連携のもと、合併症に対する治療体制のさらなる強化を図りました。</li> </ul>	<p>③ 小児科領域</p> <p>・新統合病院におけるこどもセンターの設置を見据え、加古川西市民病院にこどもセンターを設置しました。</p> <p>・両病院の特長を活かした診療連携の強化を図りました。</p> <p>【加古川東市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児2次救急病院として加古川西市民病院と連携すると共に、地域の小児診療の中核施設として、アレルギーやぜんそく、夜尿症など特色のある診療を行い、年間入院6,615人、外来17,962人の小児患者を受け入れました。</li> <li>・平成24年度に向け、専攻医1人を確保しました。</li> </ul>				

項目別の状況

<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療</p> <p>(小項目) (2) 高度専門医療の提供 (続)</p>	<p>(中期目標の内容) (2) 高度専門医療の提供 (再掲) 両病院で特に中心的役割を担う診療科については、さらに診療内容のレベルアップを図り、高度専門医療を提供できる体制を構築すること。 加えて、高度専門医療を担う医師、看護師及び医療技術者による調査、研究、治験や従事者の研修体制を整備し、新しい医療を積極的に取り入れること。また、医師、看護師及び医療技術者がそれぞれの専門性を高めつつ連携することで、新しいチーム医療を確立していくこと。</p>
--	---

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
評価の判断理由(実施状況等)	ウエイト	評価	ウエイト	評価	ウエイト	評価	評価の判断理由・委員会の意見など
<p>④ 周産母子領域 加古川西市民病院においては、ハイリスク妊婦の外来母体紹介及び救急母体搬送の増加に対応するため、新生児科とともに、地域周産期母子医療センターの機能の拡充を行います。特に、母体救命に必要な循環器内科、救急部、放射線科、脳神経外科、輸血部門との協力体制を整備します。また、胎児成長の管理、出生前診断に必要不可欠な胎児超音波検査を、臨床検査部門とともに実施し、機能の充実を図ります。更に、重い妊娠高血圧症や合併症などを有する母体と胎児の集中治療室(MFICU)を設置し、総合周産期母子医療センターの指定を指します。</p> <p>加古川東市民病院においては、小児科医や助産師などスタッフの支援の下に「安心して出産できる病院」をモットーに診療の充実を図っています。また、循環器内科を中心に内科が充実していることにより、心臓血管疾患の持病がある出産の支援ができるののも特徴です。</p> <p>今後は、新統合病院の総合周産期母子医療センターの指定に向けて、あらゆる診療科との連携を深めつつ、診療内容の充実を図ります。</p>	<p>④ 周産母子領域 ・新統合病院における「周産母子センター」の設置に向けた検討を進めます。</p> <p>【加古川西市民病院】 ・総合周産期母子医療センターの指定に向けた、新しい高度医療を積極的に取り入れ、新たなチーム医療の確立による高度専門医療の提供を図ります。</p> <p>【加古川東市民病院】 ・加古川西市民病院と連携しつつ、安心して出産ができる体制の維持・充実を図ります。</p>	<p>④ 周産母子領域 ・新統合病院における周産母子センターの設置を見据え、加古川西市民病院に周産母子センターを設置しました。 ・両病院間において、現段階での2病院体制における連携の強化を図りました。 ・両病院あわせて年間1,219件の分娩を実施しました。</p> <p>【加古川西市民病院】 ・東播磨地域及びその周辺地域における周産期医療の高度化に取り組むために「周産母子センター」を設置しました。 ・24時間365日の診療体制を維持し、分娩858件のうち帝王切開370件、多胎分娩49件、未熟児263件など、多くのハイリスク妊婦に対応しました。 ・小児科の新生児部門の専門医師とともに、母体のみならず新生児の高度医療を提供しました。 ・圏域唯一のNICUは、広域からの新生児の受入れも行い、年間を通じてほぼ100%の高い稼働となっています。</p> <p>【加古川東市民病院】 ・加古川西市民病院と連携しつつ、安心して出産ができる体制の維持・充実を図りました。 ・心臓血管疾患の持病がある出産に対応しました。 ・361件の分娩(うち帝王切開85件)を実施しました。</p>	<p>④ 周産母子領域 ・新統合病院における周産母子センターの設置を見据え、加古川西市民病院に周産母子センターを設置しました。 ・両病院間において、現段階での2病院体制における連携の強化を図りました。 ・両病院あわせて年間1,219件の分娩を実施しました。</p> <p>【加古川西市民病院】 ・東播磨地域及びその周辺地域における周産期医療の高度化に取り組むために「周産母子センター」を設置しました。 ・24時間365日の診療体制を維持し、分娩858件のうち帝王切開370件、多胎分娩49件、未熟児263件など、多くのハイリスク妊婦に対応しました。 ・小児科の新生児部門の専門医師とともに、母体のみならず新生児の高度医療を提供しました。 ・圏域唯一のNICUは、広域からの新生児の受入れも行い、年間を通じてほぼ100%の高い稼働となっています。</p> <p>【加古川東市民病院】 ・加古川西市民病院と連携しつつ、安心して出産ができる体制の維持・充実を図りました。 ・心臓血管疾患の持病がある出産に対応しました。 ・361件の分娩(うち帝王切開85件)を実施しました。</p>	<p>④ 周産母子領域 ・新統合病院における周産母子センターの設置を見据え、加古川西市民病院に周産母子センターを設置しました。 ・両病院間において、現段階での2病院体制における連携の強化を図りました。 ・両病院あわせて年間1,219件の分娩を実施しました。</p> <p>【加古川西市民病院】 ・東播磨地域及びその周辺地域における周産期医療の高度化に取り組むために「周産母子センター」を設置しました。 ・24時間365日の診療体制を維持し、分娩858件のうち帝王切開370件、多胎分娩49件、未熟児263件など、多くのハイリスク妊婦に対応しました。 ・小児科の新生児部門の専門医師とともに、母体のみならず新生児の高度医療を提供しました。 ・圏域唯一のNICUは、広域からの新生児の受入れも行い、年間を通じてほぼ100%の高い稼働となっています。</p> <p>【加古川東市民病院】 ・加古川西市民病院と連携しつつ、安心して出産ができる体制の維持・充実を図りました。 ・心臓血管疾患の持病がある出産に対応しました。 ・361件の分娩(うち帝王切開85件)を実施しました。</p>			

項目別の状況

(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	(中期目標の内容) (2) 高度専門医療の提供(再掲) 両病院で特に中心的役割を担う診療科については、さらに診療内容のレベルアップを図り、高度専門医療を提供できる体制を構築すること。 加えて、高度専門医療を担う医師、看護師及び医療技術者による調査、研究、治験や従事者の研修体制を整備し、新しい医療を積極的に取り入れること。また、医師、看護師及び医療技術者がそれぞれの専門性を高めつつ連携することで、新しいチーム医療を確立していくこと。
(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療	
(小項目) (2) 高度専門医療の提供(続)	

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価		
評価	評価理由	評価	評価理由	評価	評価理由	評価	評価理由	
⑤	<p>がん集学的治療領域</p> <p>がん治療においては、手術、放射線治療、化学療法などの治療法が多くは高齢者や生活している地域でそれまでが望まれます。このように、患者が生活し続けることが望まれます。このため、がん治療の充実を図ります。特に、内科、外科、放射線科の各診療科はもとより、緩和ケアチーム、麻酔科、整形外科、泌尿器科との緊密な連携をとります。特に、内科、外科、放射線科の各診療科はもとより、緩和ケアチーム、麻酔科、整形外科、泌尿器科との緊密な連携をとります。特に、内科、外科、放射線科の各診療科はもとより、緩和ケアチーム、麻酔科、整形外科、泌尿器科との緊密な連携をとります。</p>	<p>がん集学的治療領域</p> <p>両病院の協力の下、診断から治療、緩和ケアまで一貫した治療を提供できるよう、機能の充実を図ります。特に、内科、外科、放射線科の各診療科はもとより、緩和ケアチーム、麻酔科、整形外科、泌尿器科との緊密な連携をとります。特に、内科、外科、放射線科の各診療科はもとより、緩和ケアチーム、麻酔科、整形外科、泌尿器科との緊密な連携をとります。</p>	<p>がん集学的治療領域</p> <p>両病院の協力の下、診断から治療、緩和ケアまで一貫した治療を提供できるよう、機能の充実を図ります。特に、内科、外科、放射線科の各診療科はもとより、緩和ケアチーム、麻酔科、整形外科、泌尿器科との緊密な連携をとります。特に、内科、外科、放射線科の各診療科はもとより、緩和ケアチーム、麻酔科、整形外科、泌尿器科との緊密な連携をとります。</p>	<p>がん集学的治療領域</p> <p>両病院の協力の下、診断から治療、緩和ケアまで一貫した治療を提供できるよう、機能の充実を図ります。特に、内科、外科、放射線科の各診療科はもとより、緩和ケアチーム、麻酔科、整形外科、泌尿器科との緊密な連携をとります。特に、内科、外科、放射線科の各診療科はもとより、緩和ケアチーム、麻酔科、整形外科、泌尿器科との緊密な連携をとります。</p>	<p>がん集学的治療領域</p> <p>両病院の協力の下、診断から治療、緩和ケアまで一貫した治療を提供できるよう、機能の充実を図ります。特に、内科、外科、放射線科の各診療科はもとより、緩和ケアチーム、麻酔科、整形外科、泌尿器科との緊密な連携をとります。特に、内科、外科、放射線科の各診療科はもとより、緩和ケアチーム、麻酔科、整形外科、泌尿器科との緊密な連携をとります。</p>	<p>がん集学的治療領域</p> <p>両病院の協力の下、診断から治療、緩和ケアまで一貫した治療を提供できるよう、機能の充実を図ります。特に、内科、外科、放射線科の各診療科はもとより、緩和ケアチーム、麻酔科、整形外科、泌尿器科との緊密な連携をとります。特に、内科、外科、放射線科の各診療科はもとより、緩和ケアチーム、麻酔科、整形外科、泌尿器科との緊密な連携をとります。</p>	<p>がん集学的治療領域</p> <p>両病院の協力の下、診断から治療、緩和ケアまで一貫した治療を提供できるよう、機能の充実を図ります。特に、内科、外科、放射線科の各診療科はもとより、緩和ケアチーム、麻酔科、整形外科、泌尿器科との緊密な連携をとります。特に、内科、外科、放射線科の各診療科はもとより、緩和ケアチーム、麻酔科、整形外科、泌尿器科との緊密な連携をとります。</p>	<p>がん集学的治療領域</p> <p>両病院の協力の下、診断から治療、緩和ケアまで一貫した治療を提供できるよう、機能の充実を図ります。特に、内科、外科、放射線科の各診療科はもとより、緩和ケアチーム、麻酔科、整形外科、泌尿器科との緊密な連携をとります。特に、内科、外科、放射線科の各診療科はもとより、緩和ケアチーム、麻酔科、整形外科、泌尿器科との緊密な連携をとります。</p>

<p>項目別の状況</p> <p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療</p> <p>(小項目) (3) 救急医療への対応</p>		<p>(中期目標の内容) (3) 救急医療への対応 医師会や消防本部と定期的に意見交換や情報提供を行うとともに、地域の医療機関と連携しながら、積極的に2次救急患者を受け入れる体制を整備すること。</p>
---	--	---

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
評価の判断理由	評価	ウェイト	評価	ウェイト	評価	ウェイト	評価
<p>(3) 救急医療への対応 医師会、地域の医療機関や消防本部との定期的な意見交換、地域との連携を深めるとともに、消防本部に対しては、相互連携の提供を積極的に行うなど、2次救急患者が安全に受け入れられる医療体制を整備します。 また、救急救命士に対する救命トレーニングや医師によるサブポート体制の充実、症例検討会等の信頼関係の醸成を図り、地域における救急医療の質の向上と救命救急体制の強化に貢献します。</p>	4	①	4	①	4	①	4
<p>(3) 救急医療への対応 医師会との連携を強化します。 ・地域の医療機関や消防本部との定期的な意見交換と相互連携を深めます。 ・消防本部に対しては、両病院の連携の下、受け入れ可能情報の提供を積極的に行うなど、2次救急患者が安全に受け入れられる医療体制を整備します。 ・救急救命士に対する救命トレーニング、医師によるサブポート体制の充実や症例検討会等の信頼関係の醸成を図り、地域における救急医療の質の向上と救命救急体制の強化に貢献します。</p>	4	①	4	①	4	①	4
<p>評価の判断理由(実施状況等) (3) 救急医療への対応 ・地域連携会議を開催し、近隣医師会(105人出席)との情報交換を実施するなど、医師会との連携強化を図りました。 ・夜間急病センターとの連携を強化し、紹介患者を積極的に受け入れました。 ・救急救命士の育成のため、両病院において薬剤投与実習6人、気管挿管実習5人などの救急救命士の実習を受け入れました。 ・消防本部及び近隣消防署へ救急搬送者の状況を毎月報告し、情報共有を行いました。 ・ICLSチームが中心となつて救命措置講習会を開催し、心肺停止などの緊急事態に対して、医療従事者が迅速かつ的確に救命処置を行える能力の習得を図りました。 一次救命処置(BLS)講習会 加古川西市民病院10回 加古川東市民病院9回 二次救命処置(ICLS)コース 加古川西市民病院2回 加古川東市民病院2回 ・病院と救急隊との合同症例検討会は、加古川西市民病院では2ヶ月に1回、加古川東市民病院では毎月1回実施しました。 ・両病院とも、消防本部との間には救急患者の搬送、特定行為指導についてのホットラインを結んでおり、救急対応の充実を図っています。</p>	4	①	4	①	4	①	4
<p>評価委員会の意見などは、目標値に達していないもの、前年度を上回っており、現在の医師数を考慮すると評価できる。しかしながら、産科、小児科以外の救急患者、特に内科の救急患者の受け入れを積極的に行う必要があると考える。 ・加古川東市民病院の救急患者受入数については、救急目標を大幅に上回っており、また、加古川地域のCPA患者の5割を受け入れていることは、高く評価できる。 ・勉強会の開催など救命救急を支える人材の育成にも寄与しており、評価できる。</p>	4	①	4	①	4	①	4

項目別の状況

<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療 (小項目) (3) 救急医療への対応 (続)</p>	<p>(中期目標の内容) (3) 救急医療への対応 (再掲) 医師会や消防本部と定期的に意見交換や情報提供を行うとともに、地域の医療機関と連携しながら、積極的に2次救急患者を受け入れる体制を整備すること。</p>
---	--

中期計画	年度計画	市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価																																											
		評価の判断理由(実施状況等)	ウエト	評価	ウエト	評価																																									
<p>【加古川西市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に2次救急患者を受け入れる体制の構築に向けた検討を行います。</li> <li>救急救命士に対するトレーニングを強化します。</li> </ul>	<p>【加古川西市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に2次救急患者を受け入れる体制の構築に向けた検討を行います。</li> <li>救急救命士に対するトレーニングを強化します。</li> </ul>	<p>【加古川西市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急患者受入体制を整えることにより、救急車受入件数が471件増加しました。</li> <li>さらなる救急体制の整備に向け、救急担当医の招聘に努力し、平成24年4月から救急科を開設できることとなりました。</li> <li>ICLSやN CPRのコースを開催したほか、救急救命士の薬剤投与や気管挿管などの実習を受け入れました。</li> </ul>																																													
						<p>【加古川東市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に2次救急患者の受け入れを行います。</li> <li>CPA患者(心肺停止患者)の受け入れを強化します。</li> <li>救急救命士に対するトレーニングを引き続き実施します。</li> </ul>	<p>【加古川東市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>加古川東市民病院では循環器疾患の救急患者を受け入れる24時間365日の体制を維持・強化し、地域医療に貢献しました。</li> <li>院内ICLSチームが中心となり、救命処置に係る職員研修を実施し、心肺停止などの緊急事態に対して、医療従事者が迅速かつ的確に対応できる能力の習得を図りました。</li> </ul>																																								
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成21年度実績値</th> <th>平成27年度目標値</th> <th>平成21年度実績値</th> <th>平成27年度目標値</th> </tr> <tr> <td>救急患者受入数(人)</td> <td>1,108</td> <td>2,500</td> <td>1,891</td> <td>1,900</td> </tr> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成21年度実績値	平成27年度目標値	平成21年度実績値	平成27年度目標値	救急患者受入数(人)	1,108	2,500	1,891	1,900	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成21年度実績値</th> <th>平成23年度目標値</th> <th>平成21年度実績値</th> <th>平成23年度目標値</th> </tr> <tr> <td>救急患者受入数(人)</td> <td>1,108</td> <td>2,200</td> <td>1,891</td> <td>1,900</td> </tr> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成21年度実績値	平成23年度目標値	平成21年度実績値	平成23年度目標値	救急患者受入数(人)	1,108	2,200	1,891	1,900	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成23年度実績値</th> <th>平成23年度目標値</th> <th>平成23年度実績値</th> <th>平成23年度目標値</th> </tr> <tr> <td>救急患者受入数(人)</td> <td>2,200</td> <td>1,913</td> <td>1,900</td> <td>2,400</td> </tr> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成23年度実績値	平成23年度目標値	平成23年度実績値	平成23年度目標値	救急患者受入数(人)	2,200	1,913	1,900	2,400			
項目		加古川西市民病院		加古川東市民病院																																											
	平成21年度実績値	平成27年度目標値	平成21年度実績値	平成27年度目標値																																											
救急患者受入数(人)	1,108	2,500	1,891	1,900																																											
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																												
	平成21年度実績値	平成23年度目標値	平成21年度実績値	平成23年度目標値																																											
救急患者受入数(人)	1,108	2,200	1,891	1,900																																											
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																												
	平成23年度実績値	平成23年度目標値	平成23年度実績値	平成23年度目標値																																											
救急患者受入数(人)	2,200	1,913	1,900	2,400																																											

項目別の状況	
(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療 (小項目) (4) 予防医療の提供	(中期目標の内容) (4) 予防医療の提供 医療検査機器を活用し、人間ドックや健診をはじめとした予防医療の提供に努めること。

中期計画	年度計画	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
<p>(4) 予防医療の提供 予防医療に関する広報機能の充実を図ります。また、高度医療検査機器の積極的な活用や、受診しやすいメニュールの整備により、人間ドックや健診をはじめとした予防医療を提供します。</p> <p>【加古川西市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業所からの健康診断受け入れを強化します。</li> <li>・ 人間ドックの再開に向けた検討を進めます。</li> </ul> <p>【加古川東市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人間ドックの実施を強化します。</li> </ul>	<p>(4) 予防医療の提供 ・ 予防医療に関する広報機能の充実を図ります。 ・ 両病院連携の下、高度医療検査機器の積極的な活用や、受診しやすいメニュールの整備により、人間ドックや健診をはじめとした予防医療を提供します。</p> <p>【加古川西市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業所からの健康診断受け入れを強化します。</li> <li>・ 人間ドックの再開に向けた検討を進めます。</li> </ul> <p>【加古川東市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人間ドックの実施を強化します。</li> </ul>	<p>市民病院機構の自己評価</p> <p>評価の判断理由(実施状況等)</p> <p>(4) 予防医療の提供 ・ 両病院において市民公開講座を19回開催するとともに、外来患者向けの広報誌を27回発行し、市民の健康に対する意識の高揚に努めました。 ・ 加古川東市民病院においては人間ドックの受け入れを継続し、両病院とも一般検診の受け入れを実施しました。 【加古川西市民病院】 ・ 人間ドックの再開は検中ですが、内科医師数が余裕がなく、小規模な体制では経済性や継続性を見込みにくいことから再開に至っておりません。受診体制の整備が課題となっております。 ・ 一般健康診断や予防接種は、積極的に実施しました。(611件受入れ) ・ 特殊検診として、脳ドック73件、PET検診24件を実施しました。 ・ 乳がんの二次検診受け入れを行うための検討を進め、医師の招聘などの体制整備を図りました。</p> <p>【加古川東市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人間ドックの専任担当者を増員するとともに検査機器の健診を増やすなど、実施体制を強化し人間ドックの積極的な受け入れを行いました。(人間ドック受入れ1,154件、健康診断 789件)</li> <li>・ 特殊検診として、心臓大血管ドックを平成24年4月より実施するための準備を進めました。</li> </ul>	<p>評価委員会の評価</p> <p>評価の判断理由・委員会の意見など</p> <p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加古川西市民病院については、人間ドックの再開に先んじて、脳ドックやPET検診など高度医療機器を利用した特殊検診の拡充が必要である。</li> <li>・ 神戸市以西の地域では、一般市民が受けられる人間ドック実施施設が少ない状況であり、加古川西市民病院における人間ドックの再開が必要である。</li> <li>・ 加古川東市民病院では、特殊検診として平成24年度から実施する心臓大血管ドックのように、高度な人間ドックを実施しようとしており評価している。</li> <li>・ 予防医療の提供は、臨床以外における病院と市民の接点となることが期待できる。また、両病院の医師が生活習慣病について講演するなど、多くの市民が機構を身近に感じる機会を設け、市民に安心感を与える姿勢も大事ではないかと考える。</li> </ul>

項目別の状況

<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療 (小項目) (4) 予防医療の提供 (続)</p>	<p>(中期目標の内容) (4) 予防医療の提供 (再掲) 医療検査機器を活用し、人間ドックや健診をはじめとした予防医療の提供に努めること。</p>
--	--

中期計画		年度計画				市民病院機構の自己評価				評価委員会の評価																					
項目	加古川西市民病院 平成21年度 実績値	加古川東市民病院 平成21年度 実績値	加古川西市民病院 平成23年度 実績値	加古川東市民病院 平成23年度 実績値	加古川西市民病院 平成27年度 実績値	加古川東市民病院 平成27年度 実績値	加古川西市民病院 平成23年度 目標値	加古川東市民病院 平成23年度 目標値	加古川西市民病院 平成27年度 目標値	加古川東市民病院 平成27年度 目標値	ウエト	評価	ウエト	評価	評価の判断理由・委員会の意見など																
																加古川西市民病院 平成21年度 実績値	加古川東市民病院 平成21年度 実績値	加古川西市民病院 平成23年度 実績値	加古川東市民病院 平成23年度 実績値	加古川西市民病院 平成27年度 実績値	加古川東市民病院 平成27年度 実績値	加古川西市民病院 平成23年度 目標値	加古川東市民病院 平成23年度 目標値	加古川西市民病院 平成27年度 目標値	加古川東市民病院 平成27年度 目標値						
<p>項目 人間ドック受診者数 (人)</p> <p>900</p>	0	900	0	1,131	1,131	1,300																									
<p>項目 人間ドック受診者数 (人)</p> <p>1,131</p>	0	1,131	0	1,131	1,131	1,200																									
<p>市民病院機構の自己評価</p> <p>評価の判断理由 (実施状況等)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>加古川西市民病院</td> <td>加古川東市民病院</td> <td>加古川西市民病院</td> <td>加古川東市民病院</td> </tr> <tr> <td>平成23年度 実績値</td> <td>平成23年度 実績値</td> <td>平成23年度 実績値</td> <td>平成23年度 実績値</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,200</td> <td>1,154</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>目標値</td> <td>目標値</td> <td>目標値</td> </tr> </table> <p>・加古川東市民病院における人間ドック受診者数は、目標値には僅かに及びませんが、平成22年度比44件の増となっています。          ・加古川東市民病院では平成24年度から心臓大血管ドックを実施することを決定しています。</p>																加古川西市民病院	加古川東市民病院	加古川西市民病院	加古川東市民病院	平成23年度 実績値	平成23年度 実績値	平成23年度 実績値	平成23年度 実績値	0	0	1,200	1,154	目標値	目標値	目標値	目標値
加古川西市民病院	加古川東市民病院	加古川西市民病院	加古川東市民病院																												
平成23年度 実績値	平成23年度 実績値	平成23年度 実績値	平成23年度 実績値																												
0	0	1,200	1,154																												
目標値	目標値	目標値	目標値																												

項目別の状況	
(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	(中期目標の内容) (5) 災害医療への協力 災害発生時や重大な感染症の流行時などには、加古川市からの要請に基づき必要な医療を提供するとともに、災害対策などに協力すること。
(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療	
(小項目) (5) 災害医療への協力	

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント
3	(5) 災害医療への協力 ・ 災害発生時や重大な感染症の発生時及び流行時には、加古川市等の要請並びに災害拠点病院との連携の下、適切な医療が提供できるよう、患者の受け入れや医師をはじめとする医療従事者の派遣などを行います。 ・ 公的医療機関としての役割を果たすため、周産期医療や小児医療など、災害拠点病院における対応が困難な分野について、積極的に医療を提供します。 ・ 救急隊員、救急救命士の教育及び平常時の訓練や、両病院合同による災害訓練活動について、平成24年度以降の実施に向けた調整活動を行います。	3	(5) 災害医療への協力 ・ 平成23年度においては大きな災害の発生はありませんでしたが、東日本大震災の際には、加古川市市民病院内に災害対策本部を設置するとともに、被災者の受入体制を整えました。 ・ 周産期医療、小児医療及び心疾患の分野では、常時から救急患者の受入れを積極的に実施しており、災害時にも対応できる体制を維持しました。 ・ 加古川市の総合防災訓練に参加を予定（台風のため中止）するなど、加古川市や災害拠点病院（県立加古川医療センター）等との連携を深める取組を行いました。 ・ 両病院で防災訓練を行っているほか、緊急連絡網の整備などを含め、大規模災害時には機構に災害対策本部を設置して対応できる体制を整備しました。 ・ 大規模な感染症への対応については、医療圏域の協議会に参加し検討を進めました。 ・ 加古川市消防本部との連携を強化し、救急隊や救急救命士の教育、実習に協力していますが、災害訓練などについては、今後検討していきます。	3	市民病院機構の自己評価 評価の判断理由（実施状況等） (5) 災害医療への協力 ・ 平成23年度においては大きな災害の発生はありませんでしたが、東日本大震災の際には、加古川市市民病院内に災害対策本部を設置するとともに、被災者の受入体制を整えました。 ・ 周産期医療、小児医療及び心疾患の分野では、常時から救急患者の受入れを積極的に実施しており、災害時にも対応できる体制を維持しました。 ・ 加古川市の総合防災訓練に参加を予定（台風のため中止）するなど、加古川市や災害拠点病院（県立加古川医療センター）等との連携を深める取組を行いました。 ・ 両病院で防災訓練を行っているほか、緊急連絡網の整備などを含め、大規模災害時には機構に災害対策本部を設置して対応できる体制を整備しました。 ・ 大規模な感染症への対応については、医療圏域の協議会に参加し検討を進めました。 ・ 加古川市消防本部との連携を強化し、救急隊や救急救命士の教育、実習に協力していますが、災害訓練などについては、今後検討していきます。	3	評価委員会の評価 評価の判断理由・委員会の意見など ・ 小児、周産母子医療については、加古川市市民病院が担うことになるところから、県との連携を深めることを期待する。 ・ 昨年度、当該地域において大規模な災害が発生していないが、災害発生時は、地域の災害拠点病院である県立加古川医療センターの支援を適切に行い、市民が安心できる医療の提供を求め、日常的に多忙を極めるなか、災害時の対応が可能な懸念を感じる。



項目別の状況

(大項目)	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためのとるべき措置	(中期目標の内容) 3 地域医療機関との連携 地域の医療機関との役割分担を明確にするとともに、患者を中心とした保健、医療及び福祉機関との医療連携に努め、地域完結型医療を目指すこと。
(中項目)	3 地域医療機関との連携	
(小項目)		

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
評価の判断理由	評価	ウエイト	評価	ウエイト	評価	ウエイト	評価
3 地域医療機関との連携 2 次医療機関としての機能が十分に発揮でき、加古川市をはじめ東播磨地域での地域完結型医療を目指す。 ・診療所をはじめとした地域医療機関の理解を得て、開放病床登録医の協力を得ながら開放病床の運用を推進します。 ・地域の医療機関との連携体制の充実を図り、専門的医療の必要のある紹介患者や救急搬送患者の受け入れを積極的に進めます。 ・診療所などへ逆紹介を行います。また、地域連携機能などを拡大し、地域のあらゆる医療機関との連携機能の充実を図ります。後方連携に努めます。 ・患者を中心とした保健機関や老人保健施設など福祉機関との連携に努めます。	3 地域医療機関との連携 ・2 次医療機関としての機能が十分に発揮でき、加古川市をはじめ東播磨地域での地域完結型医療を目指す。 ・診療所をはじめとした地域医療機関の理解を得て、開放病床登録医の協力を得ながら開放病床の運用を推進します。 ・地域の医療機関との連携体制の充実を図り、専門的医療の必要のある紹介患者や救急搬送患者の受け入れを積極的に進めます。 ・診療所などへ逆紹介を行います。また、地域連携機能などを拡大し、地域のあらゆる医療機関との連携機能の充実を図ります。後方連携に努めます。 ・患者を中心とした保健機関や老人保健施設など福祉機関との連携に努めます。	①	3	①	3	①	3
評価の判断理由(実施状況等)	3 地域医療機関との連携 ・地域連携登録医の拡充を図りつつ、両病院と地域の医療機関との役割分担の明確化と連携強化に努めました。 ・地域連携室を中心に、医師、看護師及び医療技術職員などの協力のもとで患者と家族が安心して地域で療養生活を送れるよう院内の調整を行うとともに、地域の医療機関との紹介・逆紹介を積極的に進めました。 ・救急搬送患者については、加古川西市市民病院の小児・周産期、加古川西市市民病院の循環器疾患を中心に受入れを行い、救急車受入件数は両病院とも昨年度実績を上回りました。 ・紹介率及び逆紹介率は、高いレベルを維持していますが、加古川東市民病院においては地域医療支援病院の承認要件を上回ることでできませんでした。引き続き地域の医療機関との連携強化を進め、目標を達成できるよう努めます。 ・加古川西市市民病院では、「地域医療支援病院」として地域連携会議や症例検討会などの開催をとおして地域の医療機関相互の意見交換や情報共有を促進させました。 ・地域連携クリニックパスについて、加古川西市市民病院では脳卒中、加古川東市民病院において循環器系、両病院において大腿骨・頸部骨折に参加し、順調な運用をしています。 ・加古川西市市民病院においては、各種がんに関するパスの導入、加古川東市民病院においては従来からの循環器疾患に関するパスの充実に向けて検討しています。	3 地域医療機関との連携 ・脳卒中、大腿骨・頸部骨折の地域連携クリニックパスへの参加、また両病院の地域連携に参加する医療機関の増加は評価できる。 ・後送病院の確保・連携は非常に大事だと考える。 ・加古川東市民病院は、紹介率、逆紹介率ともに目標値を達成できなかったが、大変努力しており、24年度は目標の達成を期待する。 ・指標の実績値を累計するプロセスの中に、しっかりと計したチェック体制の構築を求める。 ・地域医療機関との連携に関し、紹介率と逆紹介率のバランスにも注力し、紹介率が進められることを期待する。 ・加古川西市市民病院において、診療所からの紹介患者が受け入れてもらえないケースがある。全ての紹介患者を受け入れられることを望む。					

項目別の状況

<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (中項目) 3 地域医療機関との連携 (続) (小項目)</p>	<p>(中期目標の内容) 3 地域医療機関との連携 (再掲) 地域の医療機関との役割分担を明確にするとともに、患者を中心とした保健、医療及び福祉機関との医療連携に努め、地域完結型医療を目指すこと。</p>
---	--

		中期計画						年度計画						市民病院機構の自己評価						評価委員会の評価																													
		加古川西市民病院		加古川東市民病院		加古川西市民病院		加古川東市民病院		加古川西市民病院		加古川東市民病院		加古川西市民病院		加古川東市民病院		ウエト	評価																														
項目		平成21年度 実績値	平成21年度 実績値	平成21年度 実績値	平成21年度 実績値	平成21年度 実績値	平成21年度 実績値	平成21年度 実績値	平成21年度 実績値	平成21年度 実績値	平成21年度 実績値	平成21年度 実績値	平成21年度 実績値	平成21年度 実績値	平成21年度 実績値	平成21年度 実績値	平成21年度 実績値	ウエト	評価																														
紹介率 (%)		61	61	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65																																
逆紹介率 (%)		37	37	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40																																
開放病床登録患者数 (人)		0	0	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20																																
項目		平成27年度 実績値	平成27年度 実績値	平成27年度 実績値	平成27年度 実績値	平成27年度 実績値	平成27年度 実績値	平成27年度 実績値	平成27年度 実績値	平成27年度 実績値	平成27年度 実績値	平成27年度 実績値	平成27年度 実績値	平成27年度 実績値	平成27年度 実績値	平成27年度 実績値	平成27年度 実績値	ウエト	評価																														
紹介率 (%)		61	61	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65																																
逆紹介率 (%)		37	37	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40																																
開放病床登録患者数 (人)		0	0	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30																																
項目		平成23年度 実績値	平成23年度 実績値	平成23年度 実績値	平成23年度 実績値	平成23年度 実績値	平成23年度 実績値	平成23年度 実績値	平成23年度 実績値	平成23年度 実績値	平成23年度 実績値	平成23年度 実績値	平成23年度 実績値	平成23年度 実績値	平成23年度 実績値	平成23年度 実績値	平成23年度 実績値	ウエト	評価																														
紹介率 (%)		65	65	71	71	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62																																
逆紹介率 (%)		40	40	56	56	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63																																
開放病床登録患者数 (人)		20	20	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25																																
<p>市民病院機構の自己評価</p> <p>評価の判断理由 (実施状況等)</p> <table border="1"> <tr> <td>項目</td> <td>加古川西市民病院</td> <td>加古川東市民病院</td> <td>加古川西市民病院</td> <td>加古川東市民病院</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>目標値</td> <td>目標値</td> <td>目標値</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>65</td> <td>71</td> <td>62</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>40</td> <td>56</td> <td>63</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (%)</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>・紹介率及び逆紹介率は、加古川西市民病院では目標値をクリアしましたが、加古川東市民病院では目標値を下回りました。</p> <p>・加古川東市民病院では、地域の医療機関の理解を得て、開放病床の登録医が想定以上に増加しました。</p> <p>・両病院とも開放病床登録医は確保しており、登録医に対して活用に向けたお願いをしています。開放病床の稼働実績はあまりありませんでした。</p> <p>・地域連携に参加いただく医療機関は加古川西市民病院では170機関、加古川東市民病院では160機関とそれぞれ増加しており、高度機器等の共同利用についても両病院とも前年度を上回る実績となっています。</p>																				項目	加古川西市民病院	加古川東市民病院	加古川西市民病院	加古川東市民病院	平成23年度	実績値	実績値	実績値	実績値	平成23年度	目標値	目標値	目標値	目標値	実績値	65	71	62	51	目標値	40	56	63	55	逆紹介率 (%)	20	25	25	130
項目	加古川西市民病院	加古川東市民病院	加古川西市民病院	加古川東市民病院																																													
平成23年度	実績値	実績値	実績値	実績値																																													
平成23年度	目標値	目標値	目標値	目標値																																													
実績値	65	71	62	51																																													
目標値	40	56	63	55																																													
逆紹介率 (%)	20	25	25	130																																													
<p>評価委員会の評価</p> <p>評価の判断理由・委員会の意見など</p>																																																	

項目別の状況

(大項目)

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

(中項目)

4 適正な医療機関の利用促進

(小項目)

(中期目標の内容)

4 適正な医療機関の利用促進  
地域医療の状況を住民に周知するとともに、医療機関の適正な利用の促進を図ること。

中期計画

4 適正な医療機関の利用促進  
地域医療の状況を住民に周知するとともに、地域の診療所をかかりつけ医とす受診の必要性に関する理解を住民に求めるなど、医療機関の適正な利用の促進を図ります。

項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院	
	平成27年度 実績値	平成27年度 目標値	平成27年度 実績値	平成27年度 目標値
初診患者に占める紹介状 持参割合 (%)	60	65	34	40

年度計画

4 適正な医療機関の利用促進  
・医療機関の適正な利用の促進を図るため、診療所と病院の役割分担の下、地域の診療所をかかりつけ医とす受診の必要性について、住民に理解を求める取り組みを実施します。  
・プライマリ・ケア患者が両病院を受診する際には、かかりつけ医の紹介状を受診するよう求める取り組みを実施します。  
・そのために、地域医療の状況を住民に周知する取り組みを実施します。

項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院	
	平成21年度 実績値	平成22年度 目標値	平成21年度 実績値	平成22年度 目標値
初診患者に占める紹介状 持参割合 (%)	60	65	34	35

市民病院機構の自己評価

評価の判断理由 (実施状況等)

4 適正な医療機関の利用促進  
・患者への役割に応じた医療機関の受診を促進するため、情報誌の発行や掲示により、地域の「かかりつけ医(診療所等)における主治医)」の受診を推奨し、紹介状の特診を呼びかけるなど、機能分化と病診連携の強化に努めました。  
・地域医療フォーラムなどにおいては、病院の実態を市民に理解してもらい、かかりつけ医と病院の連携に関する啓発を行いました。  
・医療機関の適正な利用を促進する観点から、初診時特定療養費の引き上げを検討し、平成24年5月から実施することとしました。  
《初診時特定療養費》  
750円 ⇒ 1,000円

項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院	
	平成23年度 実績値	平成23年度 目標値	平成23年度 実績値	平成23年度 目標値
初診患者に占める 紹介状持参割合 (%)	65	58	35	45

・加古川西市民病院では初診患者に占める紹介状持参率は58%と前年実績、目標値には届いておりませんが、高いレベルを維持しています。  
・加古川東市民病院では、紹介状持参率が順調に伸びています。  
・両病院内に地域診療所の紹介コーナーの設置準備を行うなど、引き続きかかりつけ医を紹介した診療体制の啓発活動を行います。

評価委員会の評価

ウエ1

3

ウエ2

3

評価の判断理由・委員会の意見など  
・紹介状を求めることにより風邪などの軽い症状で市民病院を受診する患者は減ってきていると思う。しかし、過去に受診歴のある患者に対しても、同様に取り扱いを行うことについては、検討が必要と考える。  
・紹介状の無い初診患者に、初診時特定療養費を求めることは適当だと考える。

項目別の状況	
(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	(中期目標の内容) 5 医療安全対策の徹底 患者及び地域住民に信頼される良質な医療を提供するため、院内感染防止対策を確実に実施するとともに、医療事故などに関する情報の収集及び分析に努め、医療安全対策を徹底すること。
(中項目) 5 医療安全対策の徹底	
(小項目)	

中期計画	年度計画	市民病院機構の自己評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
<p>5 医療安全対策の徹底</p> <p>医療に関する安全管理委員会を法人組織の中枢に位置付け、強いリーダーシップの下、より高い安全の追求と実現に取り組んでいきます。また、組織挙げの徹底を図るため、医療安全管理者を中心とした推進体制によって、感染対策、医療事故防止、褥(じょく)瘡(そう)予防、転倒転落防止など、安全対策を実施します。</p> <p>院内感染防止対策を確実に実施するため、感染対策チームの充実を図ります。</p> <p>医療安全、医療事故及び感染対策などに関する情報の収集及び分析に努めるとともに、各種活動の報告や進捗の管理を行いながら医療安全対策の徹底を図ります。</p> <p>医療安全等に係る委員会活動や研修等を通して、医療安全に関する高い意識を醸成します。</p>	<p>5 医療安全対策の徹底</p> <p>・医療に関する安全管理委員会を法人組織の中枢に位置付け、強いリーダーシップの下、より高い安全の追求と実現に取り組んでいきます。</p> <p>・医療安全、医療事故及び院内感染対策などに関する情報を収集し、分析、研究します。</p> <p>・組織挙げでの医療安全対策の徹底を図るため、感染対策、医療事故防止、褥(じょく)瘡(そう)予防、転倒転落防止など、安全対策を実施します。</p> <p>・そのため、院内感染対策チーム(ICIT)、医療安全スタッフの充実を図るとともに、院内感染及び医療安全について、専門スタッフの活動を推進します。</p> <p>・また、院内感染対策チーム、安全管理委員会の活動や両病院合同で開催する職員研修を通して、院内感染や医療安全についての高い意識を醸成します。</p>	<p>評価の判断理由(実施状況等)</p> <p>5 医療安全対策の徹底</p> <p>・両病院に設置した医療安全管理委員会を毎月開催し、医療安全の向上に努めました。</p> <p>・両病院に設置した医療安全推進室を中心に週に1度のカンファレンスでインシデントレポートの集積・分析と事例検討を行い、院内Webなどを活用し対策を院内に周知しました。</p> <p>・医療安全管理委員会及び部会を設置し、医療安全推進室が中心となつて、発生した事故事例の原因究明や再発防止策の検討を行いました。</p> <p>・検討内容や分析結果を随時、ポータルシステム等によって職員間の情報共有を図り、全職員の医療安全に対する意識向上と啓発活動に努めました。</p> <p>・日本医療機能評価機構などから送付される医療安全情報を医療安全推進室で分析、研究するとともに、院内Web等でスタッフに発信しました。</p> <p>・両院において、患者急変などを想定した医療安全訓練を実施し、緊急対応のシミュレーションを研究しました。</p>	<p>評価</p> <p>①</p> <p>3</p>	<p>評価</p> <p>①</p> <p>3</p>
		<p>【加古川西市民病院】</p> <p>レポート数 1,008件</p> <p>委員会開催 延 12回</p> <p>部会開催 延 6回</p> <p>医療安全ラウンド 4回</p>		
		<p>【加古川東市民病院】</p> <p>レポート数 857件</p> <p>委員会開催 延 12回</p> <p>部会開催 延 12回</p> <p>医療安全ラウンド 12回</p> <p>医療安全風土アンケート(24年3月実施)</p>		

項目別の状況

<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (中項目) 5 医療安全対策の徹底 (続) (小項目)</p>	<p>(中期目標の内容) 5 医療安全対策の徹底 (再掲) 患者及び地域住民に信頼される良質な医療を提供するため、院内感染防止対策を確実に実施するとともに、医療事故などに関する情報の収集及び分析に努め、医療安全対策を徹底すること。</p>
--	---

中期計画	年度計画	市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価		
		評価の判断理由 (実施状況等)	ウエイト	評価	ウエイト	評価
		<p>市民病院機構の自己評価</p> <p>評価の判断理由 (実施状況等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全に関するセミナーをテレビ会議で中継して共有したり、平成24年度からのヒヤリハット報告書式の統一を検討するなど、両病院間の連携を進めました。</li> <li>・院内感染対策については、診療部、看護部はもとより診療支援部及び感染制御チーム (加古川東市民病院においては平成24年4月の設置に向けて準備を進めました。) を設置し、組織横断的に予防・監視体制を強化しました。</li> <li>・感染環境フラウンドによる部門訪問を実施し、手洗い、防護具、導入した安全器材の使用状況などスタッフへの聞き取りと現場チェックによって、院内感染事例の把握と感染防止対策について指導を行いました。</li> <li>・加古川西市民病院においては、認定看護師の専門性を発揮させるため、院内感染対策専従として配置し、各部門での感染対策事業の展開、職員への啓発・教育活動を積極的に行いました。</li> <li>・平成24年度においては、認定看護師の活動を両病院に拡大し、さらなる感染管理の徹底を検討しています。</li> <li>・職員への教育研修活動として、両病院において医療安全管理研修 (延4回)、院内感染対策研修 (延5回) を開催しました。</li> </ul>				

項目別の状況

(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	(中期目標の内容) (1) 患者中心の医療の提供 「患者の権利とそれに伴う義務」をあわせ持った基本理念を掲げ、患者中心の医療を提供すること。また、ステータクホルダーである患者及び家族からの意見及び提言を尊重し、双方向的にコミュニケーションを図っていくこと。
(中項目) 6 患者サービスの向上	
(小項目) (1) 患者中心の医療の提供	

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
(1) 患者中心の医療の提供 医療は医療者と患者の共同行為であるという認識の下、全ての医療従事者が尊重すべき患者の「権利」を向上に努めるとともに、患者自身の医療への参加や医療従事者への協力などについても理解されるよう努めます。「義務」についても理解されよう努めます。患者及び家族からの意見及び提言を尊重し、主治医をはじめとした、医療従事者のチームと患者が双方向的なコミュニケーションを図り、同意と納得及び信頼関係に基づいた治療を行うことで患者中心の医療を提供します。	(1) 患者中心の医療の提供 ・「患者の権利と義務」について、法人職員、患者をはじめ地域住民への確実な普及に取り組みます。 ・患者満足度アンケートを定期的に実施するとともに、患者や家族の意見、提言に対する回答を、一定期間内に速やかに明示していく仕組みの整備に取り組みます。 ・セカンドオピニオンの実施体制を構築します。 ・医療メモデイエーター（患者アドボケート）機能の強化に取り組みます。	評価の判断理由（実施状況等） (1) 患者中心の医療の提供 ・「患者の権利と義務」についてホームページや両病院内に掲示を徹底しました。 ・新規採用職員にはオリエンテーション時に機構の基本理念や基本方針と併せて患者の権利と義務を周知するとともに、人権研修の受講を行いました。 ・患者満足度アンケート調査及び外来の待ち時間調査を加古川西市民病院では11月に、加古川東市民病院では3月に実施し、患者サービスの現状把握と改善を図りました。なお、調査結果を共有するため、院内の掲示板に掲示しました。 ・患者、家族の声を収集するため加古川西市民病院では「ふれあいポスト」を、加古川東市民病院では「ご意見箱」を病棟や外来に設置し、寄せられた意見や要望等への対応や検討した改善策を取りまとめ、総合案内掲示板に掲示し、来院者や職員が広く情報を共有できる体制をとりました。 ・セカンドオピニオンの実施体制を整え、受付方法などについてホームページ等で公表しました。 ・両病院における医療実績データをとりまとめ、ホームページに掲載するとともに、病院概要や病院誌(機構誌)としてまとめました。	評価 3	評価 3	評価の判断理由・委員会の意見など ・患者満足度アンケートの結果は、加古川東市民病院が目標に達していないが、両病院とも80%を超える患者満足度を得ており評価できる。 ・患者の満足度の中身は多種多様であるが、患者への接遇、待ち時間の改善(特に会計や乗の待ち時間)など重点項目を中心に、引き続き満足度の向上に取り組まれることを期待する。 ・「ふれあいポスト」、「ご意見箱」で寄せられた意見や要望にはできるだけ対応し、改善に取り組まれることを期待する。 ・患者満足度の向上のためには、女性医師、看護師をはじめ働く者の満足度を向上に繋がると考える。		

項目別の状況

<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (中項目) 6 患者サービスの向上 (小項目) (1) 患者中心の医療の提供 (続)</p>	<p>(中期目標の内容) (1) 患者中心の医療の提供 (再掲) 「患者の権利とそれに伴う義務」をあわせ持った基本理念を掲げ、患者中心の医療を提供すること。また、ステークホルダーである患者及び家族からの意見及び提言を尊重し、双方向的にコミュニケーションを図っていくこと。</p>
---	---

中期計画		年度計画				市民病院機構の自己評価				評価委員会の評価																
項目	患者満足度アンケート(%)	加古川西市民病院 平成21年度 実績値	加古川西市民病院 平成23年度 目標値	加古川東市民病院 平成21年度 実績値	加古川東市民病院 平成23年度 目標値	コメント	評価	コメント	評価	評価の判断理由・委員会の意見など																
<p>項目</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>加古川西市民病院 平成21年度 実績値</td> <td>85</td> <td>加古川東市民病院 平成21年度 実績値</td> <td>82</td> <td>加古川西市民病院 平成23年度 目標値</td> <td>70</td> <td>加古川東市民病院 平成23年度 実績値</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>患者満足度アンケート(%)</td> <td>85</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>80</td> </tr> </table>	加古川西市民病院 平成21年度 実績値	85	加古川東市民病院 平成21年度 実績値	82	加古川西市民病院 平成23年度 目標値	70	加古川東市民病院 平成23年度 実績値	85	患者満足度アンケート(%)	85						80	85	—	70	82	85					
加古川西市民病院 平成21年度 実績値	85	加古川東市民病院 平成21年度 実績値	82	加古川西市民病院 平成23年度 目標値	70	加古川東市民病院 平成23年度 実績値	85																			
患者満足度アンケート(%)	85						80																			
<p>・満足度アンケートの結果は、加古川西市民病院では目標値に達しましたが、加古川東市民病院においては目標値をやや下回りました。</p> <p>・アンケートに寄せられた意見は、委員会などで意見の内容を十分に分析のうえ改善し、さらなる患者満足度の向上に取り組みます。</p>																										

項目別の状況

<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (中項目) 6 患者サービスの向上 (小項目) (2) 患者満足度の向上</p>	<p>(中期目標の内容) 外来診療や検査などの待ち時間の改善に取り組むとともに、職員の接遇の向上を通じて、思いやりと気配りあふれる院内環境の実現に努めること。</p>
---	---

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価																																													
項目	評価	項目	評価	コメント	評価	コメント	評価																																												
<p>(2) 患者満足度の向上 予約制外来の運用の充実や術前検査センターの導入、拡充など、業務の改良を通じて、待ち時間の改善に取り組みます。 患者や来院者に接するに相応しいマナーについて常に研鑽を積むなど、接遇の向上に取り組み、心落ち着く院内環境の実現に努めます。また、診察室や病室では医療従事者が、患者や家族の立場に立って、病氣に対する不安を和らげていただけたらという努めます。</p>	3	<p>(2) 患者満足度の向上 予約制外来の運用の充実により、外来待ち時間を改善します。 窓口業務の見直しなどにより、待ち時間の改善に取り組みます。 接遇研修及び院内案内体制の充実を図ります。</p>	3	<p>評価の判断理由(実施状況等) (2) 患者満足度の向上 ・予約外来の促進などにより、外来の待ち時間の短縮に努める一方で、待ち時間の苦痛緩和を図るため、医師や医療従事者による「耳より話」の実施やテレビ中継、教育ビデオの放映を行いました。 ・外来の混雑する時間帯には、総合案内のスタッフを配置して院内案内体制の充実を図りました。 ・加古川東市民病院では待ち番号表示機の導入により、案内機能と待ち時間に対する患者サービスを向上させました。 ・病院内における接遇リーダーを養成しました。 ・看護部を中心に接遇研修を実施するとともに、新任職員には接遇、ビジネス・マナーをプログラムに取り入れて実施しました。</p>	3	<p>評価の判断理由・委員会の意見など ・両病院とも外来平均待ち時間が短縮できており、評価できる。 ・加古川東市民病院は、予約の無い初診患者の診療も行っており、待ち時間が長くなっていることも理解できる。 ・また、患者への接遇や待ち時間の表示など工夫している点も見られる。待ち時間については、患者に対して説明のうえ理解を求めるとも必要と考える。 ・待ち時間に対する患者満足度は、予約体制等の工夫により、改善できると考える。</p>																																													
<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>加古川西市民病院</th> <th>加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>40</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>40</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>外來平均待ち時間(分)</td> <td>40</td> <td>53</td> </tr> </table>	項目	加古川西市民病院	加古川東市民病院	平成21年度	40	35	実績値			目標値	40	80	外來平均待ち時間(分)	40	53		<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>加古川西市民病院</th> <th>加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>40</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>40</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>外來平均待ち時間(分)</td> <td>40</td> <td>80</td> </tr> </table>	項目	加古川西市民病院	加古川東市民病院	平成21年度	40	35	実績値			目標値	40	95	外來平均待ち時間(分)	40	80		<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>加古川西市民病院</th> <th>加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>40</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>40</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>外來平均待ち時間(分)</td> <td>40</td> <td>95</td> </tr> </table>	項目	加古川西市民病院	加古川東市民病院	平成21年度	40	35	実績値			目標値	40	60	外來平均待ち時間(分)	40	95		<p>・外来平均待ち時間の短縮に向けた取り組みにより、両院とも前年度実績を改善し、目標を達成しましたが、今後ともさらなる短縮を目指し努力します。</p>
項目	加古川西市民病院	加古川東市民病院																																																	
平成21年度	40	35																																																	
実績値																																																			
目標値	40	80																																																	
外來平均待ち時間(分)	40	53																																																	
項目	加古川西市民病院	加古川東市民病院																																																	
平成21年度	40	35																																																	
実績値																																																			
目標値	40	95																																																	
外來平均待ち時間(分)	40	80																																																	
項目	加古川西市民病院	加古川東市民病院																																																	
平成21年度	40	35																																																	
実績値																																																			
目標値	40	60																																																	
外來平均待ち時間(分)	40	95																																																	



項目別の状況	
(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (中項目) 6 患者サービスの向上 (小項目) (2) 患者満足度の向上 (続)	(中期目標の内容) (2) 患者満足度の向上 (再掲) 外来診療や検査などの待ち時間の改善に取り組みとともに、職員の接遇の向上を通じて、思いやりと気配りあふれる院内環境の実現に努めること。

中期計画	年度計画	市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価		
		評価の判断理由 (実施状況等)	ウエイト	評価	ウエイト	評価
	【加古川西市民病院】 ・患者サービスの向上、医療安全や病棟業務の負担軽減等のため、術前検査センターの平成24年度の導入を検討します。	【加古川西市民病院】 ・患者への分かりやすい説明や入院・手術や検査に係る病棟や外来スタッフの負担軽減を図るため、各プロセスの標準化や説明・相談体制の早期稼働に向けた検討を行い、平成24年度上半期から患者支援センターを開設する準備を進めました。				
	【加古川東市民病院】 ・患者サービスの向上、医療安全や病棟業務の負担軽減等のため、術前検査センターの拡充を行います。	【加古川東市民病院】 ・術前検査センター施設の拡充を行い、内科・外科の入院患者を対象に2,500人について対応しました。また、平成24年度から対象を拡充し産婦人科の患者にも対応できるよう準備を進めました。				

項目別の状況	
(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	(中項目) 6 患者サービスの向上
(小項目) (3) 快適性の向上	

(中期目標の内容)  
(3) 快適性の向上  
患者や来院者に、より快適な院内環境を提供するため、適切な施設管理や保全を図るとともに、患者のプライバシー保護に配慮した施設改良に努めること。

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
(3) 快適性の向上 患者や来院者に、より快適な院内環境となるよう、常に定期的なチェックを行うなど、適切な施設管理や施設環境の保全に努め、快適な医療環境の実現を図ります。 診察室や病室では、患者や家族の病状に関するプライバシーが守られるように配慮した施設改良に努めます。	(3) 快適性の向上 ・院内環境を定期的にチェックする体制を構築し、適切な施設管理や安全管理を図ります。 ・定期的なチェックによって明らかになった課題に速やかに対応するとともに、診察、病室での療養や退院調整、支払いや各種手続きに関する相談において、患者や家族のプライバシーが守られるよう配慮に取り組みます。	評価の判断理由(実施状況等) (3) 快適性の向上 ・定期的な院内ラウンドの実施により、医療安全及び感染防止対策、病棟環境をチェックし、随時必要な対応を講じることにより、安全で快適な療養環境の整備に努めました。 ・各種相談業務にあたっては、患者のプライバシーに配慮し、できる限り相談室などの個室においての対応を行いました。 ・患者の癒し効果の一環として、ボランテアによるロビーコンサートを開催しました。 ・来院者駐車場の混雑する時間帯には警備員の誘導を実施するなど、円滑に来院できる環境整備に努めました。	評価 3	コメント	評価 3	コメント	評価の判断理由・委員会の意見など ・現2病棟のハード面に対して大きな投資は難しいと思うが、採光や照明等の工夫により明るい環境づくりを期待する。 ・患者はもとより、医師等にとっても働きやすい環境づくりや満足度の向上に取り組むことが重要と考える。 ・予算等制約の範囲内で快適性の向上に対する改善を期待する。
		【加古川西市民病院】 ・サークルのボランテアの協力を得て、院内各所に絵画や写真の掲示を行い、待合患者の快適性を向上させました。 ・診察室の個室化を進め、患者のプライバシー保護を図りました。					
		【加古川東市民病院】 ・中待合いを撤去し、待合スペースの拡充とプライバシー保護を図りました。 ・患者のプライバシー保護に配慮するため、診察室からの患者呼出しを患者番号から電光掲示板と音声による受付番号の呼出しに変更しました。 ・術前検査センターを増設し、手術前で不安になりがちなお患者や家族がゆったりとした雰囲気です説明を聞ける環境を確保しました。					

項目別の状況	
(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	(中期目標の内容) 医療費のクレジットカードによる支払いなど、患者の利便性の向上に取り組むこと。
(中項目) 6 患者サービスの向上	
(小項目) (4) 患者の利便性の向上	

中期計画	年度計画	市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由(実施状況等)	コメント	評価	コメント
(4) 患者の利便性の向上 医療費の支払については、クレジットカードなどによる支払方法を導入します。 患者の利便性の向上のために寄せられる意見や苦情が患者サービスの改善につながる仕組みを導入します。	(4) 患者の利便性の向上 ・患者の意見、苦情を把握する仕組みを設け、患者サービスの改善を図ります。 ・午前退院、午後入院の実施、休日入院、休日退院の導入及び充実に取り組めます。	<p>評価の判断理由(実施状況等)</p> <p>(4) 患者の利便性の向上 ・患者からの意見や提言を収集し、病院運営や診療業務を改善するために病院内に「ふれあいポスト」、「ご意見箱」を設置し、寄せられた意見に対する対応状況や回答を院内に掲示することで職員にフィードバックし、院内が一体となってサービス向上に取り組めました。 ・各病院のホームページからも患者からの意見を受け付けており、寄せられた意見に対しては、速やかに回答しました。 ・入院退院の時間帯については、患者の希望に添えるよう努力するとともに、月曜日に手術や検査の予定のある患者については、日曜日の入院受入れを行っています。 ・外来が混雑する午前中を中心として、総合案内に専任のスタッフを置き、患者への案内業務を行いました。 ・老朽化した施設ながら、患者の利便性に配慮した模様替えなどを必要に応じて実施しました。</p> <p>【加古川西市民病院】 ・会計窓口等のわかりやすい案内に努めるとともに、クレジットカード支払いの導入に向けた検討を行いました。</p> <p>【加古川東市民病院】 ・会計の混雑緩和のため、自動精算機を配置しています。</p>	コメント	3	<p>評価委員会の評価</p> <p>評価の判断理由・委員会の意見などは、診察後の会計や薬の受取までの時間が短縮できるような工夫を期待する。 ・クレジットカードの導入については、手数料等のコストも踏まえた慎重な検討が必要である。</p>

項目別の状況	
(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためのとるべき措置	(中期目標の内容) (5) 法令及び行動規範の遵守 公的病院としての使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令を遵守することはもとより、個人情報保護や情報公開、内部通報に関する適切な対応を行うこと。また、公的機関としての行動規範及び倫理を確立させ、適正な病院運営に努めること。
(中項目) 6 患者サービスの向上	
(小項目) (5) 法令及び行動規範の遵守	

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
(5) 法令及び行動規範の遵守 公的病院の職員に相応しい「職員倫理」の醸成に努めるとともに、コンプライアンス委員会を設置し、法令遵守の徹底を図ります。更に、個人情報保護、情報公開、内部通報に適切に対応するための規程を整備し、定期的な自己評価等を行うつつ適切な運用を図ります。	(5) 法令及び行動規範の遵守 公的病院の職員に相応しい職員倫理の醸成に努めます。 ・個人情報保護、情報公開、内部通報に関する規程を整備し、職員及び患者への周知を図ります。 ・公的病院としての使命を果たすため、コンプライアンス委員会を設置し、法人内のコンプライアンス対策の立案や、定期的な自己評価を実施します。 ・コンプライアンス及び職員倫理に関する研修を実施します。	評価の判断理由(実施状況等) (5) 法令及び行動規範の遵守 ・機構の組織、人事給与、財務、文書、個人情報等の取扱いなどに関する規程を策定するとともに、必要に応じて要綱及び要領等を随時改正整備するなど、組織内のルールを明確にし、コンプライアンスの保持に努めました。 ・向病院に設置される倫理委員会(合計11回開催)において、臨床研究や先進医療について審査を行い、医療倫理意識の向上に努めました。 ・院内Webや掲示により、個人情報保護、情報公開、内部通報等の取扱いについて職員及び患者への周知を図りました。 ・コンプライアンス委員会の設置には至っておりませんが、法令や規程を遵守し、疑義のある場合は顧問弁護士に相談できる体制を整えました。 ・機構独自のコンプライアンス研修は実施できませんでしたが、加古川市の研修会に機構スタッフが参加しました。 ・加古川西市民病院では、外部からの不当要求に対応するため、安全安心バースを設置しており、必要に応じたアドバースを受けています。	評価 3	評価 3	評価 3	評価 3	評価の判断理由・委員会の意見など ・どのような法律を守らないといけないのか、誰が責任を持って対応するのか、またどのような対応を取るべきか、体系的なコンプライアンス体制の整備を期待する。

項目別の状況

(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとすべき措置	(中期目標の内容) (1) 医療従事者の役割分担及び連携 病院で働く職員にとり、やりがいが持てる職場づくりに努めること。また、本来業務に専念できるよ う、適切な役割分担及び連携を図るとともに、医療従事者の負担軽減に努めること。		
(中項目) 1 職員の業務遂行力の向上			
(小項目) (1) 医療従事者の役割分担及び連携			

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価																																					
<p>(1) 医療従事者の役割分担及び連携 医療従事者に、公的病院に求められる使命や成果を十分感じられる職場風土を醸成し、自らの専門性を最大限発揮することによって、やりがいが持てる職場を実現するよう努めます。</p> <p>医療従事者がチーム医療において専門技術を発揮できるよう、常に職務内容の改良的改善や創意工夫に努めるとともに、医療クラークや看護補助者の拡充などにより、医療従事者の負担軽減を図ります。</p>	<p>(1) 医療従事者の役割分担及び連携 一人ひとりの医療従事者がやりがいが持てる職場を実現し、自らの専門性を最大限発揮できるよう努めます。</p> <p>法人全体を挙げて、職務内容の改良的改善や創意工夫に努めます。</p> <p>医療従事者が診療に専念できる体制を整えるため、医療クラーク、看護補助者を充実させるとともに、医療に精通した事務職員を育成し医療従事者の負担軽減に努めます。</p> <p>ムリ、ムラ、ムダを取り除き、安全で効果的な医療を提供できるよう、小グループ単位でのTotal Quality Management活動の推進に取り組みます。この活動を通じて、職員の業務遂行力の向上を併せて図ります。</p> <p>また、優れた成果を挙げた取り組みについては、表彰制度の構築を図るとともに、広く外部に公表します。</p>	<p>評価の判断理由(実施状況等)</p> <p>(1) 医療従事者の役割分担及び連携 ・医療従事者の専門性を高めるため、専門資格の取得支援を行うとともに、やりがいを持った専門性を発揮するた め、カンファレンスを積極的に開催し、診療科間の連携を深めました。 ・機構をあげて業務改善に取り組み、特に加古川東市民病院では、「7S活動」を全院的に展開しており、職員の創意工夫による取組が進んでいます。また、QI委員会を立ち上げ、医療の質向上に向けて取り組みました。 ・医師等医療従事者の負担軽減を図るため、医療クラーク、ケアアシスタント等の増員を積極的に行うとともに、医局秘書を配置し、医療職の負担軽減を図りました。</p> <p>・TQMへの取組について、先進事例の視察を行い、当機構における導入に向けた研究を行いました。 ・機構総会において、業務改善や研究・開発など、機構への貢献があった職員に対する表彰を行いました。職員表彰制度は、職員のモチベーション向上のための取組として、今後も充実を図っていきます。</p>	<p>評価の判断理由・委員会の意見など</p> <p>・7S活動のうち、特に「指導」と「節約」は、病院運営において非常に有意義である。 ・医療クラーク、看護補助者数ともに目標値を達成し、年度計画を順調に実施していると評価できる。 ・病院の規模が大きくなると、様々な職種による連携が必要であり、職種別に孤立することなく相互連携を深めることが大事である。</p>																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成21年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成21年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療クラーク数(人)</td> <td>7</td> <td>14</td> <td>32</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>看護補助者数(人)</td> <td>14</td> <td>16</td> <td>30</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成21年度	平成23年度	平成21年度	平成23年度	医療クラーク数(人)	7	14	32	35	看護補助者数(人)	14	16	30	39	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成23年度</th> <th>実績値</th> <th>平成23年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療クラーク数(人)</td> <td>14</td> <td>32</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>看護補助者数(人)</td> <td>16</td> <td>30</td> <td>39</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成23年度	実績値	平成23年度	実績値	医療クラーク数(人)	14	32	35	35	看護補助者数(人)	16	30	39	36	<p>①</p>	<p>①</p>	<p>3</p>	<p>3</p>
項目		加古川西市民病院		加古川東市民病院																																							
	平成21年度	平成23年度	平成21年度	平成23年度																																							
医療クラーク数(人)	7	14	32	35																																							
看護補助者数(人)	14	16	30	39																																							
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																								
	平成23年度	実績値	平成23年度	実績値																																							
医療クラーク数(人)	14	32	35	35																																							
看護補助者数(人)	16	30	39	36																																							

項目別の状況	
<p>(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 1 職員の業務遂行力の向上</p> <p>(小項目) (2) 職員教育体制の充実</p>	<p>(中期目標の内容) (2) 職員教育体制の充実 地域の中核病院として高度専門医療を提供するため、あらゆる職員への教育、キャリアアップを支援することともに、その効果が職員自身にも組織内にも定着し、生かされようとする。また、専門的に支える医師、看護師及び医療技術者などの教育・育成に努めること。</p>

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
<p>(2) 職員教育体制の充実 初期医師臨床研修、後期専門臨床研修、後期専門臨床研修、後期専門臨床研修の体制構築を目的とする。また、あらゆる職員の教育、キャリアアップを一元的に支援するため、「教育支援センター」を設置する。また、「教育支援センター」には、専任職員を置き、医師、看護師、薬剤師、検査技師部門など全ての部門の指導者との調整の下、職員の教育・研修を積極的に支援する。</p> <p>① 教育支援の企画運営委員会を設け、教育支援方を調整する。</p> <p>② 外部のコーチングやコンサル等を利用する支援を行います。</p> <p>③ e-learning、文献検索等の支援を行います。</p> <p>④ 高度専門医療の実施研修のためのスキルラボを整備します。</p>	<p>年度計画</p> <p>(2) 職員教育体制の充実 ・初期医師臨床研修、後期専門臨床研修とともについて医師の高度専門臨床や研究の体制について検討します。 ・全ての職員のスキルアップを一元的に支援するため、「教育支援センター」を新設します。 ・「教育支援センター」に、スタッフを置き、全ての部門の指導者と調整の下、職員の教育・研修を実施します。また、大学医学部など医療機関とも密な連携を図ります。 ・「教育支援センター」は具体的な事業として以下の取り組みを実施します。 ① 共通の診療科は、一体となった診療や教育・研修の体制を構築します。 ② 教育支援方策を検討するため、企画運営委員会を設置し運営します。 ③ 外部のコーチングやコンサル等を利用する支援を行います。 ④ e-learningや文献検索等の整備を行います。</p>	<p>評価の判断理由(実施状況等)</p> <p>(2) 職員教育体制の充実 ・両院合わせて44の認定研修施設の指定を受け、指導医のもとに充実した臨床研修体制を導きました。 ・教育支援センターを組織として明確に位置づけ、理事長特命プロジェクトとして教育体制の整備に取り組みしました。引き続き、研修マスタープログラムの策定など機構一体となった研修制度の確立を目指して検討を行う予定です。 ・教育支援センターに専任スタッフを置くには至っていませんが、今後、センター機能の充実を図っていきます。 ・加古川東市民病院では、スキルラボを開設するため、平成23年6月に行った大学病院等の視察を通じて教育プログラム体制を整備するとともに、教育専任看護師配置に向けて教育支援センターの組織体制を整備しました。 ・教育や研修について機構が一体となつて取組を推進するため、看護部門の主任以上を対象に両病院合同研修会を実施し、課題解決能力の開発など職員の資質向上に努めました。 ・平成24年度には、看護師に加え、医療技術職員(主任)を対象を拡大した交流研修を計画しました。 ・平成23年度においては、企画運営委員会や外部のコーチングを利用する体制を整えるに至っていません。今後整備してまいります。</p>	<p>評価</p> <p>3</p>	<p>加付</p> <p>①</p>	<p>評価</p> <p>3</p>	<p>加付</p> <p>①</p>	<p>評価の判断理由・委員会の意見など</p> <p>・医師の臨床研修については、初期研修において各診療科の役職者が指導すれば、後期研修の参加にもつながり、結果として医師の増員につながると思われ、今後、指導体制の充実を期待する。 ・質の高い看護を目指すには研究によるエビデンスが必要であり、常にケアの分析・評価が必要である。そのため、組織的に研究ができる体制づくりを引き続き取り組むことを期待する。 ・看護実践能力について、最新のケアの方法を身につけた認定看護師をどのように活用するかが大きな鍵になる。 ・院内で看護の質を高めるために行う専門領域における勉強会のあり方については、医師や医療技術者等、専門領域の内容に応じて合同で開催することなどを必要がある。 ・医師、薬剤師等の研究成果や知的財産は、個人や機構といった所属先を越えて判断したうえで、地方独立行政法人化のメリットを生かし、対外的な権利関係を処理することを期待する。 ・患者にとつては職員が新人かベテランかは関係ない。患者から一定レベルの評価を受けるためには、職員に臨床経験と医学研究をバランスよく積ませることが必要で、特に新人職員に対しては患者に満足を与えるために教育が大事になることを強調し、職員教育に取り組まれたたい。</p>



項目別の状況	
(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとすべき措置 (中項目) 1 職員の業務遂行力の向上 (小項目) (2) 職員教育体制の充実(続)	(中期目標の内容) ア 臨床研修体制の充実 初期・後期臨床研修機能はもとより、特に中堅医師の高度専門臨床や研究のできる体制を構築すること。

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
ア 臨床研修体制の充実 「教育支援センター」において、臨床研修体制の充実を図ります。 ① 初期臨床研修医の研修を支援する体制を整備します。 ② 後期臨床研修医の専門的な研修、臨床研究を支援する体制を整備します。 ③ 専門医、認定医等の各種資格取得のための支援を行います。 ④ 中堅医師による指導医の取得支援など、専門性に応じた研修、臨床研究が実施できる支援制度を構築します。 ⑤ 臨床研究の成果について、学会への著書、論文執筆や論文発表などができている体制を充実します。また、知的所有権の取扱いに関し、検討を行います。	ア 臨床研修体制の充実 ・臨床研修体制を充実させるため、「臨床研修プログラム」を策定するとともに、以下の取り組みを推進します。 ① 初期臨床研修医の研修を支援する体制を整備します。 ② 後期臨床研修医の専門的な研修、臨床研究を支援する体制を整備します。 ③ 専門医、認定医等の各種資格の取得を支援します。 ④ 中堅医師による指導医の資格支援など、専門性に応じた研修、臨床研究が実施できる支援制度を検討します。 ⑤ 臨床研究の成果について、学会への著書、論文執筆や発表などができている体制を検討します。	ア 臨床研修体制の充実 ・平成23年度より研修医を対象とした臨床研修プログラムでは、内科研修(6ヶ月のうち2ヶ月)を互いの病院で行うこととしているほか、両病院が相互に協力病院となることで研修内容の充実を図ってきました。 ・研修医の研修支援として、スキルラボの充実を図るとともに、研修医についての学会参加支援の充実を検討し、平成24年度から適用することとしました。 ・各診療科において、独自の臨床研修プログラムを作成し、後期研修医を育成する体制を整えました。 ・臨床研究を推進し、専門資格の取得支援のため、学会発表・参加を推進しており、参考図書などを入手しやすいシステムを導入しました。 ・平成24年度から研究研修費を大幅に増額するとともに、資格取得者には手当を支給する給与制度を検討しました。	ア 臨床研修体制の充実 ・平成23年度より研修医を対象とした臨床研修プログラムでは、内科研修(6ヶ月のうち2ヶ月)を互いの病院で行うこととしているほか、両病院が相互に協力病院となることで研修内容の充実を図ってきました。 ・研修医の研修支援として、スキルラボの充実を図るとともに、研修医についての学会参加支援の充実を検討し、平成24年度から適用することとしました。 ・各診療科において、独自の臨床研修プログラムを作成し、後期研修医を育成する体制を整えました。 ・臨床研究を推進し、専門資格の取得支援のため、学会発表・参加を推進しており、参考図書などを入手しやすいシステムを導入しました。 ・平成24年度から研究研修費を大幅に増額するとともに、資格取得者には手当を支給する給与制度を検討しました。	ア 臨床研修体制の充実 ・平成23年度より研修医を対象とした臨床研修プログラムでは、内科研修(6ヶ月のうち2ヶ月)を互いの病院で行うこととしているほか、両病院が相互に協力病院となることで研修内容の充実を図ってきました。 ・研修医の研修支援として、スキルラボの充実を図るとともに、研修医についての学会参加支援の充実を検討し、平成24年度から適用することとしました。 ・各診療科において、独自の臨床研修プログラムを作成し、後期研修医を育成する体制を整えました。 ・臨床研究を推進し、専門資格の取得支援のため、学会発表・参加を推進しており、参考図書などを入手しやすいシステムを導入しました。 ・平成24年度から研究研修費を大幅に増額するとともに、資格取得者には手当を支給する給与制度を検討しました。	ア 臨床研修体制の充実 ・平成23年度より研修医を対象とした臨床研修プログラムでは、内科研修(6ヶ月のうち2ヶ月)を互いの病院で行うこととしているほか、両病院が相互に協力病院となることで研修内容の充実を図ってきました。 ・研修医の研修支援として、スキルラボの充実を図るとともに、研修医についての学会参加支援の充実を検討し、平成24年度から適用することとしました。 ・各診療科において、独自の臨床研修プログラムを作成し、後期研修医を育成する体制を整えました。 ・臨床研究を推進し、専門資格の取得支援のため、学会発表・参加を推進しており、参考図書などを入手しやすいシステムを導入しました。 ・平成24年度から研究研修費を大幅に増額するとともに、資格取得者には手当を支給する給与制度を検討しました。	ア 臨床研修体制の充実 ・平成23年度より研修医を対象とした臨床研修プログラムでは、内科研修(6ヶ月のうち2ヶ月)を互いの病院で行うこととしているほか、両病院が相互に協力病院となることで研修内容の充実を図ってきました。 ・研修医の研修支援として、スキルラボの充実を図るとともに、研修医についての学会参加支援の充実を検討し、平成24年度から適用することとしました。 ・各診療科において、独自の臨床研修プログラムを作成し、後期研修医を育成する体制を整えました。 ・臨床研究を推進し、専門資格の取得支援のため、学会発表・参加を推進しており、参考図書などを入手しやすいシステムを導入しました。 ・平成24年度から研究研修費を大幅に増額するとともに、資格取得者には手当を支給する給与制度を検討しました。	ア 臨床研修体制の充実 ・平成23年度より研修医を対象とした臨床研修プログラムでは、内科研修(6ヶ月のうち2ヶ月)を互いの病院で行うこととしているほか、両病院が相互に協力病院となることで研修内容の充実を図ってきました。 ・研修医の研修支援として、スキルラボの充実を図るとともに、研修医についての学会参加支援の充実を検討し、平成24年度から適用することとしました。 ・各診療科において、独自の臨床研修プログラムを作成し、後期研修医を育成する体制を整えました。 ・臨床研究を推進し、専門資格の取得支援のため、学会発表・参加を推進しており、参考図書などを入手しやすいシステムを導入しました。 ・平成24年度から研究研修費を大幅に増額するとともに、資格取得者には手当を支給する給与制度を検討しました。



項目別の状況	
(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとすべき措置	(中期目標の内容) イ 高度な看護師の育成 認定看護師、専門看護師などの資格取得を支援するとともに、新たに検討されている特定看護師などに対する支援方策についてあわせて検討すること。
(中項目) 1 職員の業務遂行力の向上	
(小項目) (2) 職員教育体制の充実(続)	

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
イ 高度な看護師の育成 看護部門においては、「教育支援センター」において、看護職員の業務遂行力の向上を目指して看護実践と看護サージャビスの機能充実を成し遂げる高度な人材の育成を図ります。 ① 教育・研修、研究の充実 学習した内容が効果的に成果を挙げ、医療、看護に反映されるよう運営していきます。院内外の教材や講師を活用しつつ、受講しやすい機会を十分に確保します。 ② 質の高い看護の担い手の育成 看護の質の評価を定期的に実施し、看護職員のレベルアップを行います。認定看護師、専門看護師、特定看護師などの看護師を育成するとともに、それぞれの専門資格を持った看護師が活動できる環境を整えます。更に、看護倫理や看護基準・手順の整備と実践の立ち返り、看護の可視化、患者満足度調査など、常に質向上の意識を持った看護師の育成を図ります。 ③ 患者参加型チーム医療の担い手の育成 患者参加型チーム医療の実践において看護師と院内各部門が連携及びコミュニケーションを深め、患者を取り巻く医療従事者全員が、患者の入院から退院までの情報交換を密に行い、他職種と協働しながら、きめ細かく患者のニーズに応えられる技術の取得を目指します。また、自由で関連な患者家族参加型のチーム医療を促進するため、チーム医療の調整役の育成や活動の支援を行います。	イ 高度な看護師の育成 ・看護職員の業務遂行力の向上を図るため、看護実践と看護サージャビス機能充実ができた看護人材の育成を図ります。 ・看護師研修プログラムを策定するとともに、以下の取り組みを推進します。 ① 「教育支援センター」において、看護師研修の強化を図ります。 ② 院内外の教材や講師を活用した、看護研修を実施します。 ③ 看護の質評価を定期的に実施しつつ看護の質向上に向けた環境を整えます。	イ 高度な看護師の育成 ・認定看護師の資格取得を促進するため、研修費用等の助成制度を充実させ、専門分野において熟練した看護師の育成を図りました。 ・在職する認定看護師(6人)の内訳 《感染管理 2人》 《がん化学療法 1人》 《皮膚・排泄ケア 1人》 《認定看護管理者 2人》 ・看護師の研修については、両病院内の研修カリキュラムに基づく看護研修はもちろんなること、看護協会が主催する認定看護管理者研修会等へも積極的に派遣しました。 ・看護師の教育研修については、主に両病院の看護部教育委員会の主導により実施しています。 ・両病院合同により、外部から指導者を招き、協門ごとに研究テーマを定め看護研究を行っており、各種学会での発表を行っています。 ・両病院とも、クリニカルラダー、ブリセプター制度を採用しており、目標管理をしながら看護の質的向上に努めました。 ・外部講師、認定看護師を講師として、看護の質を高めるための専門領域の勉強会を開催しました。	イ 高度な看護師の育成 ・認定看護師の資格取得を促進するため、研修費用等の助成制度を充実させ、専門分野において熟練した看護師の育成を図りました。 ・在職する認定看護師(6人)の内訳 《感染管理 2人》 《がん化学療法 1人》 《皮膚・排泄ケア 1人》 《認定看護管理者 2人》 ・看護師の研修については、両病院内の研修カリキュラムに基づく看護研修はもちろんなること、看護協会が主催する認定看護管理者研修会等へも積極的に派遣しました。 ・看護師の教育研修については、主に両病院の看護部教育委員会の主導により実施しています。 ・両病院合同により、外部から指導者を招き、協門ごとに研究テーマを定め看護研究を行っており、各種学会での発表を行っています。 ・両病院とも、クリニカルラダー、ブリセプター制度を採用しており、目標管理をしながら看護の質的向上に努めました。 ・外部講師、認定看護師を講師として、看護の質を高めるための専門領域の勉強会を開催しました。	イ 高度な看護師の育成 ・認定看護師の資格取得を促進するため、研修費用等の助成制度を充実させ、専門分野において熟練した看護師の育成を図りました。 ・在職する認定看護師(6人)の内訳 《感染管理 2人》 《がん化学療法 1人》 《皮膚・排泄ケア 1人》 《認定看護管理者 2人》 ・看護師の研修については、両病院内の研修カリキュラムに基づく看護研修はもちろんなること、看護協会が主催する認定看護管理者研修会等へも積極的に派遣しました。 ・看護師の教育研修については、主に両病院の看護部教育委員会の主導により実施しています。 ・両病院合同により、外部から指導者を招き、協門ごとに研究テーマを定め看護研究を行っており、各種学会での発表を行っています。 ・両病院とも、クリニカルラダー、ブリセプター制度を採用しており、目標管理をしながら看護の質的向上に努めました。 ・外部講師、認定看護師を講師として、看護の質を高めるための専門領域の勉強会を開催しました。	イ 高度な看護師の育成 ・認定看護師の資格取得を促進するため、研修費用等の助成制度を充実させ、専門分野において熟練した看護師の育成を図りました。 ・在職する認定看護師(6人)の内訳 《感染管理 2人》 《がん化学療法 1人》 《皮膚・排泄ケア 1人》 《認定看護管理者 2人》 ・看護師の研修については、両病院内の研修カリキュラムに基づく看護研修はもちろんなること、看護協会が主催する認定看護管理者研修会等へも積極的に派遣しました。 ・看護師の教育研修については、主に両病院の看護部教育委員会の主導により実施しています。 ・両病院合同により、外部から指導者を招き、協門ごとに研究テーマを定め看護研究を行っており、各種学会での発表を行っています。 ・両病院とも、クリニカルラダー、ブリセプター制度を採用しており、目標管理をしながら看護の質的向上に努めました。 ・外部講師、認定看護師を講師として、看護の質を高めるための専門領域の勉強会を開催しました。	イ 高度な看護師の育成 ・認定看護師の資格取得を促進するため、研修費用等の助成制度を充実させ、専門分野において熟練した看護師の育成を図りました。 ・在職する認定看護師(6人)の内訳 《感染管理 2人》 《がん化学療法 1人》 《皮膚・排泄ケア 1人》 《認定看護管理者 2人》 ・看護師の研修については、両病院内の研修カリキュラムに基づく看護研修はもちろんなること、看護協会が主催する認定看護管理者研修会等へも積極的に派遣しました。 ・看護師の教育研修については、主に両病院の看護部教育委員会の主導により実施しています。 ・両病院合同により、外部から指導者を招き、協門ごとに研究テーマを定め看護研究を行っており、各種学会での発表を行っています。 ・両病院とも、クリニカルラダー、ブリセプター制度を採用しており、目標管理をしながら看護の質的向上に努めました。 ・外部講師、認定看護師を講師として、看護の質を高めるための専門領域の勉強会を開催しました。	イ 高度な看護師の育成 ・認定看護師の資格取得を促進するため、研修費用等の助成制度を充実させ、専門分野において熟練した看護師の育成を図りました。 ・在職する認定看護師(6人)の内訳 《感染管理 2人》 《がん化学療法 1人》 《皮膚・排泄ケア 1人》 《認定看護管理者 2人》 ・看護師の研修については、両病院内の研修カリキュラムに基づく看護研修はもちろんなること、看護協会が主催する認定看護管理者研修会等へも積極的に派遣しました。 ・看護師の教育研修については、主に両病院の看護部教育委員会の主導により実施しています。 ・両病院合同により、外部から指導者を招き、協門ごとに研究テーマを定め看護研究を行っており、各種学会での発表を行っています。 ・両病院とも、クリニカルラダー、ブリセプター制度を採用しており、目標管理をしながら看護の質的向上に努めました。 ・外部講師、認定看護師を講師として、看護の質を高めるための専門領域の勉強会を開催しました。

項目別の状況

<p>(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとすべき措置 (中項目) 1 職員の業務遂行力の向上 (小項目) (2) 職員教育体制の充実(続)</p>	<p>(中期目標の内容) イ 高度な看護師の育成(再掲) 認定看護師、専門看護師などの資格取得を支援するとともに、新たに検討されている特定看護師などに対する支援方策についてもあわせて検討すること。</p>
--	--

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価																																																												
項目	実績値	目標値	実績値	目標値	評価	評価	評価の判断理由・委員会の意見など																																																											
<p>④ 地域連携の担い手の育成 地域の医療機関との調整役としての地域連携担当の看護師を育成します。前方支援としてのベッドコントロールにおいては、適切に入院を受け、効率よくベッドを使う役割を担います。後方支援においては、メデイカルソーシャルワーカーと連携しつつ、入院早期からの関わりを通じて病状にあった病院、施設又は在宅への退院支援体制を整えます。</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>平成27年度</td> <td>平成21年度</td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>目標値</td> <td>実績値</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td colspan="4">認定看護師数(人)</td> </tr> </table>	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成21年度	平成27年度	平成21年度	平成27年度	実績値	目標値	実績値	目標値	2	8	1	5	認定看護師数(人)				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成21年度</td> <td>平成23年度</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>目標値</td> <td>実績値</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="4">認定看護師数(人)</td> </tr> </table>	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成21年度	平成23年度	平成21年度	平成23年度	実績値	目標値	実績値	目標値	2	4	1	1	認定看護師数(人)				<p>各認定看護師の取得を支援します(救急看護/皮膚・排泄ケア/集中ケア/緩和ケア/がん化学療法看護/がん性疼痛看護/訪問看護/感染管理/糖尿病看護/不妊症看護/新生児集中ケア)。また、専門資格を持つ看護師が活躍できる環境を整備します。</p> <p>⑤ 特定看護師に対する支援方策について検討します。</p> <p>⑥ チーム医療の調整役としての看護師を育成します。</p> <p>⑦ 地域連携の担当看護師を育成するとともに、メデイカルソーシャルワーカーとの連携を図ります。</p> <p>⑧ 前方支援、後方支援の円滑な調整ができる看護師の育成に努めます。</p>	<p>評価の判断理由(実施状況等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認定看護師の資格取得希望者を募集したところ、平成23年度は両病院で5人の応募があり、うち4人を養成機関へ派遣しました。</li> <li>緩和ケア1人、新生児集中ケア1人、認定看護師管理(サードスタッフ)2人</li> <li>特定看護師の導入に向けての検討は、看護師不足の現状から平成24年度以降へ見送ることとしました。</li> <li>地域連携室には、MSWとともに専任の看護師を配置しており、日常的な連携のもとに活動しています。</li> <li>様々な連携会議等に積極的に参加し、地域の医療機関との円滑な連携をより強化しました。</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成23年度</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>目標値</td> <td>実績値</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td colspan="4">認定看護師数(人)</td> </tr> </table>	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	実績値	目標値	実績値	目標値	4	4	1	2	認定看護師数(人)				<ul style="list-style-type: none"> <li>加古川西市民病院において感染管理、がん化学療法の分野で新たに2人が資格を取得しました。</li> <li>加古川東市民病院では、認定看護師の資格を持った看護師が退職しましたが、2人が認定看護師管理者の資格を取得しました。</li> </ul>
加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																																
平成21年度	平成27年度	平成21年度	平成27年度																																																															
実績値	目標値	実績値	目標値																																																															
2	8	1	5																																																															
認定看護師数(人)																																																																		
加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																																
平成21年度	平成23年度	平成21年度	平成23年度																																																															
実績値	目標値	実績値	目標値																																																															
2	4	1	1																																																															
認定看護師数(人)																																																																		
加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																																
平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度																																																															
実績値	目標値	実績値	目標値																																																															
4	4	1	2																																																															
認定看護師数(人)																																																																		

項目別の状況	
(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとすべき措置	(中期目標の内容) ウ 高度専門医療を担う医療技術者の育成 薬剤師、検査技師など医療技術者部門において、それぞれの分野における認定資格などの取得を支援し、専門性の確保に努めること。
(中項目) 1 職員の業務遂行力の向上	
(小項目) (2) 職員教育体制の充実(続)	

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
ウ 高度専門医療を担う医療技術者の育成 薬剤師、検査技師など医療技術者部門においては、「教育支援センター」において育成プログラムを開発して認定資格などの取得や研修受講を支援し、より高度で専門性の高い医療技術者を育成します。 ① 重点分野である「がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、救急医療及び周産期・小児医療」に対応するため、特に職員の高度な専門性を確保します。 ② 重点分野を中心に、病院の提供する医療や方針に沿った専門職及び資格取得支援の研修計画を立案するとともに、資格希望者を公募します。 ③ 各専門学会の認定制度など各種資格取得に必要な費用負担を支援します。 ④ 資格所持者は、当該分野におけるリーダー役としての指導、相談業務を行うことで、医療技術者の専門性を向上させます。 ⑤ 資格取得後は資格維持やレベリングのための研修参加援助を行い、更なるキャリアアップを支援します。	ウ 高度専門医療を担う医療技術者の育成 ・ 認定資格などの取得や研修受講を支援し、より高度で専門性の高い医療技術者を育成します。 ・ 医療技術者に対する研修を充実させるため、「コメディカル研修プログラム」を策定するとともに、以下の取り組みを推進します。 ① 「教育支援センター」において、医療技術者の研修を強化します。 ② 重点分野である「がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、救急医療及び周産期・小児医療」に対応するため、職員の高度な専門性を育成します。 ③ 「教育支援センター」において、各医療技術者の資格取得者を公募するとともに、支援を行います。 ④ 医療技術者が各専門学会における発表や参加を通じて、自らのスキルを切磋琢磨することを奨励します。 ⑤ 医療技術部門のそれぞれの職種において両病院共通の研修教育の場を通じて、お互いのより工夫されたところやよいところを吸収し合い、より働きたいのある職場づくりを行います。	ウ 育成 ・ 教育支援の一環として、専門資格の取得支援を積極的に進めており、医療技術職員が専門性をさらに高められるよう、学会発表・参加を推奨しており、平成24年度から研究研修費を大幅に増額することとしました。 ・ 重点分野である医療の学会参加などを奨励するとともに、各種研究機関から送付される研修会の案内等をそれぞれの所管に回付し、参加意欲の促進に努めました。 ・ 両病院における研究発表会において、多くの医療技術職員が研究発表を行いました。 ・ 両病院の医療技術部門間の職場交流やテレビ会議において、それぞれの業務活動の報告や意見交換を行いました。これにより、お互いの長所を日常の業務に取り入れられるとともに、業務改善につながる活動を行いました。	ウ 評価 評価の判断理由・委員会の意見など	ウ 評価 評価の判断理由・委員会の意見など	ウ 評価 評価の判断理由・委員会の意見など	ウ 評価 評価の判断理由・委員会の意見など	

項目別の状況	
(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためのとるべき措置	(中期目標の内容) 工 事務職員の育成 医療保険制度や診療報酬制度など病院特有の医事、経理及び財務などに精通する事務職員を育成すること。あわせて、法人の経営企画、経営戦略を担う人材の育成も図ること。
(中項目) 1 職員の業務遂行力の向上	
(小項目) (2) 職員教育体制の充実(続)	

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
<p>工 事務職員の育成</p> <p>事務職員については、計画的に職員の確保を進めつつ、DPC、医療情報、病院マネジメントなどの研修会への参加などを通じ、医療保険制度や診療報酬制度など経営分析能力に精通し、コミュニケーション能力の高い事務職員や経営企画、経営戦略を担う事務職員を育成します。</p> <p>① 各種診療データを管理し、活用できる専門技術を持った診療情報管理士を育成します。</p> <p>② 診療情報やDPCデータを使い、医療の質や診療プロセス、医療機能、診療コスト等を分析、評価、ベロセマキキングを行い、理事会等への経営戦略を検討、提言する経営企画業務を実施できる人材を育成します。</p> <p>③ 地域における医療機関や介護機関との情報交換などを積極的に行い、地域医療の状況に精通した人材を育成します。</p> <p>④ 全体最適な病院情報システムの観点から医療情報システムへの企画、開発並びに運用ができる体制を確立するため、診療現場と医療情報技術に精通した医療情報技師を育成します。</p>	<p>工 事務職員の育成</p> <p>・ 事務職員については、計画的な職員確保に向け、採用計画等を策定します。</p> <p>・ DPC、医療情報、病院マネジメントなどの研修会への派遣などを通じ、医療保険制度や診療報酬制度など経営分析能力に精通し、コミュニケーション能力の高い職員を育成します。</p> <p>・ 事務職員に対しても、医療に携わる職員と同様に研修を充実させるため、「事務職員研修プログラム」を策定するとともに、以下の取り組みを推進します。</p> <p>① 各種診療データを管理し、活用できる専門技術を持つ診療情報管理士を計画的に育成します。</p> <p>② 地域医療機関・介護施設との連携や情報交換を進められる職員を計画的に育成します。</p> <p>③ 経営企画、経営戦略的な観点から医事企画を推進できる職員を育成します。</p> <p>④ 電子カルテシステムや加古川市市民病院への導入及び加古川市市民病院の更新を検討するため、医療情報システムへの企画、開発、運用を円滑に推進できる医療情報技師を育成します。</p>	<p>工 事務職員の育成</p> <p>・ 将来を担う事務職員の計画的採用を行い、事務部門を強化する取組として、平成23年度の採用試験では1人の診療情報管理士を含む4人を採用しました。</p> <p>・ 平成24年4月の診療報酬改定への適格な対応に向け、医事職職員を中心として研修会へ派遣するとともに、院内における勉強会を開催しました。</p> <p>・ 定年を迎えた経験豊富な職員の再雇用や高度な専門性を有する外部の人材の登用など即戦力となる多様な専門職の活用について、平成24年度から導入できるように検討を進めました。</p> <p>・ 地域連携連絡会などへ積極的に参加し、医療機関や介護施設との情報交換や交流を図りました。</p> <p>・ 専門的知識習得のため、資格取得へ向けた院内勉強会を実施しました。</p> <p>・ 平成24年度からの事務職員の研修プログラムについて検討しました。</p> <p>・ 日本医療情報学会の認定する医療情報技師が8人在籍しており、電子カルテシステム導入をはじめとしたICTの活用に努めています。</p>	<p>工 事務職員の育成</p> <p>・ 将来を担う事務職員の計画的採用を行い、事務部門を強化する取組として、平成23年度の採用試験では1人の診療情報管理士を含む4人を採用しました。</p> <p>・ 平成24年4月の診療報酬改定への適格な対応に向け、医事職職員を中心として研修会へ派遣するとともに、院内における勉強会を開催しました。</p> <p>・ 定年を迎えた経験豊富な職員の再雇用や高度な専門性を有する外部の人材の登用など即戦力となる多様な専門職の活用について、平成24年度から導入できるように検討を進めました。</p> <p>・ 地域連携連絡会などへ積極的に参加し、医療機関や介護施設との情報交換や交流を図りました。</p> <p>・ 専門的知識習得のため、資格取得へ向けた院内勉強会を実施しました。</p> <p>・ 平成24年度からの事務職員の研修プログラムについて検討しました。</p> <p>・ 日本医療情報学会の認定する医療情報技師が8人在籍しており、電子カルテシステム導入をはじめとしたICTの活用に努めています。</p>	<p>工 事務職員の育成</p> <p>・ 将来を担う事務職員の計画的採用を行い、事務部門を強化する取組として、平成23年度の採用試験では1人の診療情報管理士を含む4人を採用しました。</p> <p>・ 平成24年4月の診療報酬改定への適格な対応に向け、医事職職員を中心として研修会へ派遣するとともに、院内における勉強会を開催しました。</p> <p>・ 定年を迎えた経験豊富な職員の再雇用や高度な専門性を有する外部の人材の登用など即戦力となる多様な専門職の活用について、平成24年度から導入できるように検討を進めました。</p> <p>・ 地域連携連絡会などへ積極的に参加し、医療機関や介護施設との情報交換や交流を図りました。</p> <p>・ 専門的知識習得のため、資格取得へ向けた院内勉強会を実施しました。</p> <p>・ 平成24年度からの事務職員の研修プログラムについて検討しました。</p> <p>・ 日本医療情報学会の認定する医療情報技師が8人在籍しており、電子カルテシステム導入をはじめとしたICTの活用に努めています。</p>	<p>工 事務職員の育成</p> <p>・ 将来を担う事務職員の計画的採用を行い、事務部門を強化する取組として、平成23年度の採用試験では1人の診療情報管理士を含む4人を採用しました。</p> <p>・ 平成24年4月の診療報酬改定への適格な対応に向け、医事職職員を中心として研修会へ派遣するとともに、院内における勉強会を開催しました。</p> <p>・ 定年を迎えた経験豊富な職員の再雇用や高度な専門性を有する外部の人材の登用など即戦力となる多様な専門職の活用について、平成24年度から導入できるように検討を進めました。</p> <p>・ 地域連携連絡会などへ積極的に参加し、医療機関や介護施設との情報交換や交流を図りました。</p> <p>・ 専門的知識習得のため、資格取得へ向けた院内勉強会を実施しました。</p> <p>・ 平成24年度からの事務職員の研修プログラムについて検討しました。</p> <p>・ 日本医療情報学会の認定する医療情報技師が8人在籍しており、電子カルテシステム導入をはじめとしたICTの活用に努めています。</p>	<p>工 事務職員の育成</p> <p>・ 将来を担う事務職員の計画的採用を行い、事務部門を強化する取組として、平成23年度の採用試験では1人の診療情報管理士を含む4人を採用しました。</p> <p>・ 平成24年4月の診療報酬改定への適格な対応に向け、医事職職員を中心として研修会へ派遣するとともに、院内における勉強会を開催しました。</p> <p>・ 定年を迎えた経験豊富な職員の再雇用や高度な専門性を有する外部の人材の登用など即戦力となる多様な専門職の活用について、平成24年度から導入できるように検討を進めました。</p> <p>・ 地域連携連絡会などへ積極的に参加し、医療機関や介護施設との情報交換や交流を図りました。</p> <p>・ 専門的知識習得のため、資格取得へ向けた院内勉強会を実施しました。</p> <p>・ 平成24年度からの事務職員の研修プログラムについて検討しました。</p> <p>・ 日本医療情報学会の認定する医療情報技師が8人在籍しており、電子カルテシステム導入をはじめとしたICTの活用に努めています。</p>	<p>工 事務職員の育成</p> <p>・ 将来を担う事務職員の計画的採用を行い、事務部門を強化する取組として、平成23年度の採用試験では1人の診療情報管理士を含む4人を採用しました。</p> <p>・ 平成24年4月の診療報酬改定への適格な対応に向け、医事職職員を中心として研修会へ派遣するとともに、院内における勉強会を開催しました。</p> <p>・ 定年を迎えた経験豊富な職員の再雇用や高度な専門性を有する外部の人材の登用など即戦力となる多様な専門職の活用について、平成24年度から導入できるように検討を進めました。</p> <p>・ 地域連携連絡会などへ積極的に参加し、医療機関や介護施設との情報交換や交流を図りました。</p> <p>・ 専門的知識習得のため、資格取得へ向けた院内勉強会を実施しました。</p> <p>・ 平成24年度からの事務職員の研修プログラムについて検討しました。</p> <p>・ 日本医療情報学会の認定する医療情報技師が8人在籍しており、電子カルテシステム導入をはじめとしたICTの活用に努めています。</p>

項目別の状況	
(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとすべき措置 (中項目) 1 職員の業務遂行力の向上 (小項目) (2) 職員教育体制の充実(続)	(中期目標の内容) 才 派遣職員などの能力向上 派遣・臨時雇用職員や委託事業者の従業員も病院を運営するパートナーと考え、ともに能力向上に努めること。

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント
才	派遣職員などの能力向上 派遣・臨時雇用職員については、法人の業務の一端を担う職員として適正な業務の遂行と能力向上の促進を求めるとともに、法人職員との協力による、よりよい職場環境づくりの促進に努めます。 委託業者については、業務への習熟を踏まえて効率的かつ期待された業務水準を提供し、法人の業績に貢献するよう求めます。	才 派遣職員などの能力向上 派遣・臨時雇用職員に対して、法人の業務を担う職員として、適正な業務の遂行と能力向上を図るため、「教育支援センター」を通しての教育研修により能力向上を図ります。 委託業者については、業務への習熟を踏まえて効率的かつ期待された業務水準を提供し、法人の業績に貢献するよう求めます。	才 派遣職員などの能力向上 派遣・臨時雇用職員の一員として、派遣職員及び臨時雇用職員についても適正な業務遂行能力を求めるとともに、様々な研修等に機構職員と同様に参加させました。 法人の業務に対しては、地方独立行政法人の業務に対する期待水準を明確化した業務改善を求めました。	評価委員会の評価	評価委員会の評価	評価委員会の評価	評価委員会の評価

項目別の状況	
(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとすべき措置	(中期目標の内容) (1) ガバナンスの確立 「目指すべき新病院の姿」の実現に向けて、的確に法人を運営できるよう、理事会及び事務局などの機能を整備するとともに、法人内で適切な権限委譲を行い、効果的かつ効率的な管理運営体制を構築すること。
(中項目) 2 業務運営基盤の整備	質の高い医療を安定的に提供するため、医師、看護師及び医療技術者においても、必要な経営管理能力の向上に努めること。
(小項目) (1) ガバナンスの確立	また、中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる組織目標を確実に達成するために、法人内でのコミュニケーションの円滑化を図り、すべての職員が経営状況や課題を共有し、自立的に運営を行う仕組みを整備すること。

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
(1) ガバナンスの確立 中期計画を着実に達成するため、また変化の激しい医療環境に対応するため、責任の明確化と意思決定プロセスの透明化を図るとともに、迅速な経営判断が可能となるよう、理事会運営の下、その実行組織として経営企画会議を設け、適切な権限委譲を行います。また、理事会の決定事項や経営状況、運営上の課題を全ての職員が共有するため、各種委員会の共同開催、業務関連事項の連携を深める連絡調整会議を設け、コミュニケーションの活性化や機能する意思伝達ルートの整備に努めます。	(1) ガバナンスの確立 ・ 理事会及び理事長の方針の円滑な推進を図るための調整機関として経営企画会議を設けます。 ・ 理事長の経営戦略を所掌するため、理事長直轄の組織として経営戦略室を設置し、法人の経営課題をタイムリーに把握する体制を整えるところとにも、経営企画機能の強化を図ります。 ・ 責任の明確化と意思決定プロセスの透明化を図るため、院長及び理事への適切な権限委譲を行います。 ・ 両病院内に設けられた、各種委員会の共同開催や、統一的な運営基準に従った活動の推進を図ります。 ・ 両病院間で、職種、職域、業務関連ごとの連携を深め、コミュニケーションの活性化を図るところとにも、診療ノウハウや運営上の課題を共有できる連絡調整会議を設けます。 ・ 法人内の職員が法人の経営課題を共有できる仕組みを構築します。 ・ 医療従事者の経営への参加を図ります。	評価の判断理由 (実施状況等) (1) ガバナンスの確立 ・ 平成23年4月の機構設立後、運営は理事長がトップとして2病院体制を確立することにより、理事長から両院長への適切な権限委譲による執行体制を構築しました。 ・ 機構の最高意思決定機関としての理事會を置くとともに、理事長の方針を円滑に推進する審議・調整機関として、機構運営会議(年間延46回開催)及び経営企画会議(年間延13回開催)を設け、組織における権限と責任の明確化を図りながら、機構の稼働状況の分析、医療職の確保対策をはじめ、理事長直轄の重要案件(医療機器・診療材料・薬品の統一化、地域連携の強化など)について方針を示し、事業を推進しました。 ・ 理事長直轄に経営戦略室を設置し、理事長直轄プロジェクトの進捗管理及び経営管理などを行いました。 ・ 平成24年1月には診療体制を強化するための組織変更にも取り組み、両病院に診療センターを設置するなど、新統合病院に向けた診療機能の強化にも具体的に取り組みました。 ・ 重要課題ごとに連絡調整会議を開催し、診療材料、医療機器や薬剤の統一化などの事項における両病院間の情報共有、課題解決を図り、統一的な基準づくりに取り組みました。 ・ 労働組合とも連携し、労働組合との経営会議(2回開催)を通じ、スタッフへの経営意識の浸透を図りました。 ・ 両病院のシステムが機構のビジョンと課題を共有できる機会として機構総会を開催しました。	評価の判断理由・委員会の意見など ・ 理事長が2病院をまとめ、また機構運営会議、経営企画会議も数多く開催しており、年度計画を順調に実施していること評価できる。 ・ 地方独立行政法人制度のメリッジを生かし、色々な取組にチャレンジしていただきたい。 ・ 官民2病院の統合による新しいガバナンスに変えていくために、大変な努力をされていると思う。 ・ ガバナンスという点では、病院と一般企業に大きな違いは無いので、地方独立行政法人として今後発展するためにも、一般企業が採用している内部統制の仕組みの導入を検討いただきたい。 ・ 内部統制に関して、一般企業のリスクマネジメントも研究していただきたい。	②	③	②	③

項目別の状況	
<p>(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率的化に関する目標を達成するためとすべき措置 (中項目) 2 業務運営基盤の整備 (小項目) (2) 両病院のノウハウの共有</p>	<p>(中期目標の内容) (2) 両病院のノウハウの共有 両病院がこれまで蓄積してきたノウハウを最大限に病院運営に生かすこと。</p>
<p>中期計画 (2) 両病院のノウハウの共有 公立病院としての高度専門医療の均てん化、地域医療の連携や周産期・小児医療など、これまで蓄積してきた実績とノウハウを継承し、病院運営に生かします。 また、民間病院としての柔軟かつ迅速な事業展開、柔軟な人員配置、委託・購買業務の効率化、県内におけるトップクラスの循環器医療など、これまで蓄積してきた実績とノウハウを継承し、病院運営に生かします。</p>	<p>年度計画 (2) 両病院のノウハウの共有 ・ 公立病院として培ってきた、高度専門医療の均てん化、地域医療の要として地域の医療機関との連携や周産期・小児医療などの実績とノウハウ、及び民間病院としての柔軟かつ迅速な事業展開、柔軟な人員配置、委託・購買業務の効率化、県内におけるトップクラスの循環器医療など、これまで蓄積してきた実績とノウハウを継承し、病院運営に生かします。 ・ あらゆる機会を通じ、両病院のノウハウの共有及び発展的な融合に取り組みます。</p>
<p>市民病院機構の自己評価 評価の判断理由 (実施状況等) (2) 両病院のノウハウの共有 ・ 職員が両病院の特徴をお互いに学び合うことができよう両病院の部門間で、業務視察や職員交流を行いました。 ・ 事務部では、両病院のノウハウの共有を図るため、平成23年11月から毎週木曜日に事務連絡会議を開催し、公立病院と民間病院の双方のメモットを活かすべく検討を行いました。 ・ 平成23年度中には、スケールメモットが期待でき、経営に直結している購買業務について、両病院が培ってきたノウハウを持ち寄り統一化のための検討、準備を行い、平成24年4月から組織化し体制を整備しました。 ・ 病院内の全部門で構成する協議会を毎月開催し、医療従事者をはじめすべての職員への情報伝達を円滑かつ活発に行うことで、機構の運営状況や経営課題を把握し共有できる体制を整備しました。</p>	<p>市民病院機構の自己評価 評価の判断理由 (実施状況等) (2) 両病院のノウハウの共有 ・ 職員が両病院の特徴をお互いに学び合うことができよう両病院の部門間で、業務視察や職員交流を行いました。 ・ 事務部では、両病院のノウハウの共有を図るため、平成23年11月から毎週木曜日に事務連絡会議を開催し、公立病院と民間病院の双方のメモットを活かすべく検討を行いました。 ・ 平成23年度中には、スケールメモットが期待でき、経営に直結している購買業務について、両病院が培ってきたノウハウを持ち寄り統一化のための検討、準備を行い、平成24年4月から組織化し体制を整備しました。 ・ 病院内の全部門で構成する協議会を毎月開催し、医療従事者をはじめすべての職員への情報伝達を円滑かつ活発に行うことで、機構の運営状況や経営課題を把握し共有できる体制を整備しました。</p>
<p>評価委員会の評価 評価の判断理由・委員会の意見など ・ 両病院の長所を共有する取組が行われており評価できる。 ・ 診療材料費は購入規模が大きいのので、スケールメモットを生かして共同購入を進めていただきたい。 ・ 歴史的な背景が異なる2つの病院の制度や文化等について、どちらか一方に合わせるのではなく、新しいやり方を作り出す方が融合が早く進むと考える。</p>	<p>評価 3 3</p>

項目別の状況

(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためのべき措置	(中期目標の内容) (3) 組織・機構の整備 安定的かつ戦略的な病院経営となるよう、診療科別または部門別の損益分析や医療統計などを用いて経営企画機能の強化を図ること。
(中項目) 2 業務運営基盤の整備	標準化または平準化された業務に関するは、外部化を徹底するとともに、IT化などの手法を効果的に活用し、スリムで経営効率の高い業務執行体制を構築すること。
(小項目) (3) 組織・機構の整備	

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価															
項目	評価	項目	評価	加付	評価	加付	評価														
<p>(3) 組織・機構の整備</p> <p>法人の経営企画機能の強化など、安定的かつ戦略的な病院経営を支える組織・機構の整備を図るとともに、相互交流がしやすい柔軟な体制の実現のため、経営効率の高い組織編成に努めます。</p> <p>窓口業務や医事業務に加え、物品管理など内部管理業務の標準化又は平準化を進めるため、適切な品質管理の下に外部化を徹底します。</p> <p>診療情報のIT化などを推進し、スリムで経営効率の高い業務執行に努めます。</p>	3	<p>(3) 組織・機構の整備</p> <p>法人の経営企画機能の強化など、安定的かつ戦略的な病院経営を支える組織・機構の整備を図るとともに、相互交流がしやすい柔軟な体制の実現のため、経営効率の高い組織編成に努めます。</p> <p>窓口業務や医事業務に加え、物品管理など内部管理業務の標準化又は平準化を進めるため、適切な品質管理の下に外部化を徹底します。</p> <p>診療情報のIT化などを推進し、スリムで経営効率の高い業務執行に努めます。</p>	3		<p>評価の判断理由(実施状況等)</p> <p>(3) 組織・機構の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機構運営会議における検討を経て、理事会決定により、より効率的な組織体制とするため、平成24年1月、4月の2度にわたり組織の見直しを実施しました。</li> <li>・ 業務委託に関する検討チームを設け、窓口業務、医事業務、物品管理に関する業務水準の維持向上を前提に外部委託を推進しました。</li> <li>・ 平成24年度の導入に向けて電子カルテの設計を進め、効率的效果的な診療プロセスを検討し、推進しました。</li> <li>・ 両病院の距離的隔たりを埋めるため、ICTの活用によるテレビ会議機能、共通のWebシステムを導入し、活用しました。</li> </ul>	3	<p>評価の判断理由・委員会の意見など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種業務の外部委託化は、患者サービスの向上にもつながると思う。しかし、まだその途中段階なので、評価3が妥当である。</li> <li>・ 委託事業者の選定においても、それぞれの病院がこれまで取り組んできた経験から最も優れた選定基準を採用していただきたい。</li> </ul>														
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">加古川市民病院機構</th> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>参考値</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>8.1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">委託費比率(委託費/営業費用) (%)</td> </tr> <tr> <td>9.3</td> <td>8.1</td> </tr> </table>	加古川市民病院機構		平成27年度	参考値	目標値	8.1	委託費比率(委託費/営業費用) (%)		9.3	8.1	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">加古川市民病院機構</th> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>参考値</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>8.1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">委託費比率(委託費/営業費用) (%)</td> </tr> <tr> <td>9.3</td> <td>8.1</td> </tr> </table>	加古川市民病院機構		平成27年度	参考値	目標値	8.1	委託費比率(委託費/営業費用) (%)		9.3	8.1
加古川市民病院機構																					
平成27年度	参考値																				
目標値	8.1																				
委託費比率(委託費/営業費用) (%)																					
9.3	8.1																				
加古川市民病院機構																					
平成27年度	参考値																				
目標値	8.1																				
委託費比率(委託費/営業費用) (%)																					
9.3	8.1																				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">加古川市民病院機構</th> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>参考値</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>9.3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">委託費比率(委託費/営業費用) (%)</td> </tr> <tr> <td>9.3</td> <td>8.9</td> </tr> </table>	加古川市民病院機構		平成21年度	参考値	目標値	9.3	委託費比率(委託費/営業費用) (%)		9.3	8.9	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">加古川市民病院機構</th> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>参考値</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>9.3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">委託費比率(委託費/営業費用) (%)</td> </tr> <tr> <td>9.3</td> <td>8.9</td> </tr> </table>	加古川市民病院機構		平成21年度	参考値	目標値	9.3	委託費比率(委託費/営業費用) (%)		9.3	8.9
加古川市民病院機構																					
平成21年度	参考値																				
目標値	9.3																				
委託費比率(委託費/営業費用) (%)																					
9.3	8.9																				
加古川市民病院機構																					
平成21年度	参考値																				
目標値	9.3																				
委託費比率(委託費/営業費用) (%)																					
9.3	8.9																				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">加古川市民病院機構</th> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>参考値</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>8.9</td> </tr> <tr> <td colspan="2">委託費比率(委託費/営業費用) (%)</td> </tr> <tr> <td>8.9</td> <td>8.3</td> </tr> </table>	加古川市民病院機構		平成23年度	参考値	目標値	8.9	委託費比率(委託費/営業費用) (%)		8.9	8.3	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">加古川市民病院機構</th> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>参考値</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>8.9</td> </tr> <tr> <td colspan="2">委託費比率(委託費/営業費用) (%)</td> </tr> <tr> <td>8.9</td> <td>8.3</td> </tr> </table>	加古川市民病院機構		平成23年度	参考値	目標値	8.9	委託費比率(委託費/営業費用) (%)		8.9	8.3
加古川市民病院機構																					
平成23年度	参考値																				
目標値	8.9																				
委託費比率(委託費/営業費用) (%)																					
8.9	8.3																				
加古川市民病院機構																					
平成23年度	参考値																				
目標値	8.9																				
委託費比率(委託費/営業費用) (%)																					
8.9	8.3																				

・ 委託費比率については、目標を達成することとできず、今後は、両病院のノウハウを共有しつつ適切な業務委託の推進に努めます。



項目別の状況	
<p>(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 2 業務運営基盤の整備</p> <p>(小項目) (4) 医療機器などの計画的な更新</p>	<p>(中期目標の内容) (4) 医療機器などの計画的な更新 医療機器の更新や施設の改修については、医療需要、費用対効果及び医療技術の進展などを考慮の上、総合的な判断によって実施すること。</p>
<p>中期計画</p> <p>(4) 医療機器などの計画的な更新 高度医療機器の更新や施設の改修については、6年後の新統合病院の整備や、両病院の医療機器の共同利用など効率化を図りながら、医療需要、費用対効果及び医療技術の進展などを考慮のうえ、総合的な判断によって実施します。</p>	<p>年度計画</p> <p>(4) 医療機器などの計画的な更新 ・医療機器などについては、6年後の新統合病院の整備に向け、医療需要や費用対効果を見極めた整備計画を企画し、計画的な更新を図ります。</p>
<p>中期計画</p> <p>(4) 医療機器などの計画的な更新 高度医療機器の更新や施設の改修については、6年後の新統合病院の整備や、両病院の医療機器の共同利用など効率化を図りながら、医療需要、費用対効果及び医療技術の進展などを考慮のうえ、総合的な判断によって実施します。</p>	<p>市民病院機構の自己評価</p> <p>評価の判断理由 (実施状況等) (4) 医療機器などの計画的な更新 ・理事長直轄プロジェクトとして、両病院の医療機器、診療材料及び薬剤の統一化を課題として、両病院のスタッフの連絡調整会議を開催し、今後の購入、更新及び統一化のあり方について検討を行いました。 ・医療機器については、メンテナンス期間の終了した機器を中心として、更新を検討し、理事長及び両病院院長のヒアリングを絡み、慎重に機器更新を行うよう努めています。 ・新統合病院での継続した活用を視野に入れて、平成23年度に加古川東市民病院に128列マルチスライスCTを導入しました。 ・新病院への移設を見据えた計画的で効率的な高度医療機器の購入・更新を行います。</p>
<p>市民病院機構の自己評価</p> <p>評価の判断理由 4</p>	<p>市民病院機構の自己評価</p> <p>評価の判断理由 3</p> <p>評価委員会の評価 4</p> <p>評価委員会の評価 3</p> <p>評価の判断理由 ・CTなど高価な医療機器は新統合病院でも継続して使用することを見据え、計画的に購入・更新する姿勢が評価できる。 ・計画的に機器の導入を図っているが、まだその途中段階にあるので、評価3が妥当である。 ・看护ケアに必要な備品・消耗品等は、ぜひ看護部の要望に沿った形で整備いただきたい。</p>

項目別の状況	
<p>(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためのとるべき措置</p> <p>(中項目) 2 業務運営基盤の整備</p> <p>(小項目) (5) 働きやすい職場環境の整備</p>	<p>(中期目標の内容) (5) 働きやすい職場環境の整備 職員が一体となって質の高い医療を提供できるよう魅力ある職場環境を築くこと。また、子育て支援方を充実させ、柔軟で働きやすい職場環境づくりに努めること。</p>

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
評価の判断理由	実施状況等	評価	加付	評価	加付	評価	加付
<p>(5) 働きやすい職場環境の整備 地域医療を守る使命を全ての職員が共有し、一体となつて質の高い医療を提供できるよう、仕事と生活の調和が図られた職場環境を築きます。 柔軟で働きやすい環境づくりの充実により、子育て保育体制の拡充、病児保育の導入など、子育て支援や介護支援の方策の充実、復職しやすいような支援体制を整備します。 事務職員や法律等の専門家による支援を行うことにより、医療従事者が安心して医療業務に専念できる体制を整えます。</p>	<p>(5) 働きやすい職場環境の整備 ・仕事と生活の調和が図られた職場環境を築くための施策を企画し実施します。 ・残業時間の正確な管理と削減に向けた努力目標を策定、実施するとともに、有給休暇の計画的な取得を促します。 ・子育て支援プログラムを整備します。また、育児をしながら働く環境を整えるため、保育所の受け入れ可能児童数を段階的に増やします。 ・介護支援プログラムを整備します。 ・事務職や法律家が医療従事者を支援する体制を整えます。 ・職員の意見を取り上げるなど、職員一人ひとりが自発的に業務に取り組むための仕組みを構築します。 ・キャリアアップに関する職員満足度の向上を目指します。</p>	<p>市民病院機構の自己評価 (5) 働きやすい職場環境の整備 ・院内ワーク・ライフバランスの達成に向け、時間外勤務の計画的な削減に取り組みました。 ・労務組合との労務委員会を踏まえ、平成24年度については計画的な有給休暇の取得を課題とすることを決定し、年間10日以上の有給休暇取得を目標と定めました。 ・短時間勤務制度の導入など、多様な勤務形態を採用し、働きやすい勤務環境の整備に努めました。 ・育児休業や介護休業をはじめ子育て、介護の支援のための制度を設けました。 ・医療従事者の保育ニーズに24時間365日対応できるよう、未就学児の保育施設（加古川西市民病院は院内保育園、加古川東市民病院は駅前保育園）を適切に運用することにより、職務に専念できる就業環境を整備し、医師、看護師の定着化に取り組みました。 ・両病院とも顧問弁護士との連携により、法的な対応が必要な場合の支援体制を整えています。 ・看護部においては、職員との面談を実施し、本人の意向を踏まえたキャリアアップを推進しました。 ・すべての職種を対象に、学会・研修への参加を奨励し、院内発表の機会を設け、働きがいのある職場風土づくりを支援しました。</p>	<p>①</p> <p>3</p>	<p>①</p> <p>3</p>	<p>①</p> <p>3</p>	<p>①</p> <p>3</p>	<p>評価の判断理由・委員会の意見など ・保育所延利用者数は両病院とも目標値を超え、有効に活用されていることが分かる。 ・働きやすい職場環境の整備は職員の減少に寄与し、良質な医療の提供につながるので、積極的に取り組んでいただきたい。</p>

項目別の状況

<p>(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 (中項目) 2 業務運営基盤の整備 (小項目) (5) 働きやすい職場環境の整備(統)</p>	<p>(中期目標の内容) (5) 働きやすい職場環境の整備(再掲) 職員が一体となった質の高い医療を提供できるよう魅力ある職場環境を築くこと。また、子育て支援方を充実させ、柔軟で働きやすい職場環境づくりに努めること。</p>
---	--

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																															
項目	実績値	目標値	実績値	目標値	評価	加付	評価理由・委員会の意見など																																																																																																														
<table border="1"> <tr> <td>項目</td> <td>加古川西市民病院</td> <td>加古川東市民病院</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>平成21年度</td> <td>平成21年度</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> </tr> <tr> <td>3,309</td> <td>3,309</td> <td>3,309</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>目標値</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>4,152</td> <td>4,152</td> <td>4,152</td> </tr> <tr> <td>1,150</td> <td>1,150</td> <td>1,150</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> </tr> <tr> <td>1,150</td> <td>1,150</td> <td>1,150</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>目標値</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>4,152</td> <td>4,152</td> <td>4,152</td> </tr> <tr> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> </tr> <tr> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> </tr> </table>	項目	加古川西市民病院	加古川東市民病院	平成21年度	平成21年度	平成21年度	実績値	実績値	実績値	3,309	3,309	3,309	目標値	目標値	目標値	4,152	4,152	4,152	1,150	1,150	1,150	実績値	実績値	実績値	1,150	1,150	1,150	目標値	目標値	目標値	4,152	4,152	4,152	1,200	1,200	1,200	実績値	実績値	実績値	1,200	1,200	1,200	<table border="1"> <tr> <td>項目</td> <td>加古川西市民病院</td> <td>加古川東市民病院</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>平成21年度</td> <td>平成21年度</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> </tr> <tr> <td>3,309</td> <td>3,309</td> <td>3,309</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>目標値</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>4,152</td> <td>4,152</td> <td>4,152</td> </tr> <tr> <td>1,150</td> <td>1,150</td> <td>1,150</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> </tr> <tr> <td>1,150</td> <td>1,150</td> <td>1,150</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>目標値</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>4,152</td> <td>4,152</td> <td>4,152</td> </tr> <tr> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> </tr> <tr> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> </tr> </table>	項目	加古川西市民病院	加古川東市民病院	平成21年度	平成21年度	平成21年度	実績値	実績値	実績値	3,309	3,309	3,309	目標値	目標値	目標値	4,152	4,152	4,152	1,150	1,150	1,150	実績値	実績値	実績値	1,150	1,150	1,150	目標値	目標値	目標値	4,152	4,152	4,152	1,200	1,200	1,200	実績値	実績値	実績値	1,200	1,200	1,200	<table border="1"> <tr> <td>項目</td> <td>加古川西市民病院</td> <td>加古川東市民病院</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成23年度</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> </tr> <tr> <td>4,152</td> <td>4,152</td> <td>4,152</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>目標値</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>5,627</td> <td>5,627</td> <td>5,627</td> </tr> <tr> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> </tr> <tr> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> </tr> </table>	項目	加古川西市民病院	加古川東市民病院	平成23年度	平成23年度	平成23年度	実績値	実績値	実績値	4,152	4,152	4,152	目標値	目標値	目標値	5,627	5,627	5,627	1,200	1,200	1,200	実績値	実績値	実績値	1,200	1,200	1,200	<p>評価の判断理由(実施状況等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>院内の防犯、不当な要求に対する支援として、24時間体制で警察OBの安全安心員を配置するなど、診療業務に職員が安心して勤務できる環境の実現を側面からサポートしました。</li> </ul>			
項目	加古川西市民病院	加古川東市民病院																																																																																																																			
平成21年度	平成21年度	平成21年度																																																																																																																			
実績値	実績値	実績値																																																																																																																			
3,309	3,309	3,309																																																																																																																			
目標値	目標値	目標値																																																																																																																			
4,152	4,152	4,152																																																																																																																			
1,150	1,150	1,150																																																																																																																			
実績値	実績値	実績値																																																																																																																			
1,150	1,150	1,150																																																																																																																			
目標値	目標値	目標値																																																																																																																			
4,152	4,152	4,152																																																																																																																			
1,200	1,200	1,200																																																																																																																			
実績値	実績値	実績値																																																																																																																			
1,200	1,200	1,200																																																																																																																			
項目	加古川西市民病院	加古川東市民病院																																																																																																																			
平成21年度	平成21年度	平成21年度																																																																																																																			
実績値	実績値	実績値																																																																																																																			
3,309	3,309	3,309																																																																																																																			
目標値	目標値	目標値																																																																																																																			
4,152	4,152	4,152																																																																																																																			
1,150	1,150	1,150																																																																																																																			
実績値	実績値	実績値																																																																																																																			
1,150	1,150	1,150																																																																																																																			
目標値	目標値	目標値																																																																																																																			
4,152	4,152	4,152																																																																																																																			
1,200	1,200	1,200																																																																																																																			
実績値	実績値	実績値																																																																																																																			
1,200	1,200	1,200																																																																																																																			
項目	加古川西市民病院	加古川東市民病院																																																																																																																			
平成23年度	平成23年度	平成23年度																																																																																																																			
実績値	実績値	実績値																																																																																																																			
4,152	4,152	4,152																																																																																																																			
目標値	目標値	目標値																																																																																																																			
5,627	5,627	5,627																																																																																																																			
1,200	1,200	1,200																																																																																																																			
実績値	実績値	実績値																																																																																																																			
1,200	1,200	1,200																																																																																																																			
<table border="1"> <tr> <td>項目</td> <td>加古川西市民病院</td> <td>加古川東市民病院</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>平成21年度</td> <td>平成21年度</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> </tr> <tr> <td>3,309</td> <td>3,309</td> <td>3,309</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>目標値</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>4,152</td> <td>4,152</td> <td>4,152</td> </tr> <tr> <td>1,150</td> <td>1,150</td> <td>1,150</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> </tr> <tr> <td>1,150</td> <td>1,150</td> <td>1,150</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>目標値</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>4,152</td> <td>4,152</td> <td>4,152</td> </tr> <tr> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> </tr> <tr> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> </tr> </table>	項目	加古川西市民病院	加古川東市民病院	平成21年度	平成21年度	平成21年度	実績値	実績値	実績値	3,309	3,309	3,309	目標値	目標値	目標値	4,152	4,152	4,152	1,150	1,150	1,150	実績値	実績値	実績値	1,150	1,150	1,150	目標値	目標値	目標値	4,152	4,152	4,152	1,200	1,200	1,200	実績値	実績値	実績値	1,200	1,200	1,200	<table border="1"> <tr> <td>項目</td> <td>加古川西市民病院</td> <td>加古川東市民病院</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>平成21年度</td> <td>平成21年度</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> </tr> <tr> <td>3,309</td> <td>3,309</td> <td>3,309</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>目標値</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>4,152</td> <td>4,152</td> <td>4,152</td> </tr> <tr> <td>1,150</td> <td>1,150</td> <td>1,150</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> </tr> <tr> <td>1,150</td> <td>1,150</td> <td>1,150</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>目標値</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>4,152</td> <td>4,152</td> <td>4,152</td> </tr> <tr> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> </tr> <tr> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> </tr> </table>	項目	加古川西市民病院	加古川東市民病院	平成21年度	平成21年度	平成21年度	実績値	実績値	実績値	3,309	3,309	3,309	目標値	目標値	目標値	4,152	4,152	4,152	1,150	1,150	1,150	実績値	実績値	実績値	1,150	1,150	1,150	目標値	目標値	目標値	4,152	4,152	4,152	1,200	1,200	1,200	実績値	実績値	実績値	1,200	1,200	1,200	<table border="1"> <tr> <td>項目</td> <td>加古川西市民病院</td> <td>加古川東市民病院</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成23年度</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> </tr> <tr> <td>4,152</td> <td>4,152</td> <td>4,152</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>目標値</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>5,627</td> <td>5,627</td> <td>5,627</td> </tr> <tr> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> </tr> <tr> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> </tr> </table>	項目	加古川西市民病院	加古川東市民病院	平成23年度	平成23年度	平成23年度	実績値	実績値	実績値	4,152	4,152	4,152	目標値	目標値	目標値	5,627	5,627	5,627	1,200	1,200	1,200	実績値	実績値	実績値	1,200	1,200	1,200	<p>評価の判断理由(実施状況等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>加古川西市民病院の院内保育園、加古川東市民病院の駅前保育サロンは、ともに利用者が大きく増加しており、育児世代の支援として有効に活用されています。</li> <li>加古川西市民病院の院内保育園では、将来の病児保育の実施を課題としています。</li> </ul>			
項目	加古川西市民病院	加古川東市民病院																																																																																																																			
平成21年度	平成21年度	平成21年度																																																																																																																			
実績値	実績値	実績値																																																																																																																			
3,309	3,309	3,309																																																																																																																			
目標値	目標値	目標値																																																																																																																			
4,152	4,152	4,152																																																																																																																			
1,150	1,150	1,150																																																																																																																			
実績値	実績値	実績値																																																																																																																			
1,150	1,150	1,150																																																																																																																			
目標値	目標値	目標値																																																																																																																			
4,152	4,152	4,152																																																																																																																			
1,200	1,200	1,200																																																																																																																			
実績値	実績値	実績値																																																																																																																			
1,200	1,200	1,200																																																																																																																			
項目	加古川西市民病院	加古川東市民病院																																																																																																																			
平成21年度	平成21年度	平成21年度																																																																																																																			
実績値	実績値	実績値																																																																																																																			
3,309	3,309	3,309																																																																																																																			
目標値	目標値	目標値																																																																																																																			
4,152	4,152	4,152																																																																																																																			
1,150	1,150	1,150																																																																																																																			
実績値	実績値	実績値																																																																																																																			
1,150	1,150	1,150																																																																																																																			
目標値	目標値	目標値																																																																																																																			
4,152	4,152	4,152																																																																																																																			
1,200	1,200	1,200																																																																																																																			
実績値	実績値	実績値																																																																																																																			
1,200	1,200	1,200																																																																																																																			
項目	加古川西市民病院	加古川東市民病院																																																																																																																			
平成23年度	平成23年度	平成23年度																																																																																																																			
実績値	実績値	実績値																																																																																																																			
4,152	4,152	4,152																																																																																																																			
目標値	目標値	目標値																																																																																																																			
5,627	5,627	5,627																																																																																																																			
1,200	1,200	1,200																																																																																																																			
実績値	実績値	実績値																																																																																																																			
1,200	1,200	1,200																																																																																																																			

項目別の状況	
<p>(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためのべき措置</p> <p>(中項目) 2 業務運営基盤の整備</p> <p>(小項目) (6) 人事評価制度の導入</p>	<p>(中期待目標の内容) (6) 人事評価制度の導入 職員のモチベーションの向上と組織の活性化を図るため、業績、組織への貢献度などに応じた人事評価制度を導入すること。</p>

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価			
中項目	小項目	中項目	小項目	評価の判断理由(実施状況等)	加付	評価	加付	評価	
<p>(6) 人事評価制度の導入 職員のモチベーションの向上と組織の活性化を図るため、業績や能力、組織への貢献度などが評価され、給与をはじめとした処遇において報われる人事評価制度を導入します。</p> <p>職場内のコミュニケーションによって信頼関係を築きあつたうえで納得性の高い人事評価を実施するため、考課者にも考課に関する研修を実施します。職種にとらわれず、幅広い視野を持つ優秀な人材を法人幹部へ登用します。</p>	<p>(6) 人事評価制度の導入 ・ 加古川東市民病院においては、引き続き適切に人事評価制度を運用するとともに、加古川西市民病院においても、職員のモチベーションの向上と組織の活性化を図るための人事評価制度の導入に向け、調査を実施します。 ・ 職場内のコミュニケーションによって相互に信頼関係を築きあつたうえで、納得性の高い人事評価を実現するための考課研修の実施に向けた調査と企画を実施します。 ・ 職種にとらわれず、幅広い視野を持つ優秀な人材を法人幹部へ登用するため、幹部に求められる人物像を明確化して、キャリアパスのモデルを構築します。</p>	<p>評価の判断理由(実施状況等) (6) 人事評価制度の導入 ・ 加古川東市民病院においては、従来からの人事評価制度を運用しており、勤勉手当に反映させました。 ・ 加古川西市民病院においては、看護部において、平成23年12月の勤労手当から一部評価制度を取り入れられました。 ・ 医師や看護師等医療従事者の業務の実態を適切に反映できる人事評価のあり方についてコンサルタントの支援を受けながら調査検討を進め、両病院で統一した人事評価制度(パフォーマンステレビュ)について、まず医師を対象として導入準備を進めています。(平成24年度に制度設計し、25年度からの運用を予定しています。) ・ 職員のキャリアパスモデルについては、平成24年度に作成を進めている人材育成マスタープランの中で検討を継続しています。</p>	<p>加付</p>	<p>評価</p>	<p>加付</p>	<p>評価</p>	<p>加付</p>	<p>評価</p>	
						3		3	

項目別の状況		(中期目標の内容) 1 経営基盤の強化 加古川市からの運営費負担金の交付の下、公的病院としての使命を果たすとともに、質の高い医療を安定して提供するため、自立した経営基盤を確立し、中期目標の期間中における累計の経常収支比率 100パーセント以上を達成すること。
(大項目) 第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためのべき措置 (中項目) 1 経営基盤の強化 (小項目)	中期計画 1 経営基盤の強化 ・加古川市からの運営費負担金の交付の下、救急医療や周産期・小児医療を安定的に提供することにより、公的病院としての使命を果たします。 ・理事会及び理事会長の方針の円滑な推進を図るため調整機関として経営企画会議を設置し、経営企画機能を強化します。 ・経営基盤の強化について、以下の取り組みを行います。 ① 診療報酬の改定や他病院の先進的な改善方を広く学び経営に反映します。 ② 診療科別又は部門別の損益分析を行います。 ③ 医療統計などをを用い法人の経営企画機能を強化します。	年度計画 1 経営基盤の強化 ・加古川市からの運営費負担金の交付の下、救急医療や周産期・小児医療を安定的に提供することにより、公的病院としての使命を果たします。 ・理事会及び理事会長の方針の円滑な推進を図るため調整機関として経営企画会議を設置し、経営企画機能を強化します。 ・経営基盤の強化について、以下の取り組みを行います。 ① 診療報酬の改定や他病院の先進的な改善方を広く学び経営に反映します。 ② 診療科別又は部門別の損益分析を行います。 ③ 医療統計などをを用い法人の経営企画機能を強化します。

市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	
評価の判断理由	評価	評価	評価の判断理由・委員会の意見など
<p>① 経営基盤の強化</p> <p>・加古川市からの運営費負担金は、計画どおりに収入しました。 ・救急医療、周産期医療、小児医療とほぼ計画どおりに事業を実施し、公的病院としての使命を果たしました。 ・平成24年1月、加古川西市民病院において消化器内視鏡センター、がん集センター、周産母子センター、こども療育センターを、加古川東市民病院の診療センターを、加古川市民病院の診療センターを組織に位置づけ、重点医療機能の充実を図り、東播磨地域の中心核病院としての役割を強化し、収益の向上を図りました。 ・毎週開催する機構運営会議及び毎月開催する経営企画会議において、機構幹部が病院経営についての分析、重要課題の協議を行うことにより、収益確保と費用削減の両面から経営の健全化を図りました。 ・平成24年4月に予定された診療報酬の改定に的確に対応するため、経営戦略室が中心となり両病院の医事部門等による研究を行いました。 ・経理担当を中心に、部門別損益分析の実施について検討を行いました。 ・理事会メンバーを中心に、先進的の取組を行い良好な実績を残している病院の経営状況の視察を精力的に行い、機構の経営改善の参考としました。</p>	①	①	<p>① 経営基盤の強化</p> <p>・今後も黒字が継続できるような努力をしていただきたい。 ・来年度以降も黒字を確保できる収益体制の定着を目指し、今期の結果が黒字となった要因の分析・把握に努めていただきたい。</p>

項目別の状況

<p>(大項目) 第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためのべき措置 (中項目) 1 経営基盤の強化 (続) (小項目)</p>	<p>(中期目標の内容) 1 経営基盤の強化 (再掲) 加古川市からの運営費負担金の交付の下、公的病院としての使命を果たすとともに、質の高い医療を安定して提供するため、自立した経営基盤を確立し、中期目標の期間中における累計の経常収支比率 100パーセント以上を達成すること。</p>
---	---

中期計画	年度計画	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
<p>・収益の確保及び費用の節減に努め、安定的かつ戦略的な病院経営を行うことと、平成23年度に経常収支比率99.9パーセントを目標とします。</p>	<p>・経営状況については、診療科別の稼働額の推移を分析するなど、月単位の収支情報を理事会、経営企画会議で報告し、機構幹部の経営に関する情報共有を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幹部で開催される委員会等で経営状況の向上に努めました。</li> <li>・経常収支比率は、104.4%</li> <li>・医業収支比率は、101.6%</li> <li>・医業収益は合計で、16,122百万円のうち入院収益は、10,270百万円うち外来収益は、5,421百万円</li> </ul>	<p>市民病院機構の自己評価</p> <p>評価の判断理由 (実施状況等)</p> <p>・経営状況については、診療科別の稼働額の推移を分析するなど、月単位の収支情報を理事会、経営企画会議で報告し、機構幹部の経営に関する情報共有を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幹部で開催される委員会等で経営状況の向上に努めました。</li> <li>・経常収支比率は、104.4%</li> <li>・医業収支比率は、101.6%</li> <li>・医業収益は合計で、16,122百万円のうち入院収益は、10,270百万円うち外来収益は、5,421百万円</li> </ul>	<p>評価委員会の評価</p> <p>評価の判断理由・委員会の意見など</p>
<p>※ 経常収支比率の平成27年度目標値は計画期間 (平成23年度～平成27年度) の累計による数値としています。</p> <p>※ 平成21年度参考値については、両病院の運営形態が異なり、収益・費用の中の項目の取り方に差異があるため、新法人の区分に合わせた推計値としています。</p>	<p>※ 平成21年度参考値については、両病院の運営形態が異なり、収益・費用の中の項目の取り方に差異があるため、新法人の区分に合わせた推計値としています。</p>	<p>※ 各指標とも目標数値に達し、機構発足の初年度に黒字を計上することができ、健全な財務状況の下、機構の経営と財務体質の基盤固めを図ることができました。</p>	

項目	平成21年度	平成27年度
	参考値 (※)	目標値
経常収支比率 (経常収益/経常費用) (%)	92.4	100.4 (※)
医業収支比率 (医業収益/医業費用) (%)	92.3	102.3
医業収益 (百万円)	14,228	16,898
入院収益 (百万円)	9,298	11,577
外来収益 (百万円)	4,606	4,998

項目	平成21年度	平成23年度
	参考値 (※)	目標値
経常収支比率 (経常収益/経常費用) (%)	92.4	99.9
医業収支比率 (医業収益/医業費用) (%)	92.3	97.7
医業収益 (百万円)	14,228	15,855
入院収益 (百万円)	9,298	10,257
外来収益 (百万円)	4,606	5,293

項目	平成23年度
	実績値
経常収支比率 (経常収益/経常費用) (%)	99.9
医業収支比率 (医業収益/医業費用) (%)	97.7
医業収益 (百万円)	15,855
入院収益 (百万円)	10,257
外来収益 (百万円)	5,293



項目別の状況	
(大項目) 第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 (中項目) 2 収益の確保及び費用の節減 (続) (小項目)	(中期目標の内容) 2 収益の確保及び費用の節減 (再掲) 診療報酬制度の改定に的確に対応するとともに、人事配置の弾力的な運用を図るなど、収益の確保策を講ずること。 弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行うとともに、創意工夫に努めつつ業務改善を進めるなどコスト節減を図ること。

中期計画	年度計画	市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価		
		評価の判断理由(実施状況等)	加付	評価	加付	評価
	<p>【加古川西市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療支援病院として、地域医療機関との連携に努めます。</li> <li>・患者サービスの向上、医療安全や病棟業務の負担軽減等のため、術前検査センターの平成24年度の導入を検討します。</li> </ul>	<p>【加古川西市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院情報誌の送付や地域連携室スタッフが地域の医療機関を積極的に訪問するなど、地域連携の強化に努めました。</li> <li>・先行して術前検査センターを稼働させている加古川東市民病院との連携により、早期稼働に向けた検討を行い、平成24年7月から導入に向け準備を行いました。</li> </ul>				
	<p>【加古川東市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度の地域医療支援病院の承認に向け、紹介率、逆紹介率、向上などの取り組みを行います。</li> <li>・患者サービスの向上、医療安全や病棟業務の負担軽減等のため、術前検査センターの拡充を行います。</li> </ul>	<p>【加古川東市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携を進め紹介率・逆紹介率の向上に努めました。平成23年度の実績としては、地域医療支援病院の承認基準には及ばない結果となりました。</li> <li>・平成24年度においては、地域医療支援病院としての承認基準を達成できるようなる地域連携と医療供給体制の整備に努めます。</li> <li>・平成23年度に術前検査センター施設の拡充を行い、内科及び外科の入院患者2,500人について対応しました。また、平成24年度からは産婦人科にも対応するための準備を進めました。</li> </ul>				



項目別の状況

<p>(大項目) 第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためのべき措置 (中項目) 2 収益の確保及び費用の節減 (続) (小項目)</p>	<p>(中期目標の内容) 2 収益の確保及び費用の節減 (再掲) 診療報酬制度の改定に的確に対応するとともに、人事配置の弾力的な運用を図るなど、収益の確保を講ずること。 弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行うとともに、創意工夫に努めつつ業務改善を進めるなどコスト節減を図ること。</p>
--	---

項目	中期計画				年度計画				市民病院機構の自己評価				市民病院機構の自己評価		評価の判断理由(実施状況等)		評価委員会の評価	
	加古川西市民病院		加古川東市民病院		加古川西市民病院		加古川東市民病院		加古川西市民病院		加古川東市民病院		加古川西市民病院		加古川東市民病院		評価	加付
	平成21年度実績値	平成22年度目標値	平成21年度実績値	平成22年度目標値	平成21年度実績値	平成22年度目標値	平成21年度実績値	平成22年度目標値	平成21年度実績値	平成22年度目標値	平成21年度実績値	平成22年度目標値	平成21年度実績値	平成22年度目標値	平成21年度実績値	平成22年度目標値		
入院延床患者数(人)	83,472	106,118	64,191	67,211	83,472	95,442	64,191	65,766	95,442	98,070	65,766	64,537	95,442	98,070	65,766	64,537		
入院診療単価(円)	53,731	60,429	75,019	76,839	53,731	55,585	75,019	75,295	55,585	57,313	75,295	72,040	55,585	57,313	75,295	72,040		
平均在院日数(日)	11.1	13.7	9.2	9.0	11.1	13.7	9.2	9.0	13.7	11.7	9.0	8.6	13.7	11.7	9.0	8.6		
外来延床患者数(人)	191,105	193,261	139,015	140,843	191,105	203,795	139,015	140,843	203,795	193,486	140,843	127,373	203,795	193,486	140,843	127,373		
外来診療単価(円)	13,986	14,516	14,158	15,572	13,986	15,570	14,158	15,061	15,570	17,902	15,061	15,363	15,570	17,902	15,061	15,363		
稼働病床利用率(%)	71.0	90.3	88.9	93.0	71.0	79.5	88.9	91.0	79.5	81.7	91.0	89.1	79.5	81.7	91.0	89.1		
検査機器利用率(CT)(件)	9,799	16,200	11,001	19,800	9,799	12,000	11,001	13,500	12,000	11,753	13,500	13,183	12,000	11,753	13,500	13,183		
検査機器利用率(MRI)(件)	5,242	7,500	4,789	4,800	5,242	6,000	4,789	4,800	6,000	6,669	4,800	4,440	6,000	6,669	4,800	4,440		
検査機器利用率(RI)(件)	—	—	3,269	3,300	—	—	3,269	3,300	—	—	3,300	2,876	—	—	3,300	2,876		
検査機器利用率(PET-CT)(件)	1,171	1,900	—	—	1,171	1,700	—	—	1,700	1,720	—	—	1,700	1,720	—	—		

・入院患者数については、加古川西市民病院は目標を達成しましたが、加古川東市民病院では僅かながら目標を達成できませんでした。これは、年度の上半期において、外科及び整形外科において医師の転勤等により患者受入れが低調であったためです。  
・入院診療単価については、加古川西市民病院では目標値を達成しましたが、加古川東市民病院は予定していた施設基準が取れなかったことなどにより、目標を達成することができませんでした。  
・入院診療単価については、2010年の診療報酬改定に的確な対応をすることで、高度医療への対応による施設基準を維持したことにより、高いレベルを維持しています。

項目別の状況

<p>(大項目) 第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 (中項目) 2 収益の確保及び費用の節減 (続) (小項目)</p>	<p>(中期目標の内容) 2 収益の確保及び費用の節減 (再掲) 診療報酬制度の改定に的確に対応するとともに、人事配置の弾力的な運用を図るなど、収益の確保策を講ずること。 弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行うとともに、創意工夫に努めつつ業務改善を進めるなどコスト節減を図ること。</p>
---	--

中期計画	年度計画	市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価		
		評価の判断理由(実施状況等)	加付	評価	加付	評価
		<p>市民病院機構の入院診療単価は、積算の前提となる入院収益に含める項目区分を機構統合時に加古川西市市民病院と同じ基準に変更しています。目標値設定時と同じ基準に置き換えること、平成23年度入院診療単価は73,529円となります。</p> <p>・平均在院日数は、両病院とも目標値より短い日数となり、目標を達成しています。</p> <p>・外来患者については、両病院とも目標値を下回っていますが、これは二次病院として紹介患者と救急患者を優先した外来診療を行ったことによるものであり、地域連携が浸透した結果であると考えています。</p> <p>・外来診療単価については、両病院とも目標値を達成しました。</p> <p>・稼働病床利用率については、加古川西市市民病院では平成22年度に対し7.2%上昇し目標値を達成しました。加古川東市民病院では目標値を下回りましたが、前年度の86%を上回り、平成21年度からの低下傾向に歯止めをかけることができました。</p> <p>・主要検査機器の稼働状況について、加古川西市市民病院では概ね目標値を上回る稼働となりましたが、加古川東市民病院では、患者数と連動してCT、MRIで目標を下回りました。</p>				

項目別の状況

<p>(大項目) 第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためのべき措置 (中項目) 2 収益の確保及び費用の節減 (続) (小項目)</p>	<p>(中期目標の内容) 2 収益の確保及び費用の節減 (再掲) 診療報酬制度の改定に的確に対応するとともに、人事配置の弾力的な運用を図るなど、収益の確保策を講ずること。 弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行うとともに、創意工夫に努めつつ業務改善を進めるなどコスト節減を図ること。</p>
--	--

中期計画		年度計画		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価											
項目	平成21年度 参考値	平成21年度 参考値	平成23年度 目標値	評価	評価	評価	評価										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">加古川市民病院機構</th> </tr> <tr> <td>平成21年度 参考値</td> <td>平成23年度 目標値</td> </tr> <tr> <td>1.9</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>19.1</td> <td>18.1</td> </tr> <tr> <td>14.1</td> <td>12.9</td> </tr> </table>	加古川市民病院機構		平成21年度 参考値	平成23年度 目標値	1.9	2.7	19.1	18.1	14.1	12.9	1.9	19.1	2.7				
加古川市民病院機構																	
平成21年度 参考値	平成23年度 目標値																
1.9	2.7																
19.1	18.1																
14.1	12.9																
一般管理費比率 (一般管理費/営業費用) (%)																	
医薬品費比率 (医薬品費/医薬収益) (%)																	
診療材料費比率 (診療材料費/医薬収益) (%)																	
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">加古川市民病院機構</th> </tr> <tr> <td>平成21年度 参考値</td> <td>平成23年度 目標値</td> </tr> <tr> <td>2.8</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>17.5</td> <td>17.3</td> </tr> <tr> <td>12.4</td> <td>13.2</td> </tr> </table>	加古川市民病院機構		平成21年度 参考値	平成23年度 目標値	2.8	2.1	17.5	17.3	12.4	13.2	2.7	18.1	2.1				
加古川市民病院機構																	
平成21年度 参考値	平成23年度 目標値																
2.8	2.1																
17.5	17.3																
12.4	13.2																
一般管理費比率 (一般管理費/営業費用) (%)																	
医薬品費比率 (医薬品費/医薬収益) (%)																	
診療材料費比率 (診療材料費/医薬収益) (%)																	
<p>・一般管理費比率は、2.1%であり目標値を達成しました。</p> <p>・医薬品費比率は17.3%、診療材料費比率は13.2%であり、診療材料費比率は若干目標値を上回りましたが、概ね目標に近い値となっています。</p> <p>・全体としての材料費比率は、30.8%であり、やや高い比率となりました。</p>																	
<p>評価の判断理由 (実施状況等)</p>																	
<p>評価の判断理由・委員会の意見など</p>																	

<p>項目別の状況</p>	<p>(大項目) 第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 新統合病院の整備に向けた取組</p> <p>(小項目)</p>
---------------	---

<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>	<p>市民病院機構の自己評価</p>		<p>評価委員会の評価</p>	
<p>新統合病院の整備に向けた取組            従来の医療需要、加古川市やその周辺地域の医療機能の要となる病院との役割分担に留意し、建設整備費用が法人経営の負担とならないよう、加古川市と十分な連携をもって、必要かつ低廉な病院を整備します。</p>	<p>新統合病院の整備に向けた取組            ・平成23年度は、加古川市との連携の下、新統合病院の整備に向け、新統合病院の医療機能について取りまとめます。            ・検討にあたっては、将来の医療需要、加古川市やその周辺地域の医療機能との役割分担に留意し、地域完結型医療の要となる病院に相応しい診療機能を念頭に置くものとします。            ・加古川市から新統合病院の建設予定地が発表されたことに伴い、測量調査など用地取得に向けた取組みを進めます。</p>	<p>評価の判断理由(実施状況等)            新統合病院の整備に向けた取組            ・統合・再編に関する基本的方針を踏まえて、目指すべき新統合病院の姿を具体化させていくために加古川市が策定する基本構想の医療機能について各部門でのヒアリングを経て集約しました。            ・新統合病院の担うべき診療機能や施設整備方針、建設予定地など新統合病院の整備に係る主要なテーマについて、活性化協議会(1回開催)及び活性化委員会(2回開催)を開催し、神戸大学医学部をはじめとした医療関係者や住民及び地元経済団体等の代表者から広く意見を伺い、円滑な整備が図られるよう検討を重ねました。            ・新統合病院の建設予定地の取得に当たっては、地権者との交渉や測量調査のための事前調整を行うなど、用地取得に向けた準備を着実に進めました。            ・新統合病院建設委員会(1回開催)を設置し、建築関係の有識者や住民代表等の意見を取り入れ、安価で機能的な新統合病院を整備するための手法及び事業者選定の検討を開始しました。</p>	<p>加付 ①</p>	<p>評価 4</p>	<p>評価の判断理由・委員会の意見など            ・新統合病院を見据え、医師の交流や機器の統一を進めることが大切である。            ・新統合病院の開院後にしても、機構による人間ドックの継続的な提供を期待している。            ・新統合病院において、災害時に情報の寸断が起きないよう整備を進めていただきたい。            ・新統合病院には、患者やその家族がくつろげるよう、緑の空間の創設を提案する。</p>

第6 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

※財務諸表及び決算報告書を参照

第7 短期借入金の限度額

中期計画	年度計画	実績
① 限度額 2,000百万円 ② 想定される短期借入金の発生事由 ・ 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応 ・ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応	① 限度額 2,000百万円 ② 想定される短期借入金の発生事由 ・ 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応 ・ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応	平成23年度において短期借入は発生しておりません。

第8 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

中期計画	年度計画	実績
なし	なし	なし

第9 剰余金の使途

中期計画	年度計画	実績
決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実、将来の資金需要に対応するための預金等に充てます。	決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実、将来の資金需要に対応するための預金等に充てます。	平成23年度において生じた剰余金 733,031,089円は、将来の資金需要に対応するための預金等に充てます。

第10 料金に関する事項

1 料金

中期計画	年度計画	実績
病院の診療料金及びその他の諸料金は次に定める額とします。 ① 健康保険法（大正11年法律第70号）、高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）、その他の法令等により診療を受ける者に係る料金 当該法令等の定めるところによります。 ② 前項の規定にない料金 ① 労働者災害補償保険法（昭和22年法律第50号）の規定により診療を受ける者 兵庫労働基準局長と協定した療養に要する費用の額の算定方法により算定した額 ② 地方公務員災害補償法（昭和42年法律第121号）の規定により診療を受ける者 地方公務員災害補償基金支部長と協定した療養に要する費用の額の算定方法により算定した額 ③ 前2号以外のものについては、別に理事長が定める額	病院の診療料金及びその他の諸料金は次に定める額とします。 ① 健康保険法（大正11年法律第70号）、高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）、その他の法令等により診療を受ける者に係る料金 当該法令等の定めるところによります。 ② 前項の規定にない料金 ① 労働者災害補償保険法（昭和22年法律第50号）の規定により診療を受ける者 兵庫労働基準局長と協定した療養に要する費用の額の算定方法により算定した額 ② 地方公務員災害補償法（昭和42年法律第121号）の規定により診療を受ける者 地方公務員災害補償基金支部長と協定した療養に要する費用の額の算定方法により算定した額 ③ 前2号以外のものについては、別に理事長が定める額	計画からの変更はありません。

2 料金の減免

中期計画	年度計画	実績
理事長は、特に必要があると認める場合は、料金の全部又は一部を減免することができます。	理事長は、特に必要があると認める場合は、料金の全部又は一部を減免することができます。	平成23年度において、理事長が特に必要と認めた減免はありません。

第1-1 地方独立行政法人加古川市民病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

1 施設及び設備に関する計画 (病院施設、医療機器等整備)

中期計画	年度計画	実績	実績
2,215	751		746

(百万円)

2 人事に関する計画

中期計画	年度計画	実績	実績
<p>(1) 適切な職員配置 地域の医療ニーズに応え、高度な医療を安定して提供していくため、適切な職員配置を行います。 特に、新統合病院への新築移転を見据えた人材確保を行うとともに、法人内で人材を有効に活用することが得られる人事管理を行います。</p>	<p>(1) 適切な職員配置 両病院のガバナンスによる最適な職員の配置を行うとともに、法人として、職員が交流、連携できる機会を設けます。 加古川西市民病院内の事務部門については、加古川市の派遣職員から円滑な引継ぎを行い、法人として事務職員の採用及び育成の計画を立案し、実施します。 経営戦略室に情報の収集や経営分析を行える人材を登用し、経営企画機能の強化を図ります。 採用困難な職種や優秀な人材を確保するために、リクルーター制度など新たな人材確保策の検討を行います。</p>	<p>(1) 適切な職員配置 様々な職種を採用するとともに、人材活用を図るため両病院間の人事交流を実施し、職員の適切な配置を行いました。 職員の交流機会は、福利厚生団体としての職員互助会によるレクレーション活動において数多く企画されていますが、機構として、3月9日に機構総会を開催し、研究発表、功労表彰などとともに、職員の交流の機会を設けました。 平成23年度において採用試験を実施し、診療情報管理士1人と事務職員3人を採用しました。一時に多くの職員を採用することは難しいため、今後も計画的な採用を実施し、加古川市の派遣職員からのスムーズな事務引継ぎを行う予定です。 経営戦略室には、日本医療情報学会の認定する医療情報技師を配置しており、ICTの積極的な活用と併せ、経営企画機能の強化を図りました。 平成23年度における職員採用は、一般公募によって行いましたが、通常の採用以外の形態によるものも検討しています。また、医師、看護師については、紹介や派遣など様々な形態の人材確保を行っています。</p>	

2 人事に関する計画 (続)

中期計画	年度計画	実績	実績
<p>(2) 人事・給与制度の構築 統合による一体感が相乗効果が得られるとともに、職員の生活様式に合わせた働き方ができる勤務形態を検討します。</p> <p>(3) 就労環境の整備 職員の就労環境の向上を図るとともに、職員の生活様式に合わせた多様な働き方ができる勤務形態を検討します。</p>	<p>(2) 人事・給与制度の構築 統合による一体感と相乗効果を得るため、両病院の人事交流プログラムを検討を進めるとともに、法人として新規職員の研修等を実施します。 法人の目標と自分の役割に応じた目標を設定し、職員がやりがいを持って働ける人事評価制度を構築します。また、短時間勤務の正規職員などの人事制度を研究します。 職員の役割に応じた評価の方法や基準を検討し、求められる役割に応じた成果が適正に評価される処遇に反映される給与制度を研究します。</p> <p>(3) 就労環境の整備 短時間労働制や24時間保育体制の拡充などにより、子育て期間中も継続した勤務ができる職場環境を整備します。 法人の使命を全ての職員が共有し、法人職員としての一一体感の醸成や自己実現が可能な活力ある働きやすい職場環境づくりに取り組みます。</p>	<p>(2) 人事・給与制度の構築 機構内で有効な人材活用を図るため、両病院間の人事交流について、平成24年4月から実施することとしました。 新規職員については、外部講師、内部講師による採用時研修を実施しました。 職員が機構の目標と自分の役割を認識し、やりがいを持って働ける人事評価制度の検討を行い、平成25年度導入に向け、平成24年度に個別ヒアリングなどを実施したうえで制度設計することとしています。 平成23年度においては、医師の給与制度の全面改定の検討を行い、平成24年度から適用を開始することとし、それ以外の職種については、平成24年度に検討することとしております。</p> <p>(3) 就労環境の整備 職員勤務形態に育児のための短時間労働の制度を取り入れるとともに、24時間365日対応の保育園を運営しており、子育て世帯の勤務環境の整備を行っています。ワーク・ライフバランスの実現に向け、労働組合とも協議しながら、時間外勤務の削減、有給休暇の計画的な取得に向け取り組みを行いました。 医師、看護師などの部門ごとに就業環境などに関する懇談会を行う、風通しの良い職場風土づくりに努めました。</p>	

3 中期目標の期間を超える債務負担

(1) 移行前地方債償還債務 (単位：百万円)

中期計画	年度計画	実績
4,014	952	950

(2) 長期借入金償還債務 (単位：百万円)

中期計画	年度計画	実績
908	0	0

4 積立金の処分に関する計画

中期計画	年度計画	実績
なし	なし	なし

平成23年度評価における小項目評価の評価項目及びウエイト付一覧表

年度計画に定める項目			法人設定	
大項目	中項目	小項目 (小項目評価の評価項目)	ウエイト	理由
第2 住民に 対して提供す るサービスそ 他の業務の 質の向上に関 する目標を達 成するために とるべき措置	1 医療体制の 維持及び拡大	(1) 地域医療への貢献	①	公的病院としての使命を果たす上で重要課題であるため
		(2) 安定的かつ継続的な医療の確保	①	良質な医療を提供し、安定かつ継続した病院運営のための重要課題であるため
		(3) 職員の融和及び連携の強化	②	統合組織として、早急に確立すべき課題であるため
		(4) 医療従事者の確保	②	良質な医療を提供し、安定かつ継続した病院運営のための重要課題であるため
		(5) 情報発信の推進		
	2 地域医療の 中核病院として 提供すべき総合 医療	(1) 重点的医療への取組	①	公的病院としての使命を果たす上で重要課題であるため
		(2) 高度専門医療の提供		
		(3) 救急医療への対応	①	公的病院としての使命を果たす上で重要課題であるため
		(4) 予防医療の提供		
		(5) 災害医療への協力		
3 地域医療機関との連携			①	公的病院としての使命を果たす上で重要課題であるため
4 適正な医療機関の利用促進				
5 医療安全対策の徹底			①	病院機能を向上させるための重要課題であるため
6 患者サービ スの向上		(1) 患者中心の医療の提供		
		(2) 患者満足度の向上	①	病院機能を向上させるための重要課題であるため
		(3) 快適性の向上		
		(4) 患者の利便性の向上		

		(5) 法令及び行動規範の遵守			
1 職員の業務 遂行力の向上	(1) 医療従事者の役割分担及び連携	①	医療従事者の確保のために重要な課題であるため		
		①	医療の質の向上と医療従事者の確保のために重要な課題であるため		
	(2) 職員教育体制の充実	②	統合組織として、早急に確立すべき課題であるため		
2 業務運営基 盤の整備	(1) ガバナンスの確立				
	(2) 両病院のノウハウの共有				
第3 業務運 営の改善及び 効率化に関す る目標を達成 するためとる べき措置	業務運営基 盤の整備	(3) 組織・機構の整備			
		(4) 医療機器などの計画的な更新			
		(5) 働きやすい職場環境の整備	①	医療従事者の確保のために重要な課題であるため	
		(6) 人事評価制度の導入			
	第4 財務内 容の改善に関 する目標を達 成するためと るべき措置	1 経営基盤の強化	①	良質な医療を提供し、安定かつ継続した病院運営のための重要課題であるため	
		2 収益の確保及び費用の節減			
第5 その他 業務運営に関 する重要事項 を達成するた めとるべき措 置	新統合病院の整備に向けた取組	①	将来の病院運営に向けて重要な課題であるため		

【ウエイト付けの方法】

・ウエイトを付す項目数は、各大項目（第4、第5を除く。）に含まれる小項目数の半数以下とする。

【ウエイト欄の記入区分】

- ① 市民病院としての役割を果たすため中期目標期間にわたり重要と考える項目
- ② 当該年度計画期間において特に達成する必要があるので重要と考える項目



## 地方独立行政法人加古川市民病院機構の業務実績に関する評価の基本方針

平成 23 年 12 月 27 日

地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会決定

地方独立行政法人法第 28 条第 1 項及び第 30 条第 1 項の規定に基づき、地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会（以下「評価委員会」という。）が地方独立行政法人加古川市民病院機構（以下「法人」という。）の業務実績に関する評価を実施するにあたっては、以下の方針に基づき行うものとする。

### 1 評価の方針

- (1) 法人が行う業務の公共性及び透明性の確保並びに法人が中期目標を達成するための業務の質の向上や業務運営の改善及び効率化に資することを目的に評価を行う。
- (2) 中期目標の達成状況及び中期計画・年度計画の実施状況を適正に確認し、分析した上で次の観点から総合的に判断して評価を行う。
  - ① 業務運営の改善及び効率化等の特色ある取組や様々な工夫、また、中期計画及び年度計画に記載していない事項であっても地域医療の充実などに寄与する取組については、積極的に評価する。
  - ② 救急医療及び高度医療をはじめとした安全で良質な医療を提供するとともに、地域の医療機関及び加古川市と連携して、住民の健康の維持及び増進への寄与を考慮する。
  - ③ 単に実績数値にとらわれることなく、地域医療の状況や診療報酬の改定など法人を取り巻く環境の変化などを考慮する。
- (3) 評価の方法については、法人を取り巻く環境の変化などを踏まえ、一層適切なものとなるよう、必要に応じて見直しを行う。

### 2 評価の方法

評価は、毎事業年度終了時に実施する「年度評価」と、中期目標期間終了時に実施する「中期目標期間評価」とし、それぞれ「項目別評価」と「全体評価」により行う。

#### (1) 年度評価

##### ① 項目別評価

中期計画及び年度計画に掲げる事項の実施状況について、各病院の自己点検に基づく法人の自己評価を評価委員会において確認及び分析し、項目別評価を行う。

② 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、年度計画の実施状況、中期計画の進捗状況その他業務運営全体について総合的に評価する。

(2) 中期目標期間評価

① 項目別評価

中期目標期間における中期目標の達成状況について、当該中期目標期間中に行った年度評価の結果を踏まえ、評価委員会において確認及び分析し、項目別評価を行う。

② 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、当該中期目標期間における業務運営全体について総合的に評価する。

(3) 実施要領

年度評価及び中期目標期間評価に係る評価の詳細については、それぞれ別途実施要領を定めるものとする。

3 評価結果の活用

- (1) 法人は、評価結果や勧告を受けて、法人として取り組む事項を明確にし、改善に取り組むとともに、その状況を評価委員会に報告する。
- (2) 法人の業務継続の必要性及び組織のあり方等に関する検討、次期中期目標の策定及び次期中期計画の作成に関して、評価委員会が意見を述べる際には、中期目標期間の各年度の評価結果を踏まえるものとする。

4 評価等の進め方

(1) 調査・分析及び評価の実施

評価委員会は、法人から各事業年度及び中期目標期間終了後3月以内に提出された業務実績を明らかにした報告書をもとに、法人からの意見聴取を踏まえて業務の実施状況を確認及び分析し、総合的に判断して評価を行う。

(2) 意見申立て機会の付与

評価委員会は評価結果の決定にあたり、法人に対し評価結果（案）に対する意見申立ての機会を付与する。

(3) 評価結果の通知及び勧告

評価委員会は、評価結果を遅滞なく法人に通知するとともに、法人が中期目標を達成するため必要があると認めるときには、あわせて業務運営の改善その他の勧告をする。

(4) 加古川市長への報告及び公表

評価委員会は、評価結果を法人へ通知したときは、遅滞なくその通知に係る事項（前記(3)の勧告をした場合にあつては、その通知に係る事項及びその勧告の内容）を加古川市長に報告するとともにホームページ等において公表する。

## 地方独立行政法人加古川市民病院機構 年度評価実施要領

平成 23 年 12 月 27 日

地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会決定

地方独立行政法人法第 28 条の規定に基づき、地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会（以下「評価委員会」という。）が地方独立行政法人加古川市民病院機構（以下「法人」という。）の各事業年度に係る業務の実績に関する評価（以下「年度評価」という。）を実施するにあたっては、「地方独立行政法人加古川市民病院機構の業務実績に関する評価の基本方針（平成 23 年 12 月 27 日決定）」を踏まえながら、以下に示す方法等により実施する。

### 1 評価の具体的方法

- (1) 年度評価は、法人から提出された各事業年度における業務実績を明らかにした報告書（以下「実績報告書」という。）等をもとに、法人からの意見聴取を踏まえて業務の実施状況を確認及び分析し、「項目別評価」及び「全体評価」により行う。
- (2) 「項目別評価」は、当該年度の年度計画に掲げる「第 2 から第 5」の事項の実施状況について、法人が自己評価した上で評価委員会が「小項目評価」と「大項目評価」により評価する。

#### ① 法人による自己評価

法人は、評価委員会が業務の実施状況を客観的に判断できるよう、別に定める小項目評価の評価項目ごとの進捗について、年度計画の実施状況を正確に記載するとともに、次の 5 段階による自己評価及び自己評価の判断理由を明確にした実績報告書を作成する。

また、年度計画の実施状況等については、各病院の自己点検に基づき、法人として、年度計画に目標値がある場合はその達成状況を、定性的な目標の場合は具体的な業務実績を把握した上で記載し、業務運営の改善及び効率化等の取組や様々な工夫、地域医療への寄与など特色ある取組については特記事項として記載するとともに、年度計画を達成できなかった場合における理由その他今後の課題についても明らかにする。

なお、法人は市民病院としての役割や中期計画、年度計画の達成のため、重要と考える項目とその理由を記載したウエイト付け一覧表を作成し、各事業年度開始前までに評価委員会に提出する。

5：年度計画を大幅に上回って実施している。

4：年度計画を上回って実施している。

- 3：年度計画を順調に実施している。
- 2：年度計画を十分に実施できていない。
- 1：年度計画を大幅に下回っている。

② 評価委員会による小項目評価

評価委員会は、実績報告書及び法人への意見聴取に基づき、法人の業務実績、自己評価、目標の達成状況、前年度実績との比較などを検証し、小項目ごとの進捗状況について確認及び分析し、法人の自己評価と同様に5～1の5段階による評価を行う。

その際、業務実績に目標値がある場合はその達成状況を、定性的な目標の場合は具体的な業務実績を把握した上で、計画を達成するために効果的な取組が行われているかどうか、単に数値だけで判断するのではなくその質についても考慮し、適正に評価を行う。

ウェイトを考慮する小項目は、あらかじめ法人が設定した小項目を検証し、評価委員会が決定する。

また、業務実績に影響を及ぼした要因についても考慮し、計画と実績の乖離について、その妥当性等を検証した上で、評価を行う。

なお、法人の自己評価と評価委員会の判断が異なる場合は、その判断理由等を示すほか、必要に応じ特筆すべき事項を記載する。

③ 評価委員会による大項目評価

評価委員会は、小項目評価の結果、特記事項の記載内容を考慮し、年度計画に掲げる「第2から第5」の項目ごとに中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況について、次の5段階による評価を行い、考慮した事項及び判断理由を記載する。

なお、小項目評価結果の割合（3～5の割合）は、ウェイトを考慮した小項目数（項目にウェイトを乗じて得た数）による項目数により算定する。

- S：中期目標・中期計画の達成に向けて、計画を大幅に上回り、特に評価すべき進捗状況にある。（評価委員会が特に認める場合）
- A：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。（すべての項目が3～5）
- B：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。（3～5の割合が9割以上）
- C：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。（3～5の割合が9割未満）
- D：中期目標・中期計画の達成のためには大幅に遅れている又は重大な改善すべき事項がある。（評価委員会が特に認める場合）

(3) 評価委員会による全体評価

評価委員会は、項目別評価の結果を踏まえ、年度計画及び中期計画の全体的な進捗状況について、記述式による評価を行う。

全体評価においては、中期目標の達成状況について総合的な視点から評価するとともに、業務運営の改善や効率化等の特色ある取組や工夫、財務内容の改善その他の中期計画及び年度計画に記載していない事項であっても地域医療の充実などに寄与する取組について積極的に評価することとする。

また、評価委員会の評価には法人への提言、業務改善等の指摘など評価委員会の意見を付す。

2 その他

- (1) 実績報告書の様式は、別に定める。
- (2) 本実施要領については、法人を取り巻く環境の変化などを踏まえ、必要に応じて見直しを行う。